

# 地域産業委員会 案件一覧

(令和8年4月15日開催分)

○所管事務報告 7件

部局	報告順	件名	資料番号	説明者（所管課長名等）
地域未来創造部	1	音楽スタジオの予約等におけるシステム切り替えについて（公共施設利用システム）	34	飯野 地域施設担当課長
	2	「おおた生涯学習推進プラン」の改定について	35	小池 青少年・生涯学習担当課長
	3	美原文化センター体育室の空調機更新工事に伴う利用の一時休止について	36	
産業経済部	4	生活応援キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン（1月実施）の結果について	26	片平 あきない振興担当課長
	5	オープンイノベーション促進事業（OTAS）について	27	中谷 イノベーション事業担当課長
	6	実証実験・実装促進事業（HOIP）について	28	
	7	令和8年度大田区平和祈念花火の開催について	29	原田 産業経済部副参事（産業プロモーション担当）

地域産業委員会 令和8年4月15日
地域未来創造部 資料34番
所管 地域力推進課

## 音楽スタジオの予約等におけるシステム切り替えについて (公共施設利用システム)

### 1 概要

公共施設の更なる利便性向上を図るため、区民活動施設及び中高生ひろば羽田における音楽スタジオの施設予約等を公共施設利用システム(以下、うぐいすネット)に切り替え、利用者登録及び予約方法等を一元化する。

### 2 対象施設及び室場

#### (1) 対象施設

- ・新蒲田区民活動施設(カムカム新蒲田)
- ・大森北区民活動施設(スマイル大森)
- ・大森西区民活動施設
- ・中高生ひろば羽田

#### (2) 対象室場

上記(1)の施設における音楽スタジオ

### 3 スケジュール(予定)

施設予約開始: 令和8年10月利用分から

※システムの切り替えに伴い、初回のみ抽選を行わず、令和8年7月9日から先着予約を開始予定。

なお、令和8年9月利用分までは、各施設の予約システムにて予約管理を行う。

※16歳未満の中高生を対象としたうぐいすネット(音楽スタジオのみ利用可)の利用者登録は令和8年6月上旬頃に開始予定。

### 4 周知

- (1) 大田区ホームページ
- (2) うぐいすネットホームページ
- (3) 各施設のうぐいすネット窓口及び特別出張所等での案内配布 など

## 「おおた生涯学習推進プラン」の改定について

「おおた生涯学習推進プラン」（令和4年度～令和8年度）の次期計画策定に当たり、区民及び団体を対象に実施したアンケートを踏まえ、今後、同プランの改定を進める。アンケート結果の概要は別添「生涯学習に関する基礎調査報告書」及び「生涯学習に関する基礎調査報告書（概要版）」のとおり。

### 1 アンケート調査概要

#### (1) 調査方法

【配布】郵送、【回収】郵送及びWEB

#### (2) 調査期間

令和7年10月1日（水）から10月31日（金）まで

#### (3) 調査対象

区民アンケート：満18歳以上の区民 3,000名（無作為抽出）

団体アンケート：社会教育関係団体 1,948団体

#### (4) 有効回収数及び回収率

区民アンケート：1,236名分（郵送 585、WEB 651） 41.2%

団体アンケート：1,382団体分（郵送 910、WEB 472） 70.9%

### 2 スケジュール（予定）

令和8年5月以降	庁内検討会及び おおた生涯学習推進プラン推進会議
12月	パブリックコメント、区民説明会
令和9年3月	計画策定

# 生涯学習に関する基礎調査報告書

令和8年2月  
大田区



## 目次

第1章 アンケート調査実施概要.....	1
1 調査目的.....	1
2 調査の実施概要.....	1
3 調査内容.....	1
4 報告書の見方.....	2
5 標本誤差.....	2
第2章 区民アンケート調査結果.....	3
1 学ぶことの意識について.....	3
2 生涯学習について.....	6
3 普段の生活について.....	27
4 大田区の生涯学習施策・事業について.....	34
5 基本属性.....	55
第3章 社会教育関係団体アンケート調査結果.....	61
1 団体全般について.....	61
2 団体の活動内容について.....	64
3 大田区の生涯学習施策・事業について.....	76
第4章 団体ヒアリング調査実施概要・調査結果.....	85
1 調査概要.....	85
2 調査結果.....	85
第5章 課題の整理及び次期プランの方向性等.....	87
1 調査結果を踏まえた課題の整理.....	87
2 次期プラン策定時に盛り込むべき方向性及び重点事項等.....	88
資料編（調査票）.....	90
1 区民アンケート調査.....	90
2 社会教育関係団体アンケート調査.....	98



# 第1章 アンケート調査実施概要

## 1 調査目的

本調査は、区民の日頃の学習活動や地域での活動状況、学びに関わるニーズ、社会教育関係団体における活動実態等を把握するため、区民と社会教育関係団体を対象にしたアンケート調査を実施しました。

## 2 調査の実施概要

	区民アンケート調査	社会教育関係団体アンケート調査
調査対象	大田区在住の満18歳以上の区民	区に登録している社会教育関係団体
抽出方法	住民基本台帳からの層化無作為抽出	全数※
調査方法	郵送による配布・回収、WEB回収併用	郵送による配布・回収、WEB回収併用
配布数	3,000名	1,948団体
有効回収数	1,236名 (郵送：585名、WEB：651名)	1,382団体 (郵送：910団体、WEB：472団体)
有効回収率	41.2%	70.9%
調査期間	令和7年(2025年)10月1日～10月31日	

※社会教育関係団体アンケート調査は、令和7年(2025年)3月末時点で更新が済んでおり、令和7年8月1日時点で解散していた団体を除いた社会教育関係団体全数を対象としています。

※前回調査の有効回収数及び有効回収率は、区民が1,164名で38.8%、団体が1,203団体で65.0%でした。

## 3 調査内容

区民アンケート調査	社会教育関係団体アンケート調査
○学ぶことの意識について	○団体全般について
○生涯学習について	○団体の活動内容について
○普段の生活について	○大田区の生涯学習施策・事業について
○大田区の生涯学習施策・事業について	
○回答者情報	

## 4 報告書の見方

- 1 図表中のnとは、回答者総数（または該当設問での該当者数）のことです。
- 2 集計は、小数点第2位を四捨五入しており、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 3 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 4 本報告書では、性別、年齢別など、比較分析を必要に応じて行っています。ただし、サンプルサイズが30未満と少ないものについては、集計結果を参考程度にとどめ、本文中のグラフ・表に示していますが、分析対象からは除きます。
- 5 本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化しています。
- 6 前回調査は、令和3年（2021年）7～8月に実施した調査結果をまとめた調査報告書からの引用です。

## 5 標本誤差

今回の社会教育関係団体アンケート調査は、全数調査です。一方、区民アンケート調査は、区民全体の母集団の中から、地域、年齢の層別に無作為抽出した方を対象に実施した標本調査です。

標本誤差は、全数調査では生じませんが、標本調査では生じます。すなわち、仮に母集団を対象に調査を実施した場合の結果と、標本調査で実施した結果の値との間で想定される差が、標本誤差となります。

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数、回答の比率によって誤差範囲が異なります。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合です。信頼率95%と設定した場合の定数は1.96となります。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N：母集団数、n：サンプルサイズ（有効回答数）、p：回答比率

この計算式に従って算出される本調査の標本誤差は以下のとおりとなります。

【区民アンケート調査での標本誤差】

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,236	1.7±	2.2±	2.6±	2.7±	2.8±

※例えば、1,236人が回答した設問の中で、ある選択肢の回答割合が50%の場合、標本誤差は±2.8になるので、仮に母集団（今回の調査では、令和7年8月時点での654,297名）を対象に調査した場合の結果は、95%の確率で、47.2%～52.8%の範囲にあることを示しています。

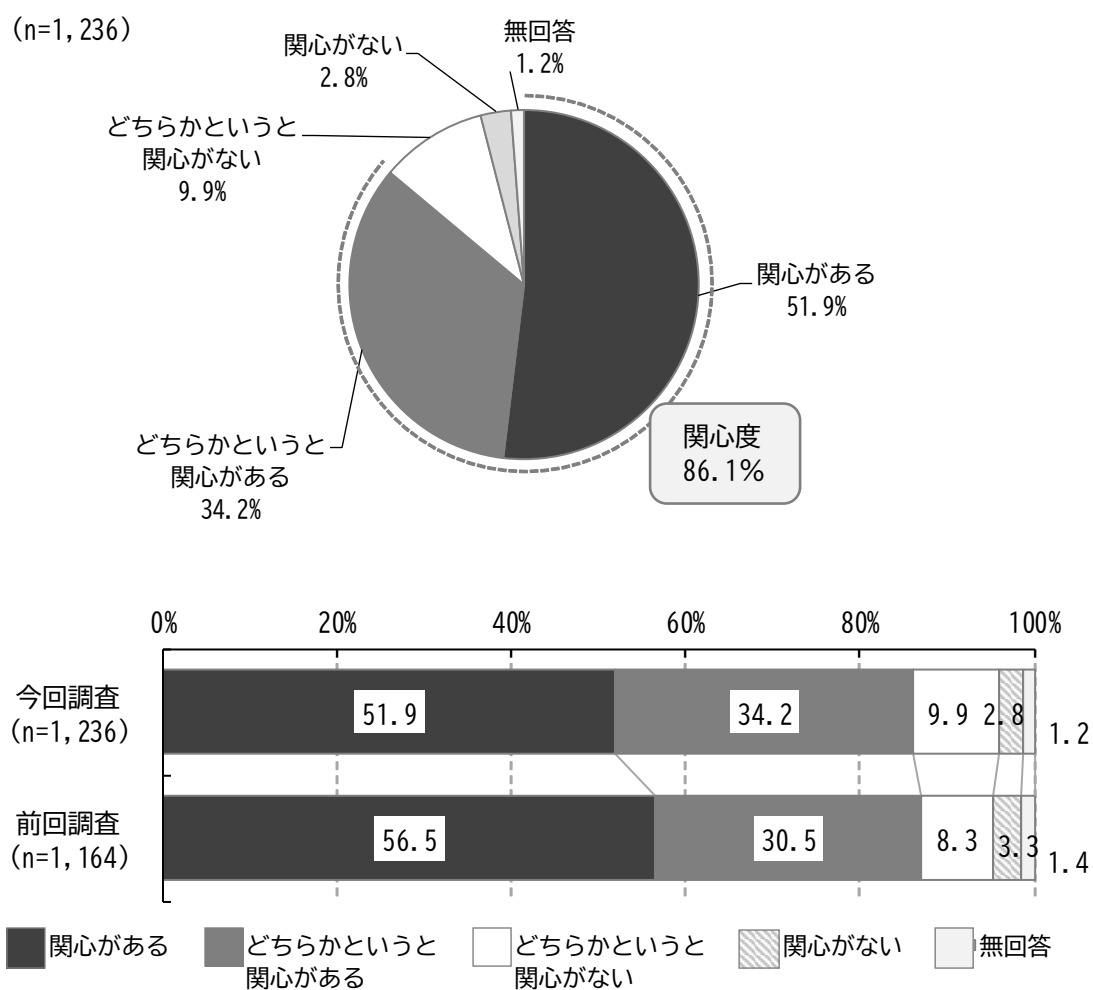
## 第2章 区民アンケート調査結果

### 1 学ぶことの意識について

問1 あなたは、何かを学ぶことに関心がありますか。(〇は1つ)

○学ぶことに対する関心度(「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計)は、86.1%を占めています。

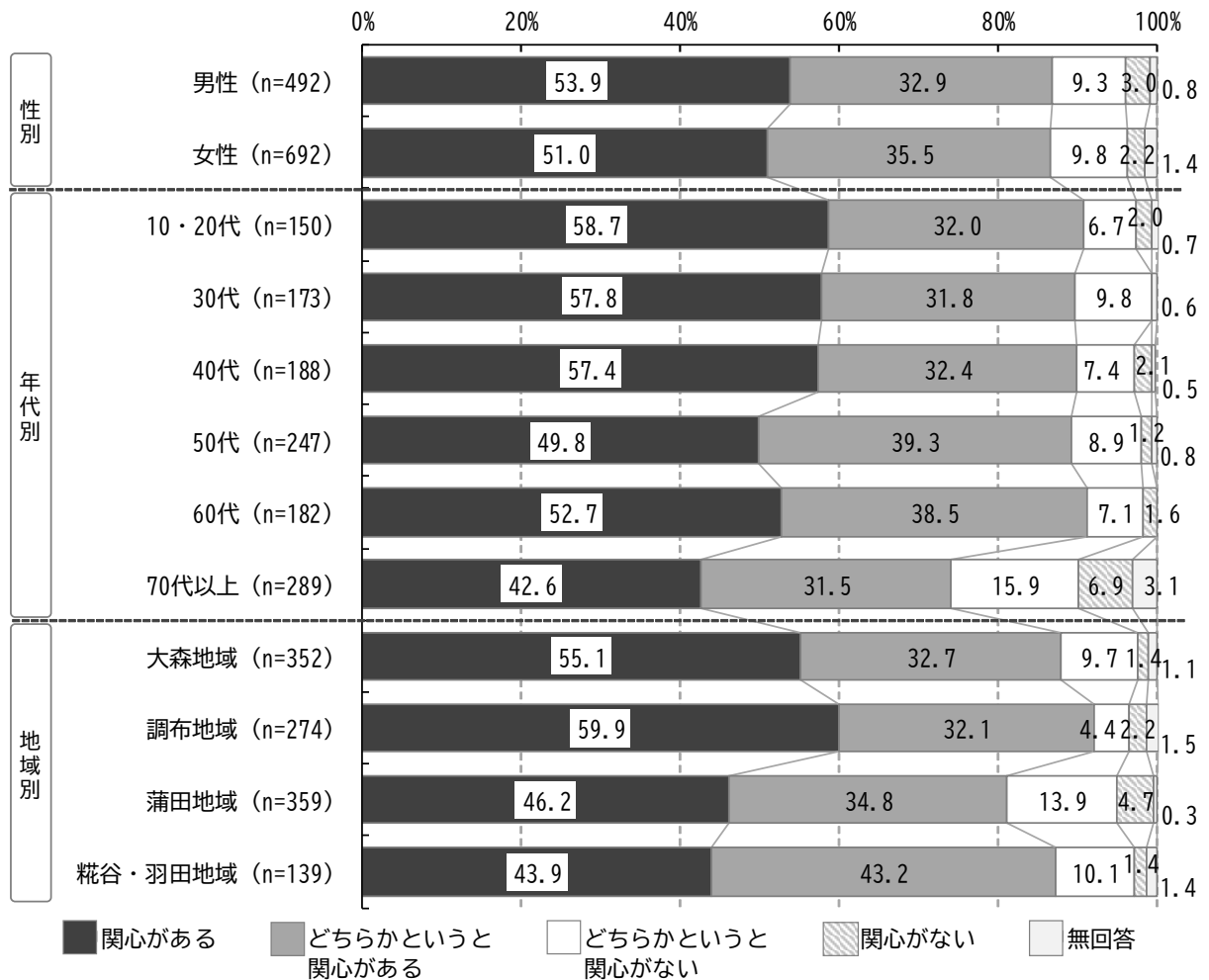
○前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



○性別では、「男性」「女性」ともに関心度は同程度となっています。

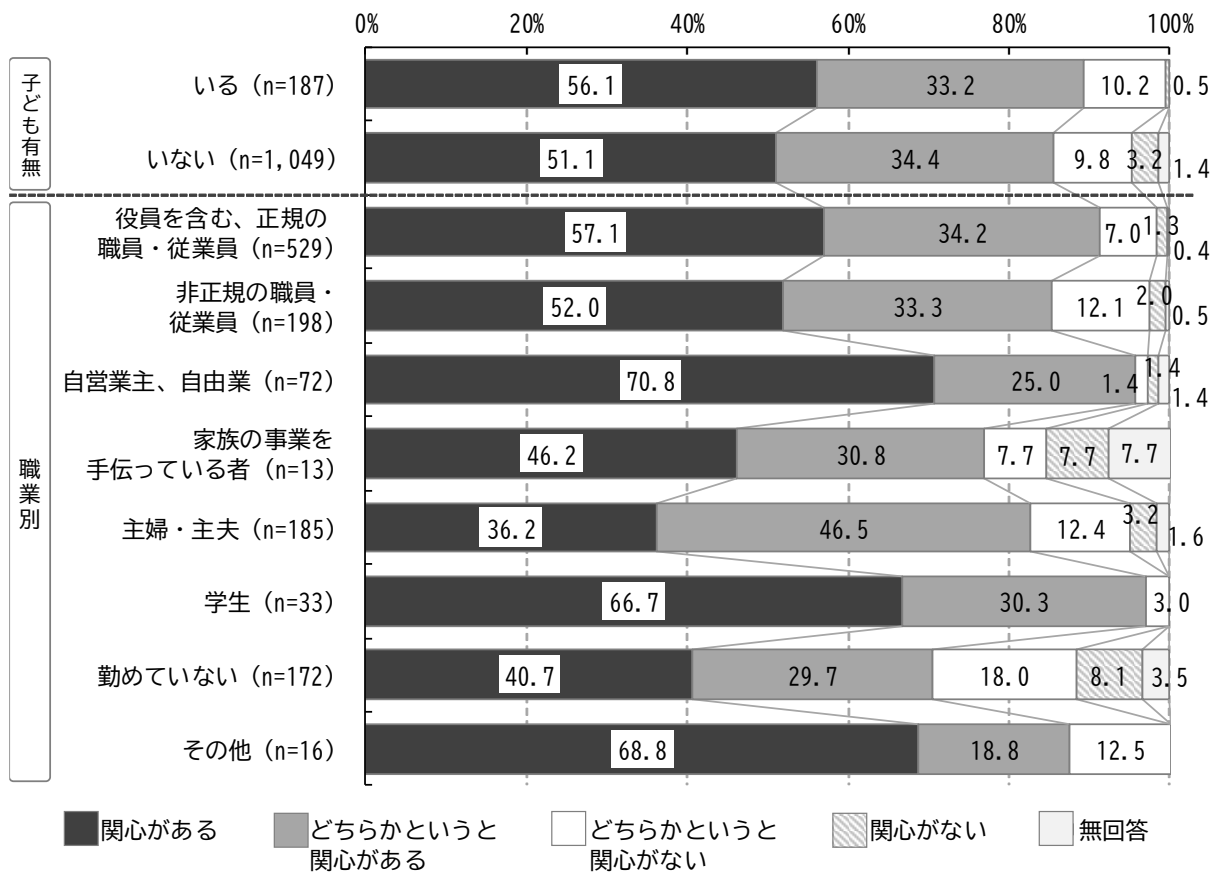
○年代別では、「60代」(91.2%)の関心度が最も高く、次いで「10・20代」(90.7%)となっています。

○地域別では、「調布地域」(92.0%)の関心度が最も高くなっています。



※クロス集計では、無回答及び回収数が少ない項目を除いています。以下、同様。

○子ども有無別では、「いる」が「いない」よりも関心度は3.8ポイント高くなっています。  
 ○職業別では、「学生」「自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業」「役員を含む、正規の職員・従業員」で関心度が9割を超えています。



※「子ども有無」は、「いる」は「未就学児もしくは小学生と一緒に暮らす方（両方を含む）」、「いない」はそれ以外。以下、同様。

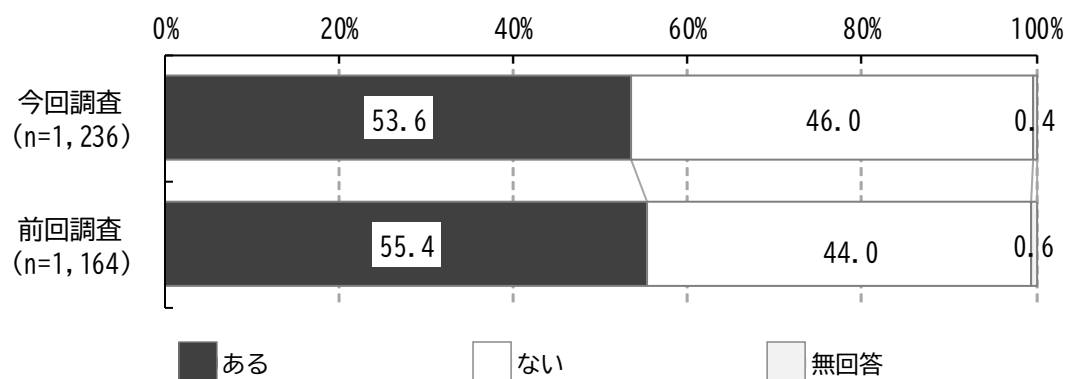
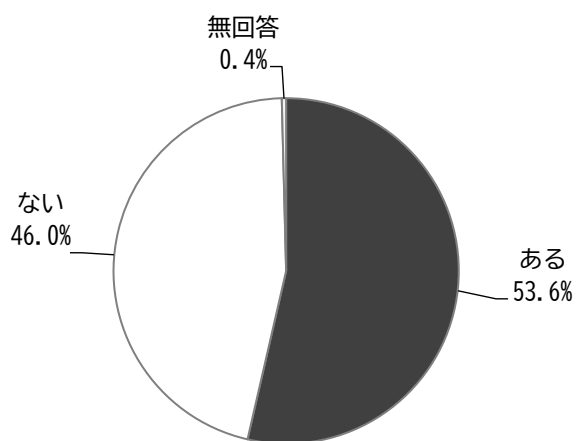
## 2 生涯学習について

問2 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(○は1つ)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがあるかについては、「ある」が53.6%、「ない」が46.0%となっています。

○前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

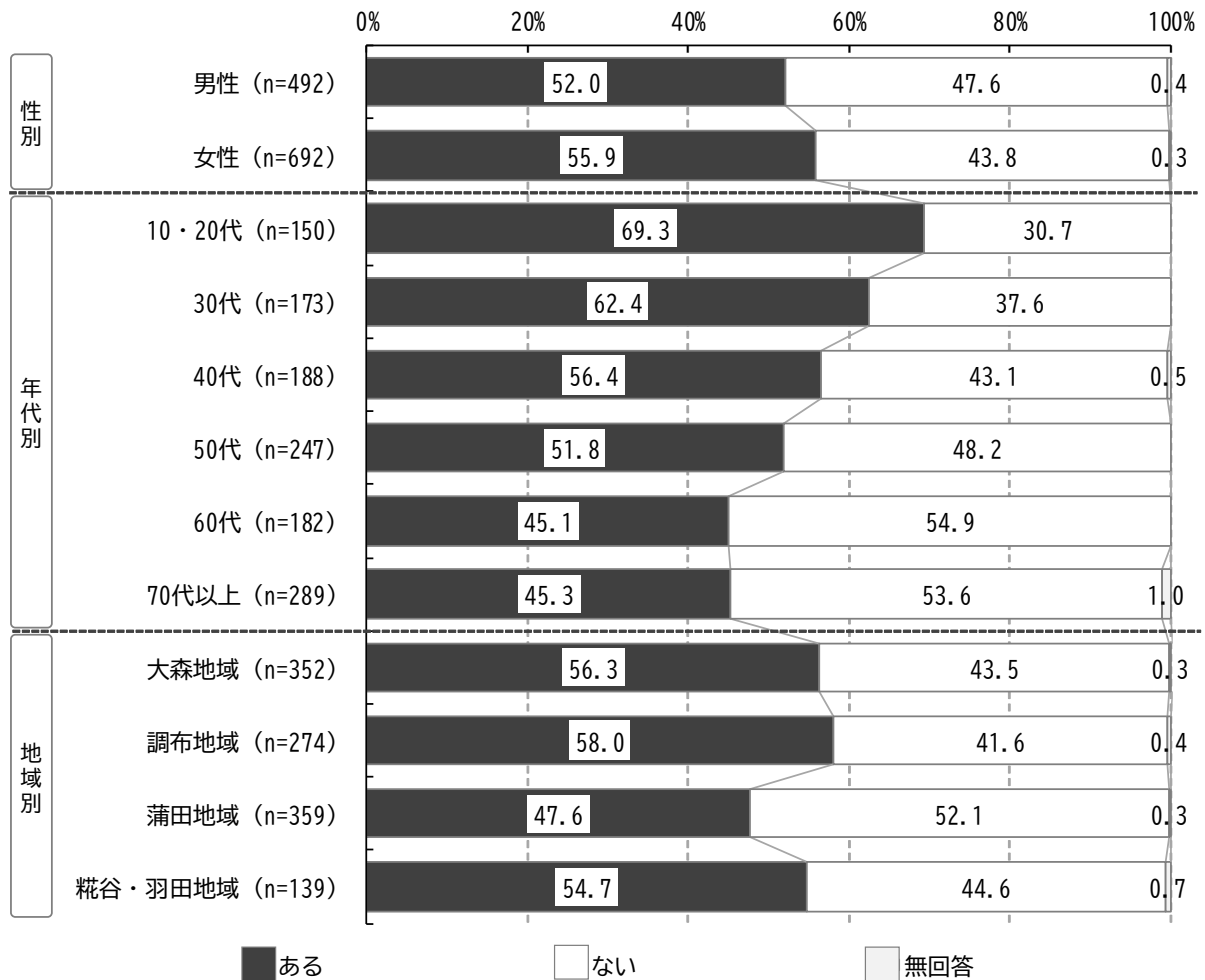
(n=1,236)



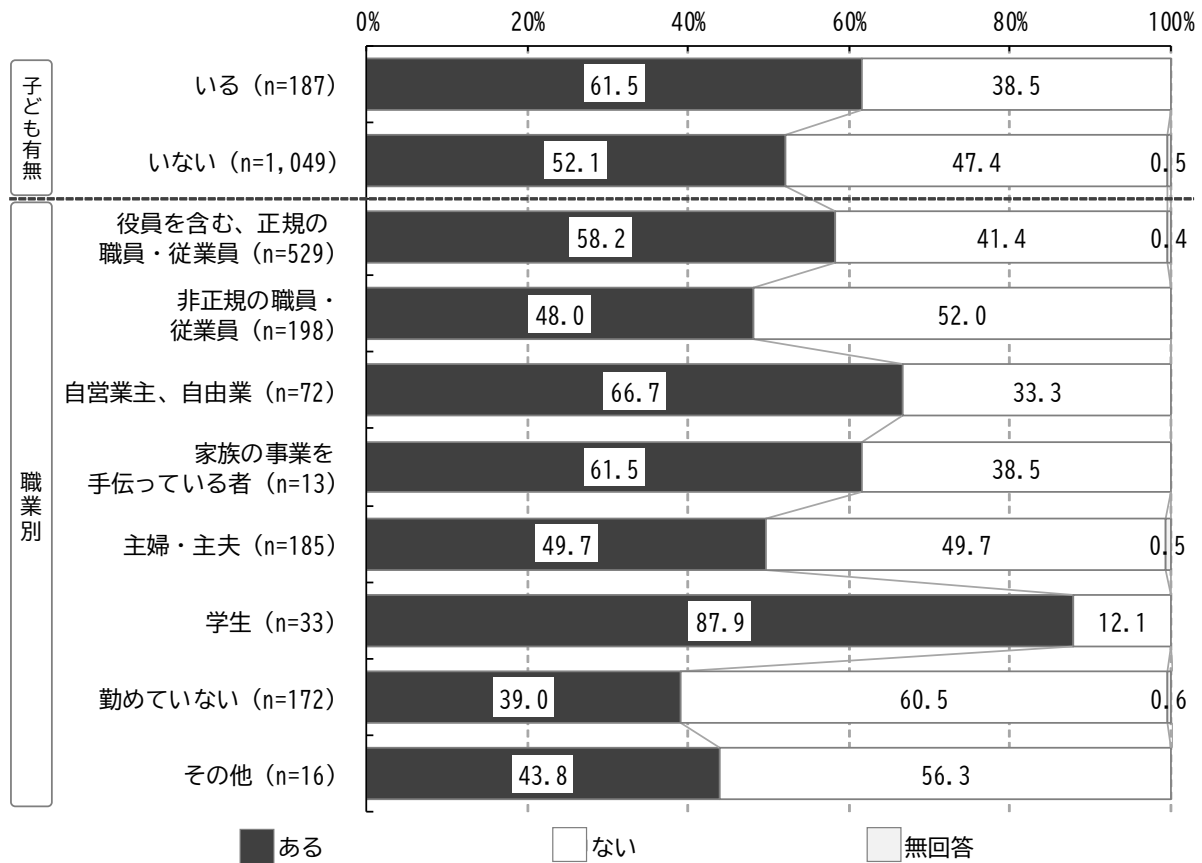
○性別では、「女性」で「ある」が55.9%、「男性」が52.0%となっています。

○年代別では、「10・20代」(69.3%)で「ある」が最も高く、若年層ほど「ある」の割合が高くなっています。

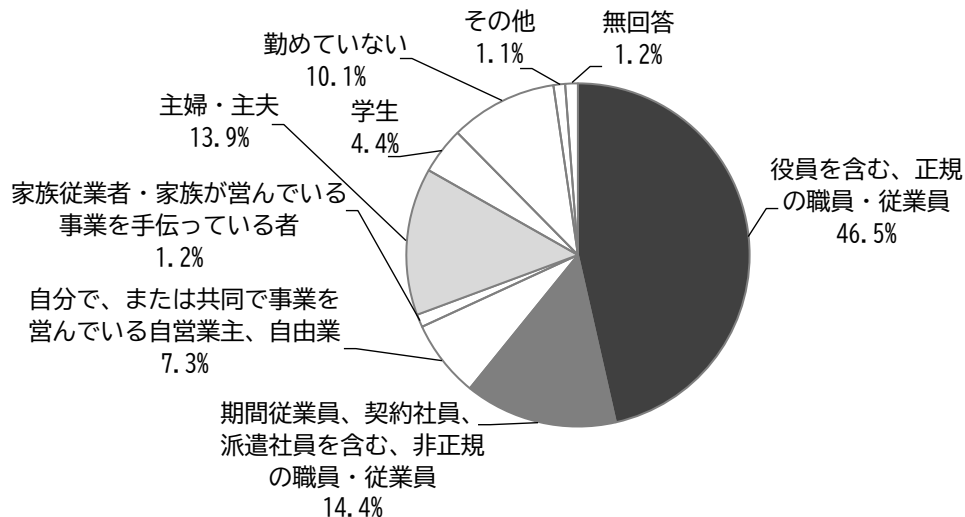
○地域別では、「調布地域」(58.0%)で「ある」が最も高くなっています。



- 子ども有無別では、「いる」が「いない」よりも「ある」は9.4ポイント高くなっています。
- 職業別では、「学生」(87.9%)で「ある」が最も高く、次いで、「自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業」(66.7%)、「役員を含む、正規の職員・従業員」(58.2%)となっています。
- 「ある」の回答者の職業割合をみると、「役員を含む、正規の職員・従業員」(46.5%)が最も高くなっています。



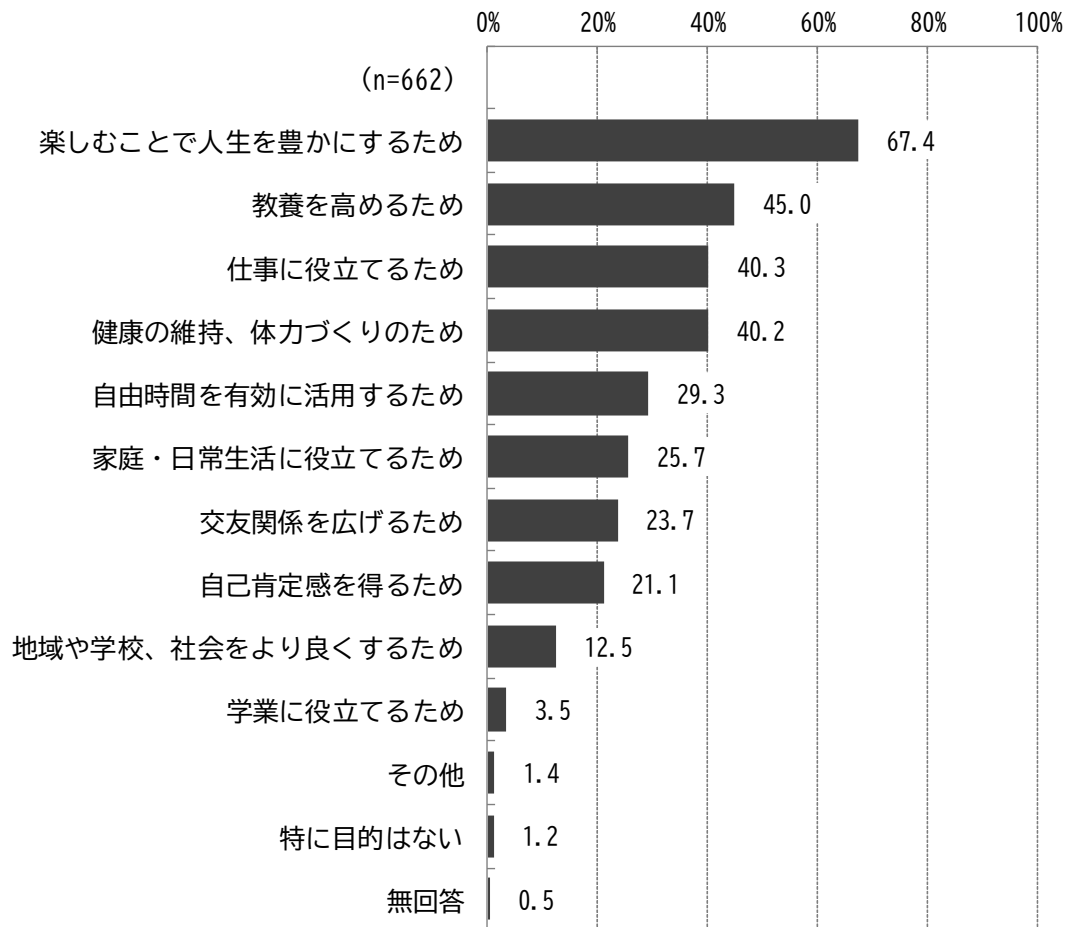
「ある」の回答者の職業割合 (n=662)



問3【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたが生涯学習を行う目的は何ですか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に目的をきいたところ、「楽しむことで人生を豊かにするため」(67.4%)が最も高く、次いで「教養を高めるため」(45.0%)、「仕事に役立てるため」(40.3%)、「健康の維持、体力づくりのため」(40.2%)となっています。



※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

※前回調査では、「交友関係を広げるため」を「他の人との親睦を深めたり、交友関係を広げたりするため」、「仕事に役立てるため」と「学業に役立てるため」を「仕事や学業に役立てるため」としていました。

○年代別では、「10・20代」から「60代」までは「楽しむことで人生を豊かにするため」、「70代以上」では「健康の維持、体力づくりのため」が最も高くなっています。

○2番目の項目をみると、「10・20代」「30代」では「仕事に役立てるため」、「40代」「50代」では「教養を高めるため」、「60代」では「健康の維持、体力づくりのため」、「70代以上」では「楽しむことで人生を豊かにするため」となっています。

○また、「70代以上」では「交友関係を広げるため」が他の年代よりも高くなっています。

	n	楽しむことで人生を豊かにするため	教養を高めるため	仕事に役立てるため	健康の維持、体力づくりのため	自由時間を有効に活用するため
10・20代	104	67.3	52.9	59.6	26.9	30.8
30代	108	63.9	47.2	59.3	25.9	25.0
40代	106	63.2	59.4	51.9	34.9	13.2
50代	128	69.5	44.5	43.8	36.7	24.2
60代	82	75.6	39.0	25.6	42.7	40.2
70代以上	131	67.2	30.5	6.9	67.9	42.7

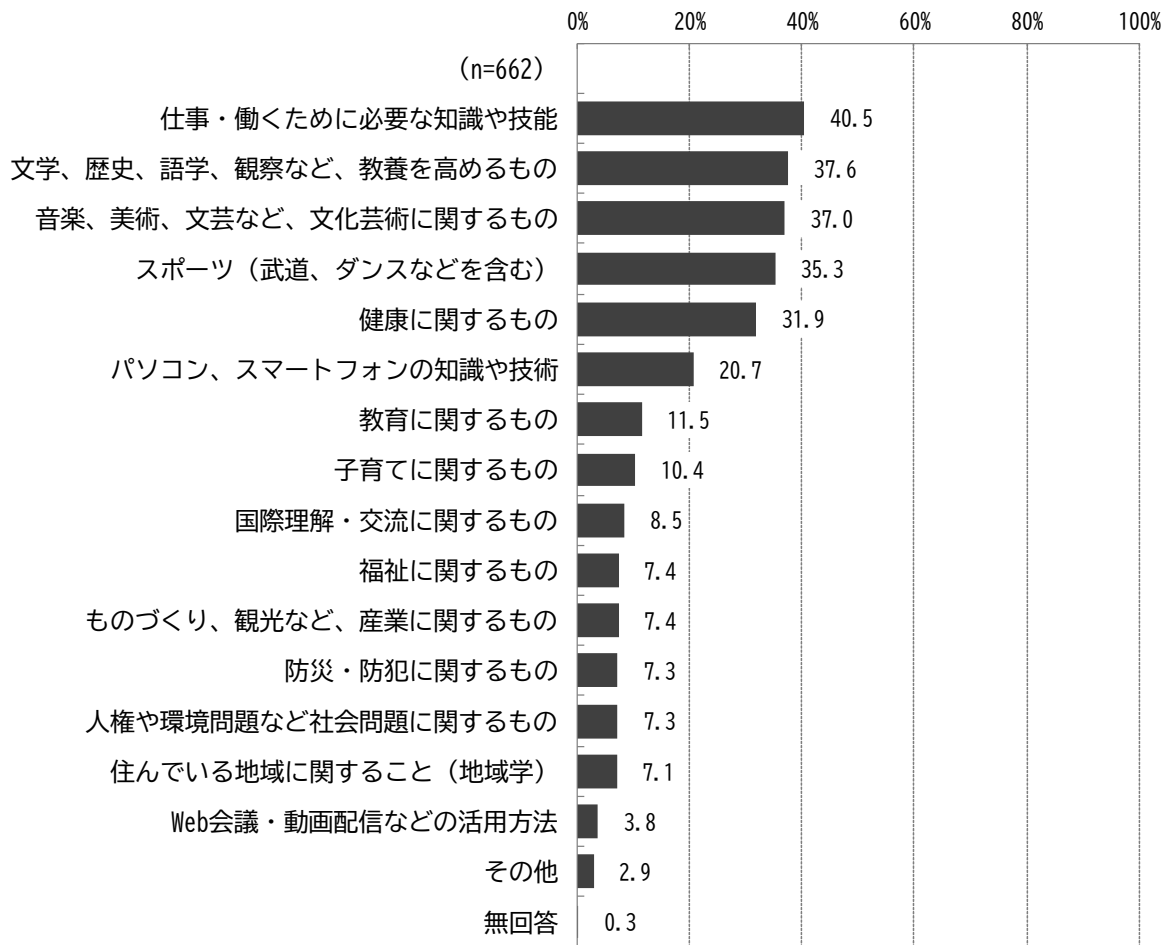
	n	家庭・日常生活に役立てるため	交友関係を広げるため	自己肯定感を得るため	地域や学校、社会をより良くするため	学業に役立てるため
10・20代	104	25.0	14.4	23.1	6.7	14.4
30代	108	33.3	13.9	33.3	14.8	4.6
40代	106	34.0	21.7	20.8	14.2	0.0
50代	128	26.6	20.3	18.0	11.7	1.6
60代	82	15.9	23.2	18.3	11.0	1.2
70代以上	131	18.3	43.5	15.3	16.0	0.0

	n	その他	特に目的はない	無回答
10・20代	104	1.0	1.9	0.0
30代	108	2.8	0.0	0.0
40代	106	0.9	1.9	0.9
50代	128	1.6	1.6	0.8
60代	82	0.0	0.0	0.0
70代以上	131	1.5	0.8	0.8

問4【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、どのような生涯学習を行いましたか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に内容をきいたところ、「仕事・働くために必要な知識や技能」(40.5%)が最も高く、次いで「文学、歴史、語学、観察など、教養を高めるもの」(37.6%)、「音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの」(37.0%)、「スポーツ(武道、ダンスなどを含む)」(35.3%)、「健康に関するもの」(31.9%)となっています。



※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人(n=662)が対象。

○年代別では、「10・20代」から「50代」で「仕事・働くために必要な知識や技能」、「60代」で「音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの」、「70代以上」で「健康に関するもの」が最も高くなっています。

	n	仕事・働くために必要な知識や技能	文学、歴史、語学、観察など、教養を高めるもの	音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの	スポーツ（武道、ダンスなどを含む）	健康に関するもの
10・20代	104	56.7	41.3	34.6	32.7	25.0
30代	108	63.9	37.0	33.3	25.0	22.2
40代	106	50.9	47.2	33.0	38.7	31.1
50代	128	43.0	34.4	34.4	34.4	26.6
60代	82	25.6	32.9	40.2	35.4	31.7
70代以上	131	7.6	34.4	45.8	45.0	51.1

	n	パソコン、スマートフォンの知識や技術	教育に関するもの	子育てに関するもの	国際理解・交流に関するもの	福祉に関するもの
10・20代	104	29.8	18.3	7.7	13.5	8.7
30代	108	24.1	14.8	24.1	13.0	2.8
40代	106	20.8	11.3	21.7	6.6	2.8
50代	128	17.2	10.2	5.5	4.7	6.3
60代	82	18.3	9.8	1.2	7.3	11.0
70代以上	131	16.0	5.3	2.3	6.9	13.0

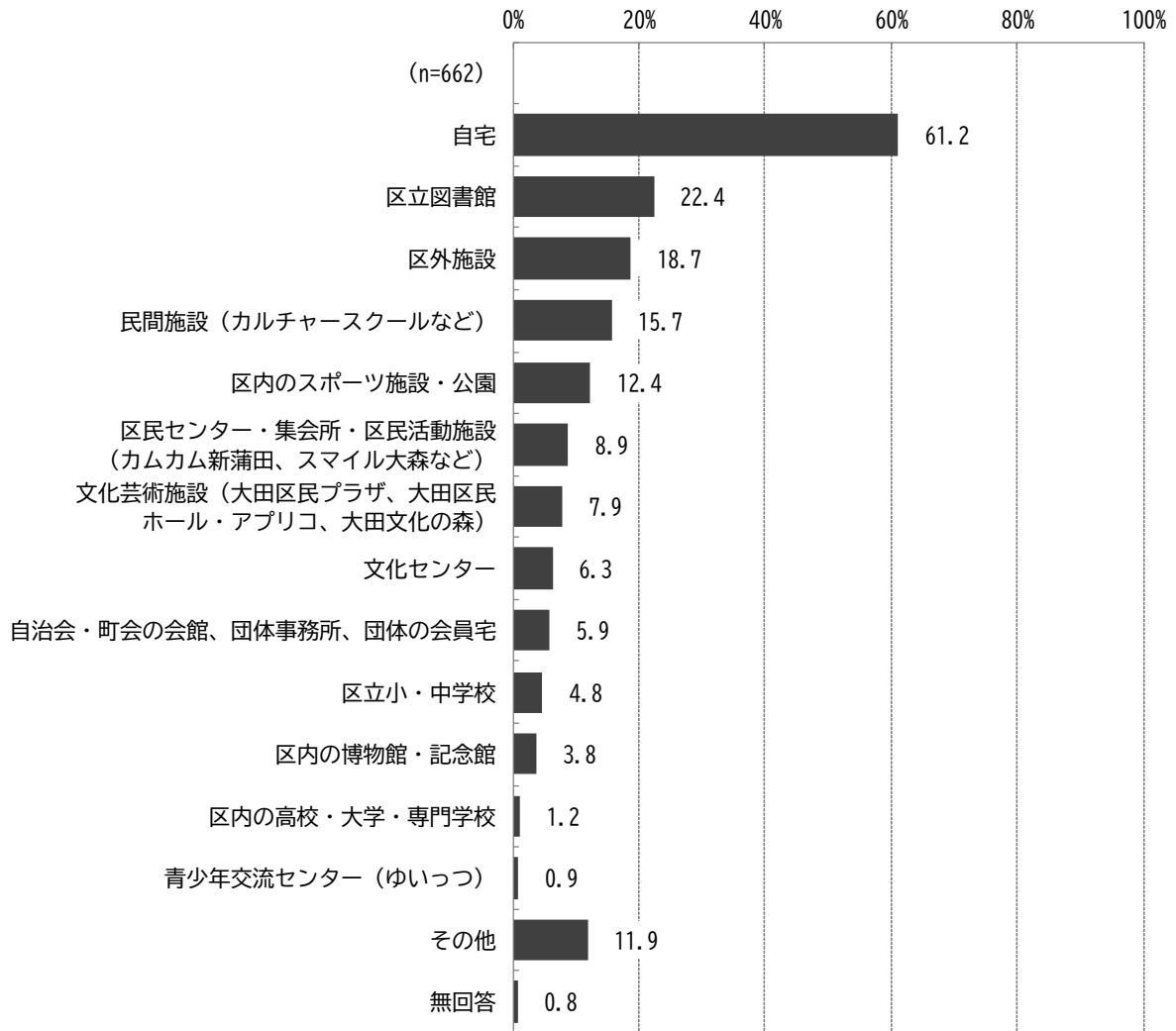
	n	ものづくり、観光など、産業に関するもの	防災・防犯に関するもの	人権や環境問題など社会問題に関するもの	住んでいる地域に関すること（地域学）	Web会議・動画配信などの活用方法
10・20代	104	6.7	7.7	7.7	2.9	5.8
30代	108	10.2	1.9	7.4	2.8	3.7
40代	106	6.6	6.6	4.7	8.5	1.9
50代	128	7.0	7.0	7.8	7.8	3.9
60代	82	8.5	3.7	4.9	4.9	4.9
70代以上	131	5.3	13.0	9.2	13.7	3.1

※その他、無回答を除いています。

問5【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたが生涯学習を行っている場所はどこですか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に行っている場所をきいたところ、「自宅」(61.2%)が最も高く、次いで「区立図書館」(22.4%)、「区外施設」(18.7%)となっています。



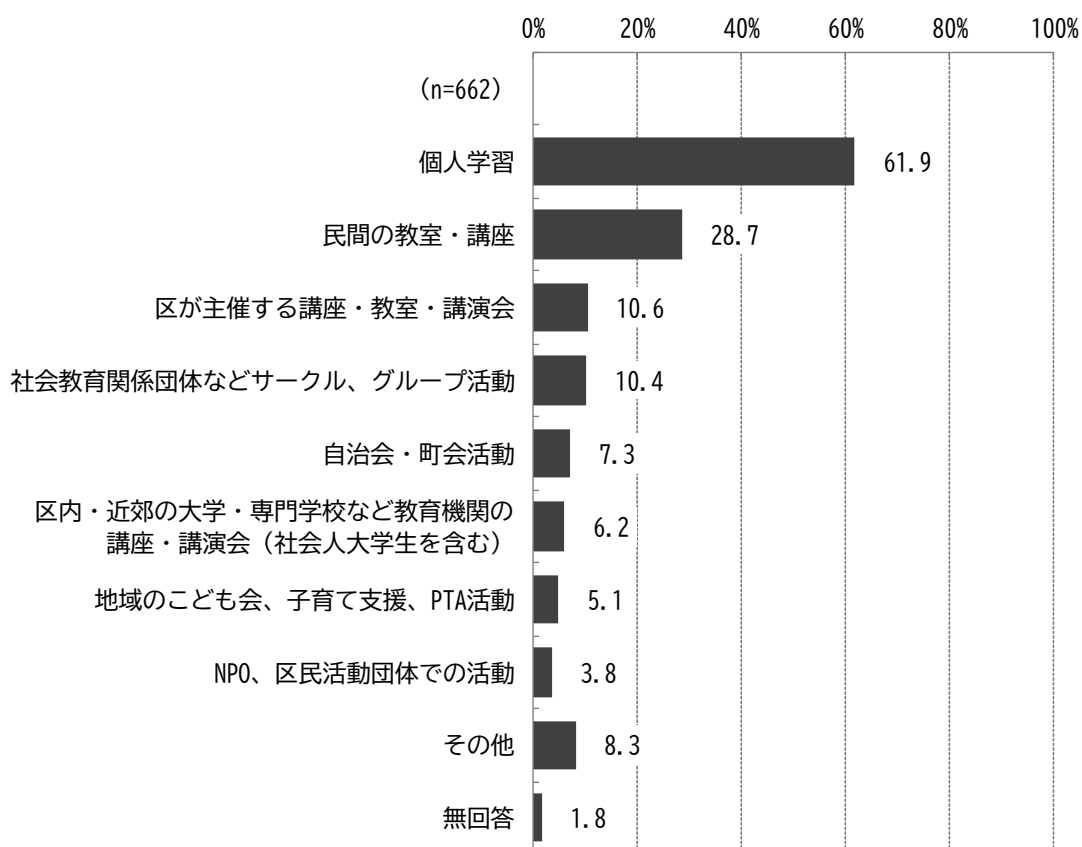
※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

問6【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、どのような方法で生涯学習を行っていますか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に方法をきいたところ、「個人学習」(61.9%)が最も高く、次いで「民間の教室・講座」(28.7%)となっています。

○また、「区が主催する講座・教室・講演会」は10.6%、「社会教育関係団体などサークル、グループ活動」は10.4%となっています。



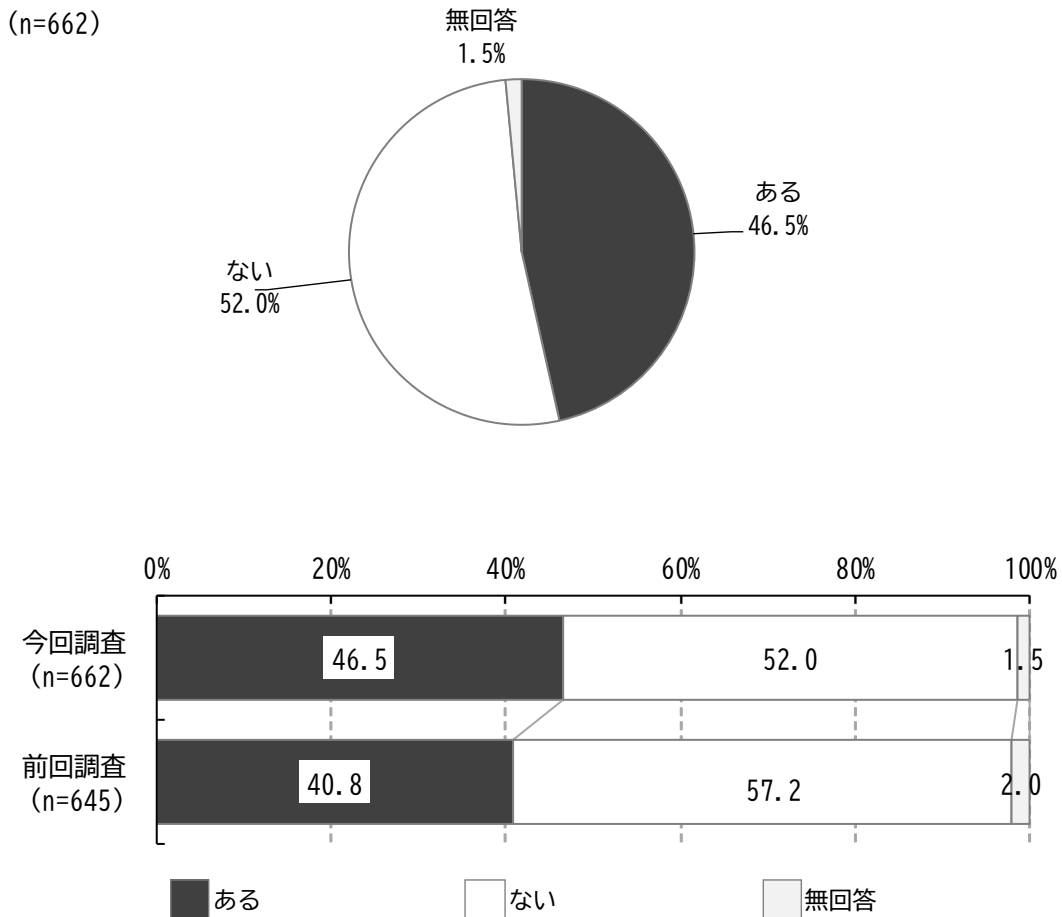
※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

問7【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(○は1つ)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方にオンラインで行ったことがあるかをきいたところ、「ある」が46.5%、「ない」が52.0%となっています。

○前回調査と比較すると、「ある」は5.7ポイント高くなっています。

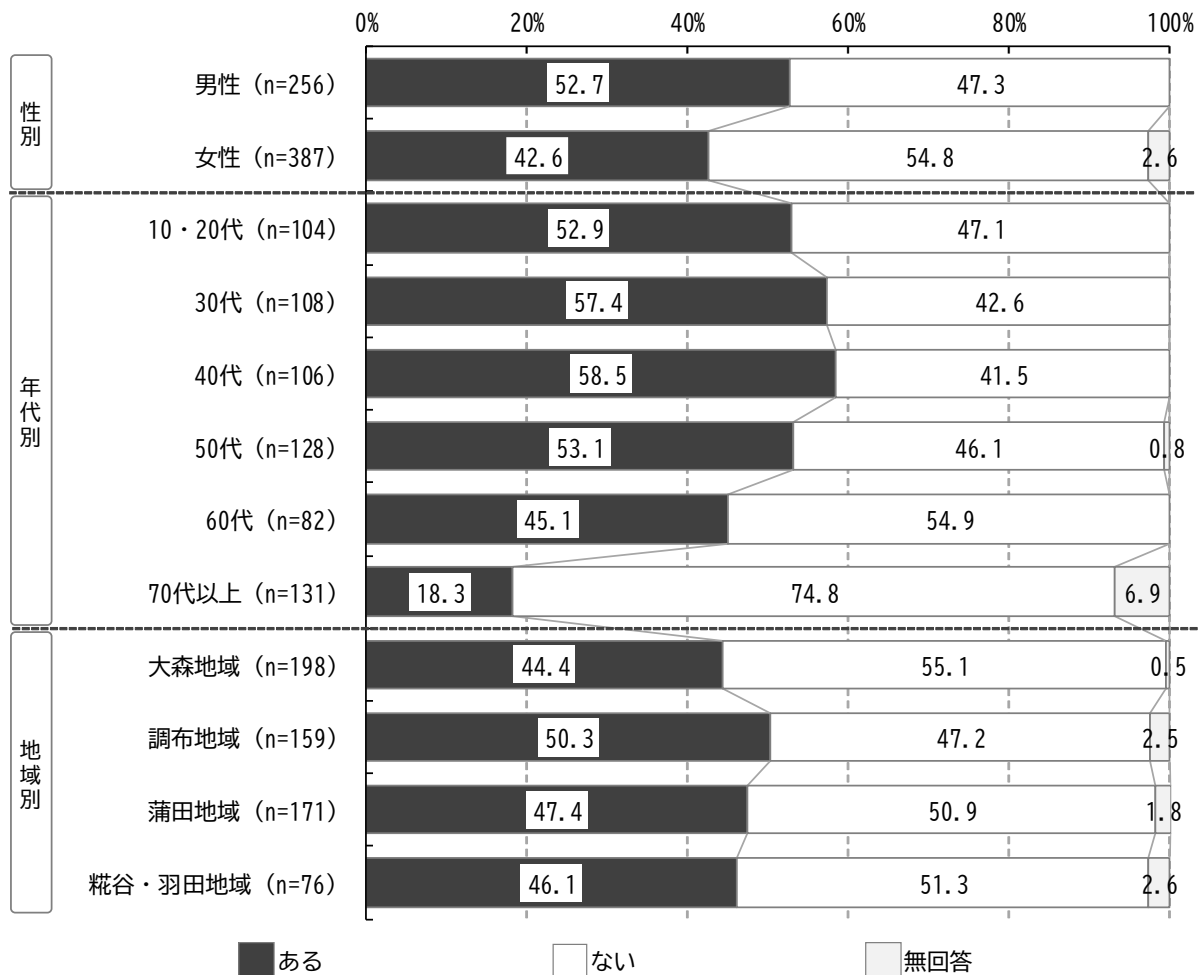


※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

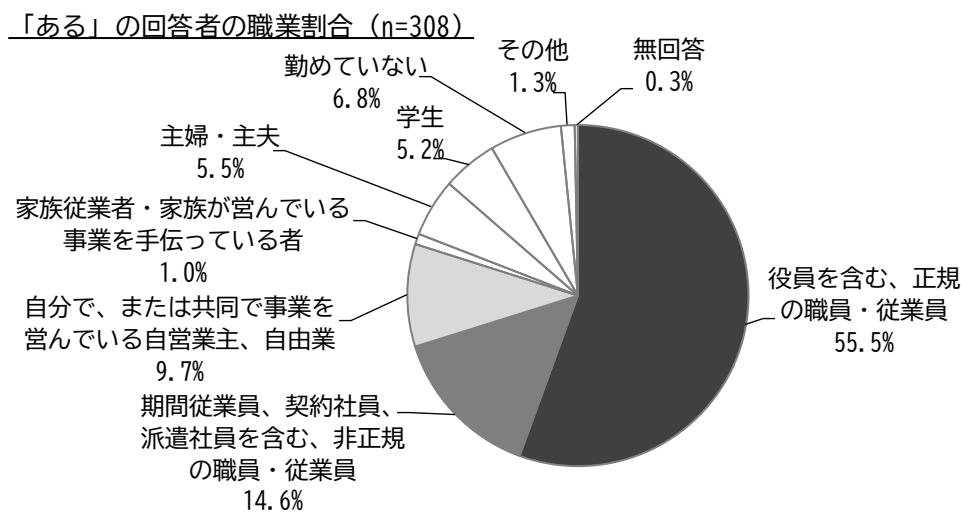
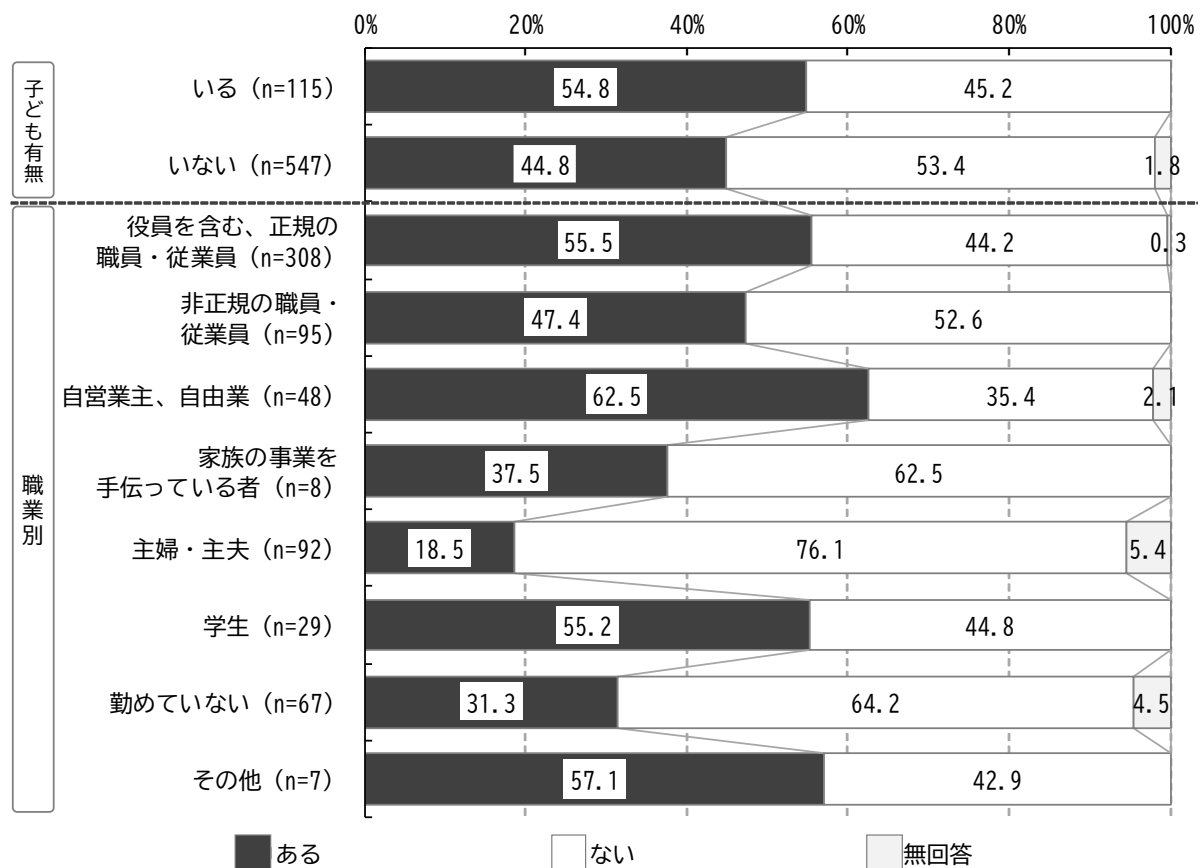
○性別では、「男性」で「ある」が52.7%であり、「女性」よりも10.1ポイント高くなっています。

○年代別では、「40代」(58.5%)で「ある」が最も高く、次いで「30代」(57.4%)、「50代」(53.1%)、「10・20代」(52.9%)となっています。

○地域別では、「調布地域」(50.3%)で「ある」が最も高くなっています。



- 子ども有無別では、「いる」が「いない」よりも「ある」は10ポイント高くなっています。
- 職業別では、「自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業」(62.5%)、「役員を含む、正規の職員・従業員」(55.5%)で高くなっています。
- 「ある」の回答者の職業割合をみると、「役員を含む、正規の職員・従業員」(55.5%)が最も高くなっています。

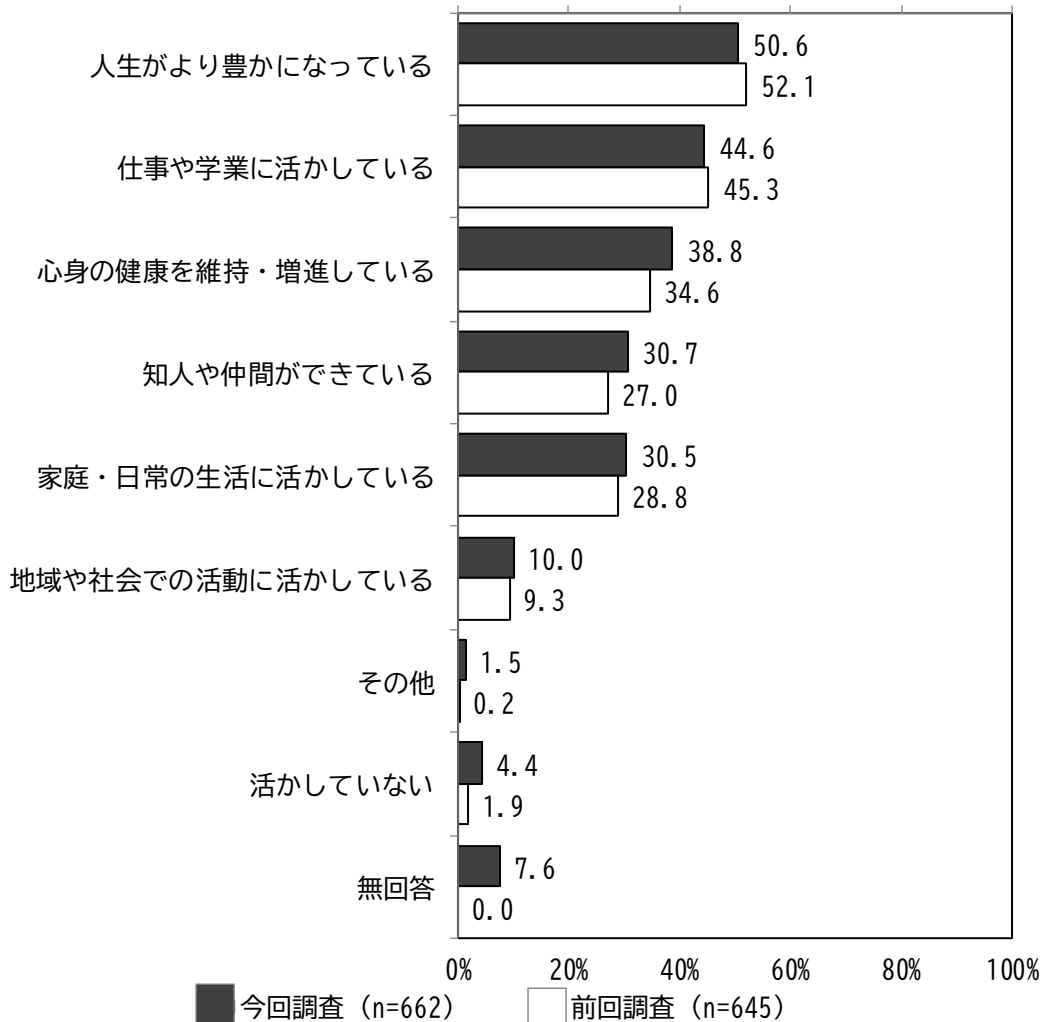


**問8 【問2で「1.ある」を選択の方】**

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしているかをきいたところ、「人生がより豊かになっている」(50.6%)が最も高く、次いで「仕事や学業に活かしている」(44.6%)、「心身の健康を維持・増進している」(38.8%)となっています。前回調査と比較すると、上位3項目は同様となっています。

○また、「知人や仲間ができている」は30.7%、「地域や社会での活動に活かしている」は10.0%となっています。



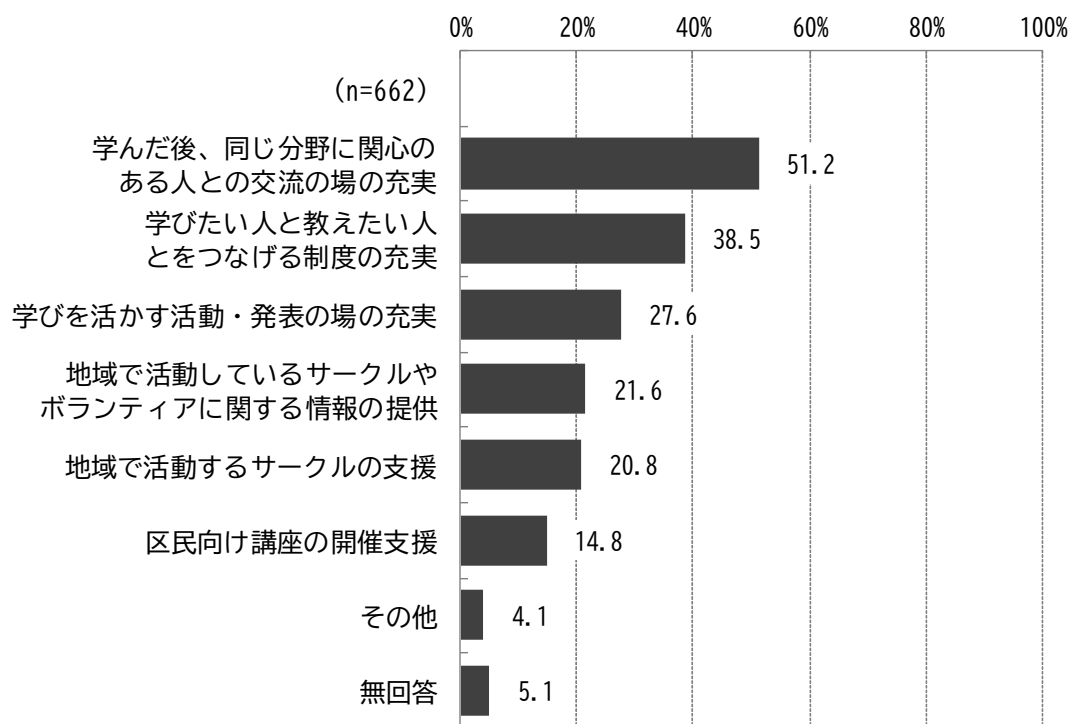
※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人が対象。

※今回調査の降順で並び替え。

問9【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を、地域で活かすために、どのようなサポートが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を、地域で活かすために、どのようなサポートが必要だと思うかをきいたところ、「学んだ後、同じ分野に関心のある人との交流の場の充実」(51.2%)が最も高く、次いで「学びたい人と教えたい人とをつなげる制度の充実」(38.5%)、「学びを活かす活動・発表の場の充実」(27.6%)となっています。



※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

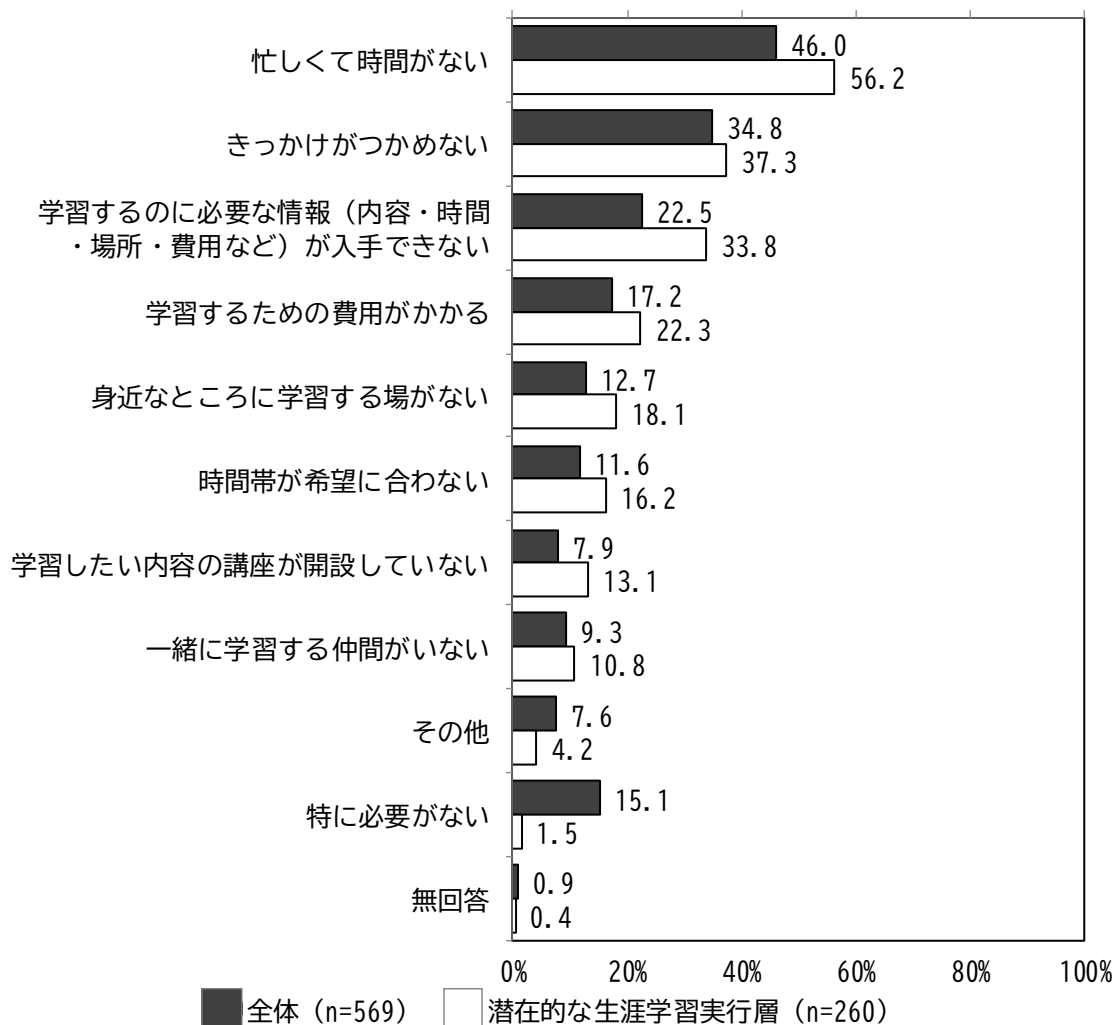
問10【問2で「2.ない」を選択の方】

最近1年間に生涯学習を行ったことがない理由をお答えください。

(○はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがない方にその理由をきいたところ、「忙しくて時間がない」(46.0%)が最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(34.8%)、「学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない」(22.5%)となっています。

○生涯学習に対する意識・行動別での「潜在的な生涯学習実行層」では、「忙しくて時間がない」(56.2%)が最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(37.3%)、「学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない」(33.8%)と全体と同様の順位ですが、割合は全体よりも高くなっています。



※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ない」人(n=569)が対象。

※潜在的な生涯学習実行層とは、学びへの関心が「ある」、最近1年間に生涯学習を行ったことが「ない」、今後の生涯学習について「行いたい」と回答した人。

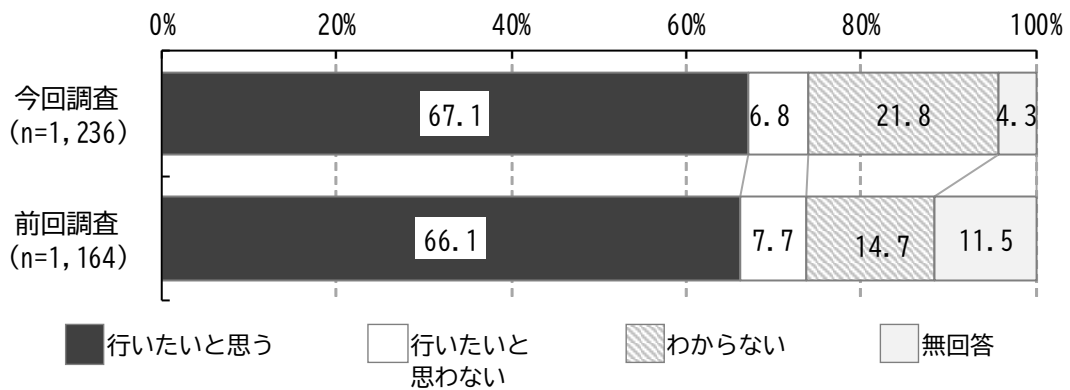
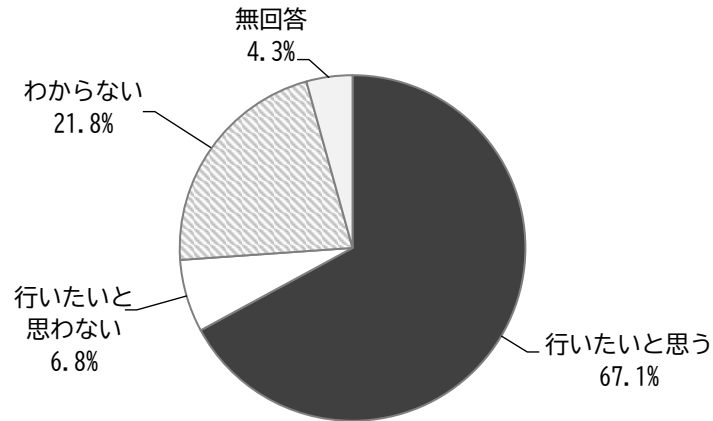
※全体の降順で並び替え。

問 11 あなたは、今後、生涯学習を行いたいと思いますか。(○は1つ)

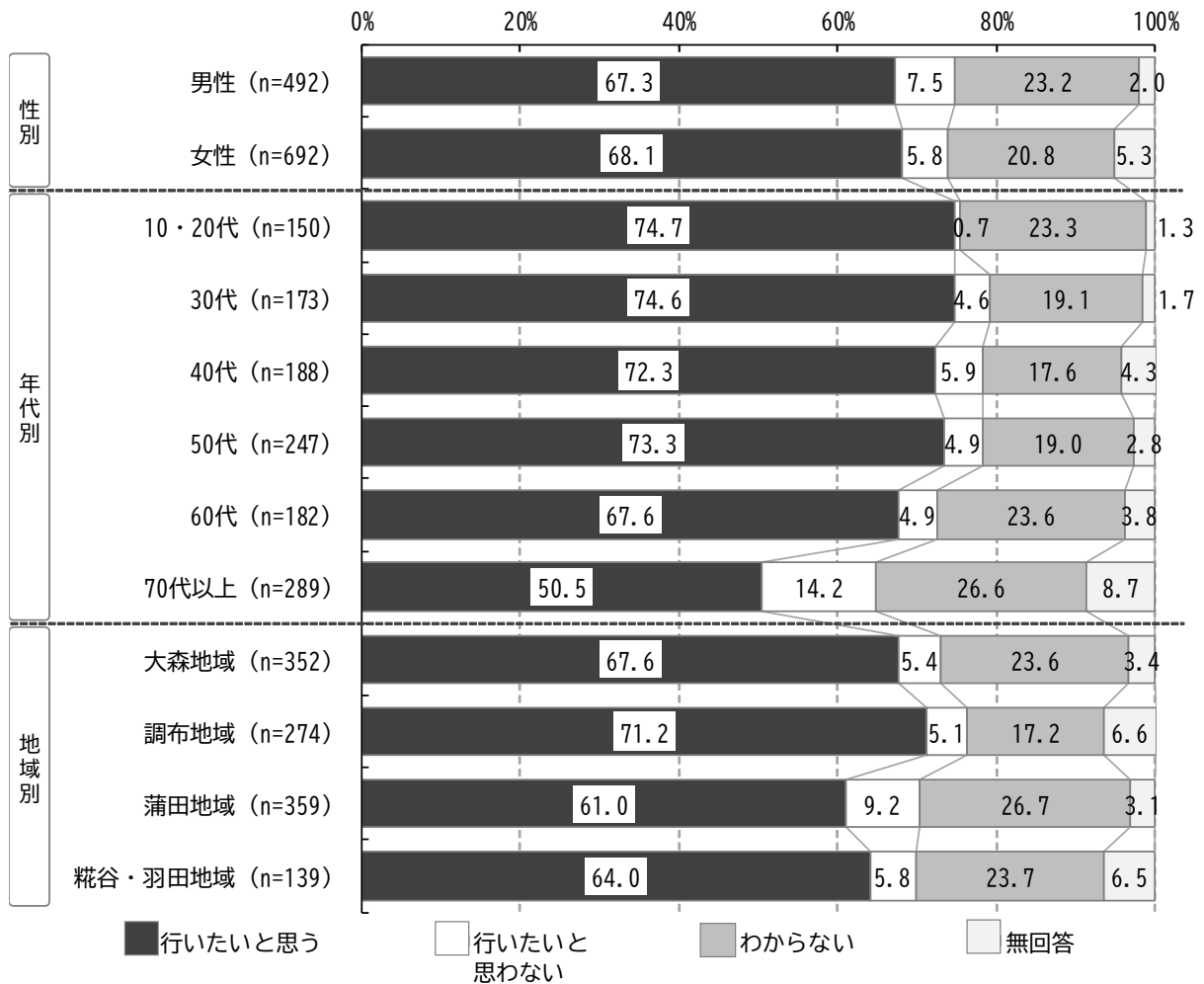
○今後の生涯学習の実行意向については、「行いたいと思う」が67.1%、「わからない」が21.8%、「行いたいと思わない」が6.8%となっています。

○前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

(n=1,236)



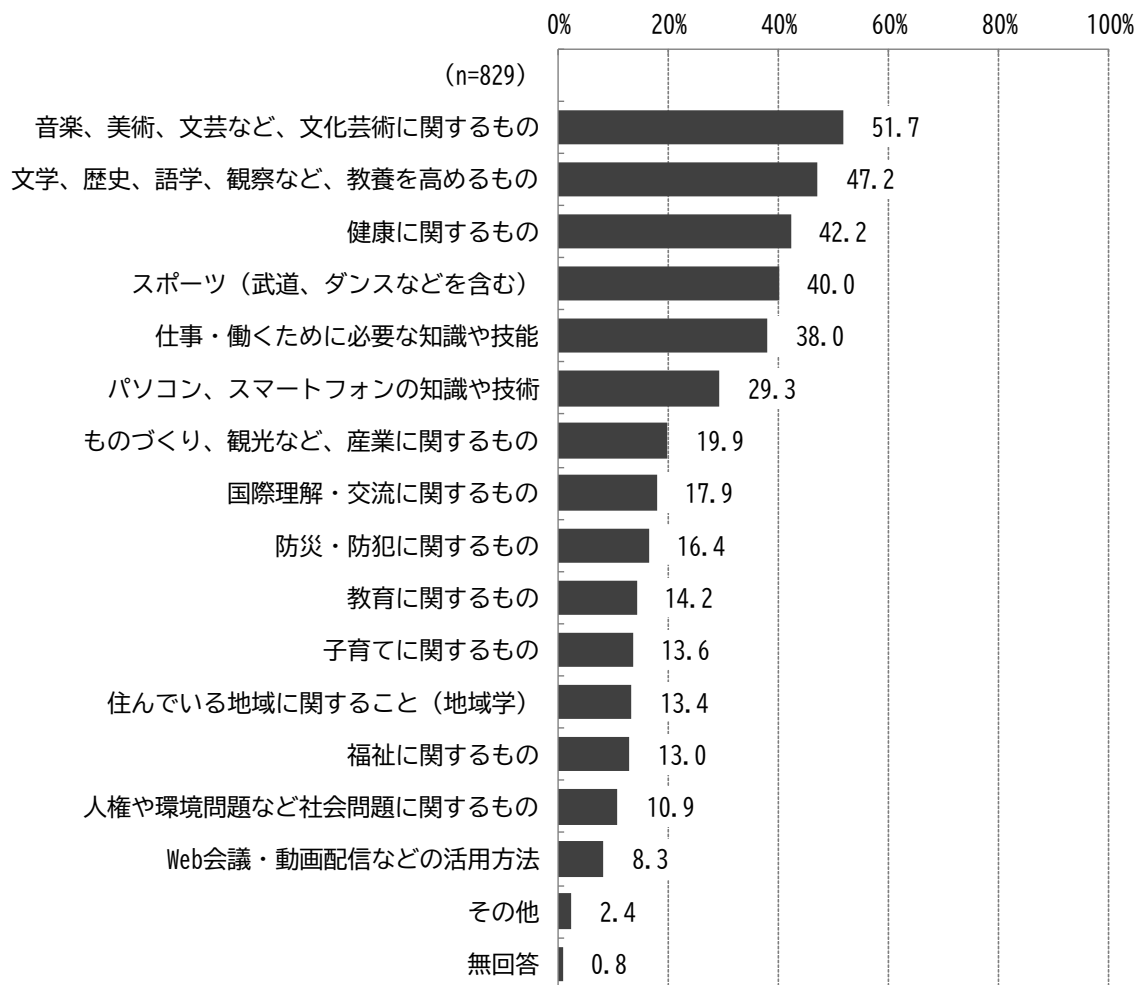
- 性別では、「男性」「女性」ともに「行きたいと思う」はほぼ同じ割合となっています。
- 年代別では、「10・20代」(74.7%)で「行きたいと思う」が最も高く、次いで「30代」(74.6%)となっています。
- 地域別では、「調布地域」(71.2%)で「行きたいと思う」が最も高くなっています。



問 12【問 11 で「1. 行いたいと思う」を選択の方】

今後、行いたい生涯学習の内容をお答えください。(〇はいくつでも)

○生涯学習を行いたいと思うと回答した方に、今後、行いたい生涯学習の内容をきいてみると、「音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの」(51.7%)が最も高く、次いで「文学、歴史、語学、観察など、教養を高めるもの」(47.2%)、「健康に関するもの」(42.2%)、「スポーツ(武道、ダンスなどを含む)」(40.0%)となっています。

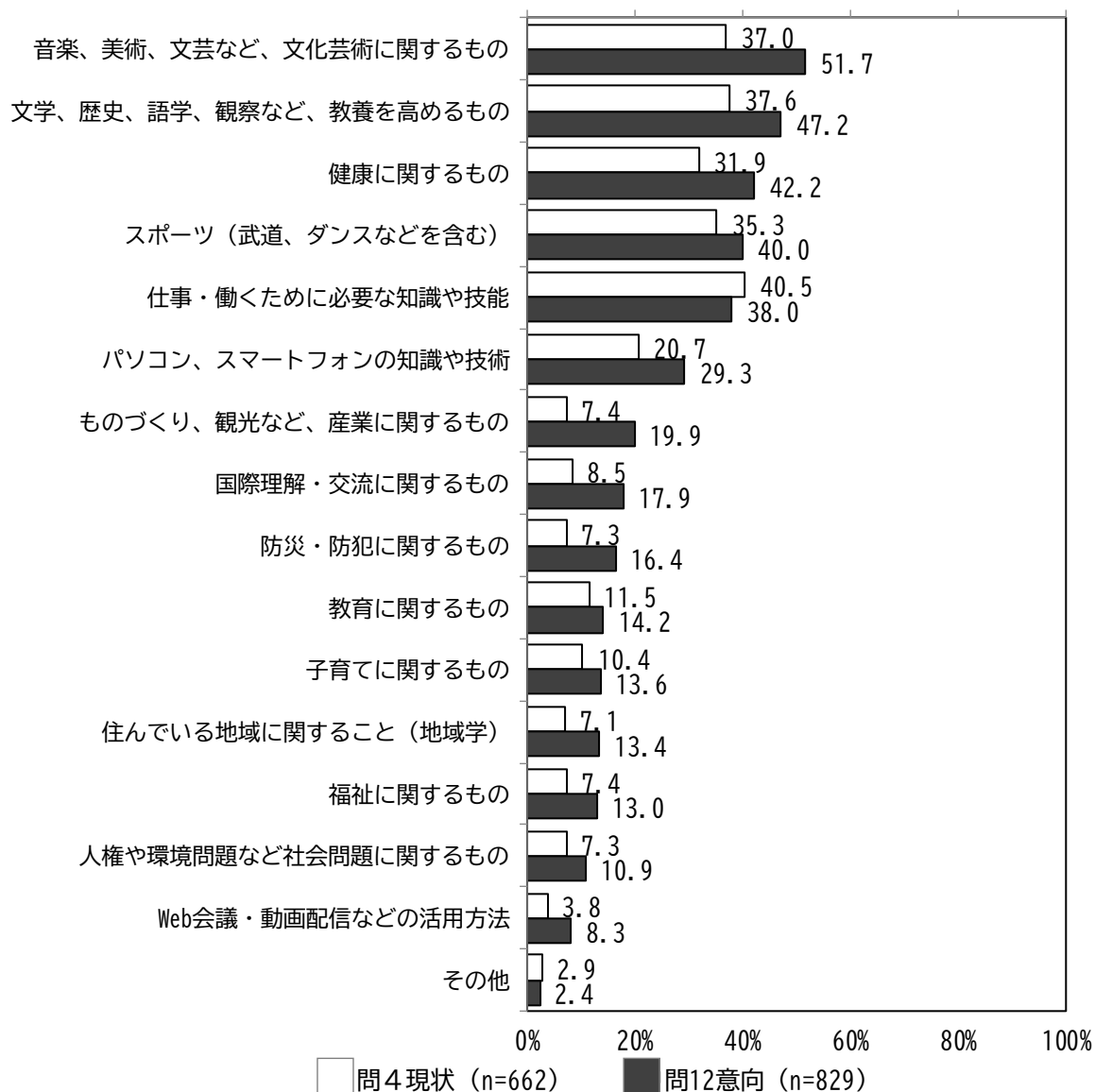


※今後の生涯学習を「行いたい」と回答した人(n=829)が対象。

○生涯学習の内容に関して、行ったもの（現状）と今後行いたいもの（意向）を比較したところ、「仕事・働くために必要な知識や技能」「その他」を除き、現状よりも意向の方が高くなっています。

○また、「音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの」「健康に関するもの」「ものづくり、観光など、産業に関するもの」では、現状よりも意向の方が10ポイント以上高くなっています。

【問4（最近1年間で行った生涯学習）と問12（今後、行いたい生涯学習）の比較】



※現状（n=662）：最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人

※意向（n=829）：今後の生涯学習を「行いたい」と回答した人

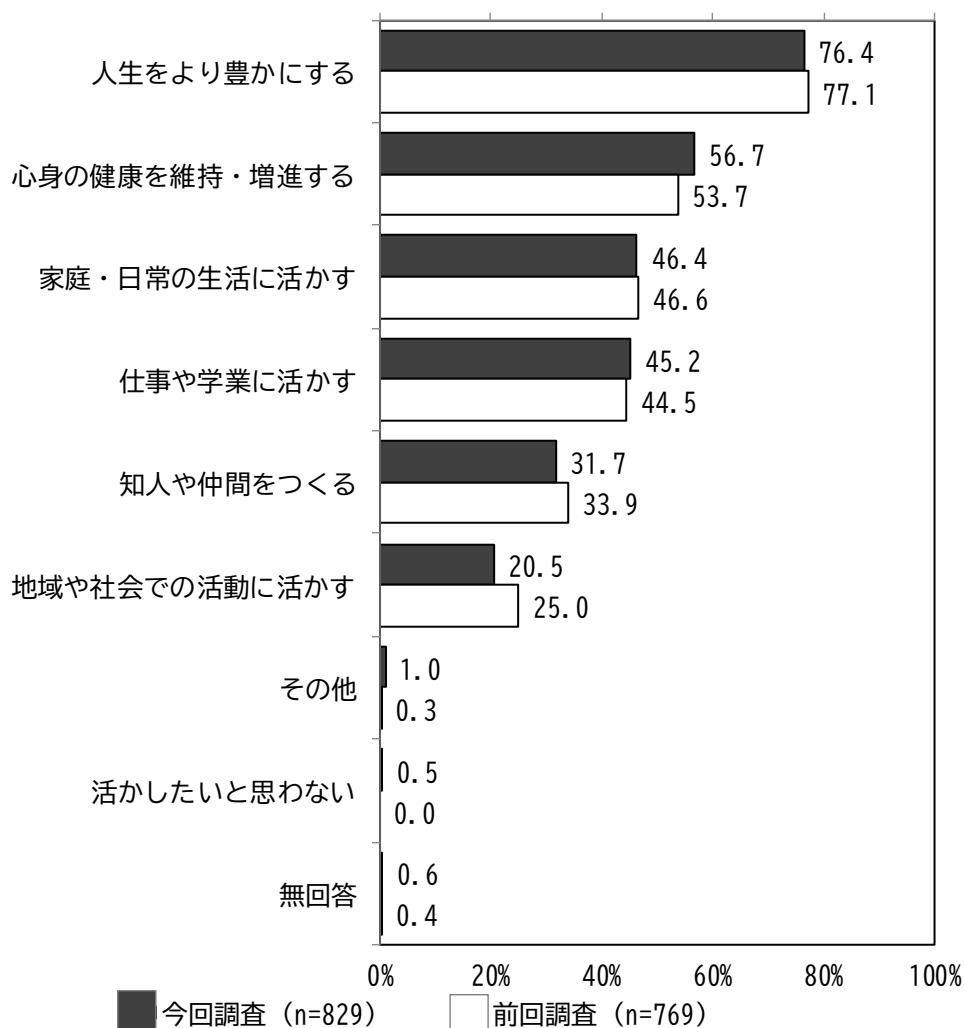
※問12意向の降順で並び替え。

問 13 【問 11 で「1. 行いたいと思う」を選択の方】

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていきたいと思いますか。(〇はいくつでも)

○生涯学習を行いたいと思うと回答した方に、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていきたいかをきいたところ、「人生をより豊かにする」(76.4%)が最も高く、次いで「心身の健康を維持・増進する」(56.7%)となっています。また、「地域や社会での活動に活かす」は20.5%となっています。

○前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



※今後の生涯学習を「行いたい」と回答した人が対象。

○性別では、「男性」「女性」ともに「人生をより豊かにする」が最も高くなっています。

○年代別では「10・20代」から「60代」までは「人生をより豊かにする」、「70代以上」で「心身の健康を維持・増進する」が最も高くなっています。

○地域別では、4地域全てで「人生をより豊かにする」が最も高くなっています。

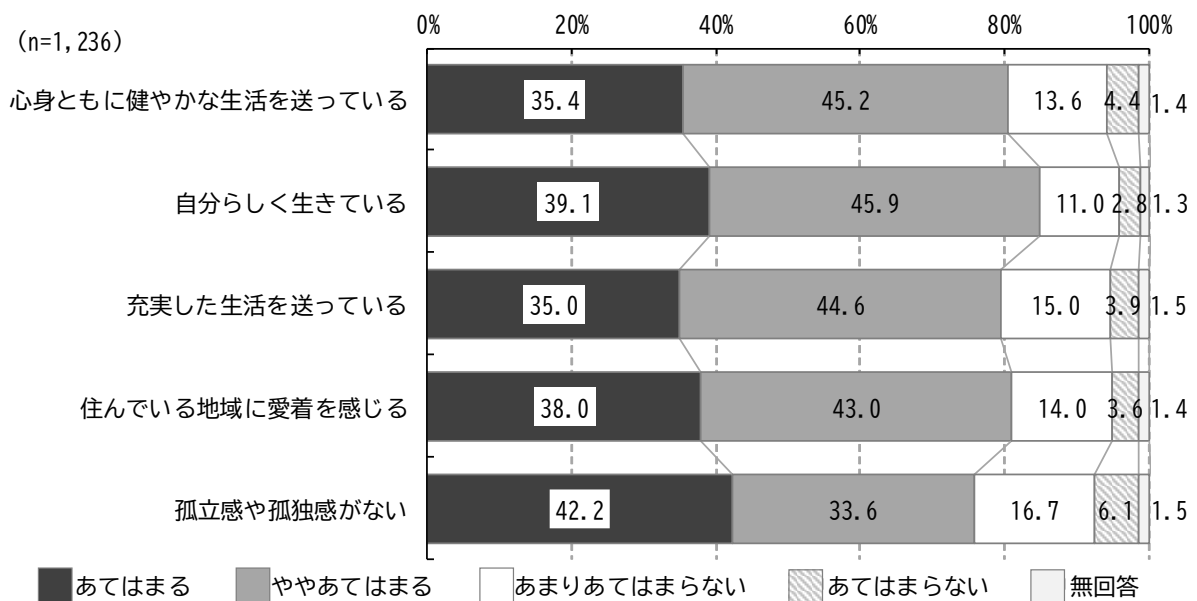
		n	人生をより豊かにする	心身の健康を維持・増進する	家庭・日常生活に活かす	仕事や学業に活かす	知人や仲間をつくる
性別	男性	331	75.8	50.8	41.1	49.5	31.1
	女性	471	77.5	60.9	49.5	43.1	32.5
年代別	10・20代	112	82.1	48.2	51.8	67.9	23.2
	30代	129	81.4	53.5	58.9	65.1	34.9
	40代	136	83.1	56.6	50.7	64.0	26.5
	50代	181	75.7	53.6	47.0	47.0	25.4
	60代	123	75.6	58.5	38.2	29.3	39.0
	70代以上	146	63.7	67.8	33.6	4.8	42.5
地域別	大森地域	238	81.9	58.4	45.0	47.5	31.1
	調布地域	195	77.9	52.3	48.7	47.2	30.8
	蒲田地域	219	72.1	56.2	47.5	41.6	32.0
	糀谷・羽田地域	89	74.2	57.3	47.2	47.2	27.0

		n	地域や社会での活動に活かす	その他	活かしたいと思わない	無回答
性別	男性	331	22.1	1.2	0.3	0.0
	女性	471	19.7	0.8	0.6	0.8
年代別	10・20代	112	13.4	0.0	0.0	0.0
	30代	129	21.7	0.0	0.0	0.8
	40代	136	22.1	1.5	0.0	0.0
	50代	181	21.0	1.7	0.6	1.1
	60代	123	25.2	0.8	0.8	0.0
	70代以上	146	19.2	1.4	1.4	1.4
地域別	大森地域	238	21.0	1.7	0.4	0.0
	調布地域	195	22.6	1.0	0.5	0.0
	蒲田地域	219	16.4	0.5	0.0	0.9
	糀谷・羽田地域	89	16.9	1.1	1.1	1.1

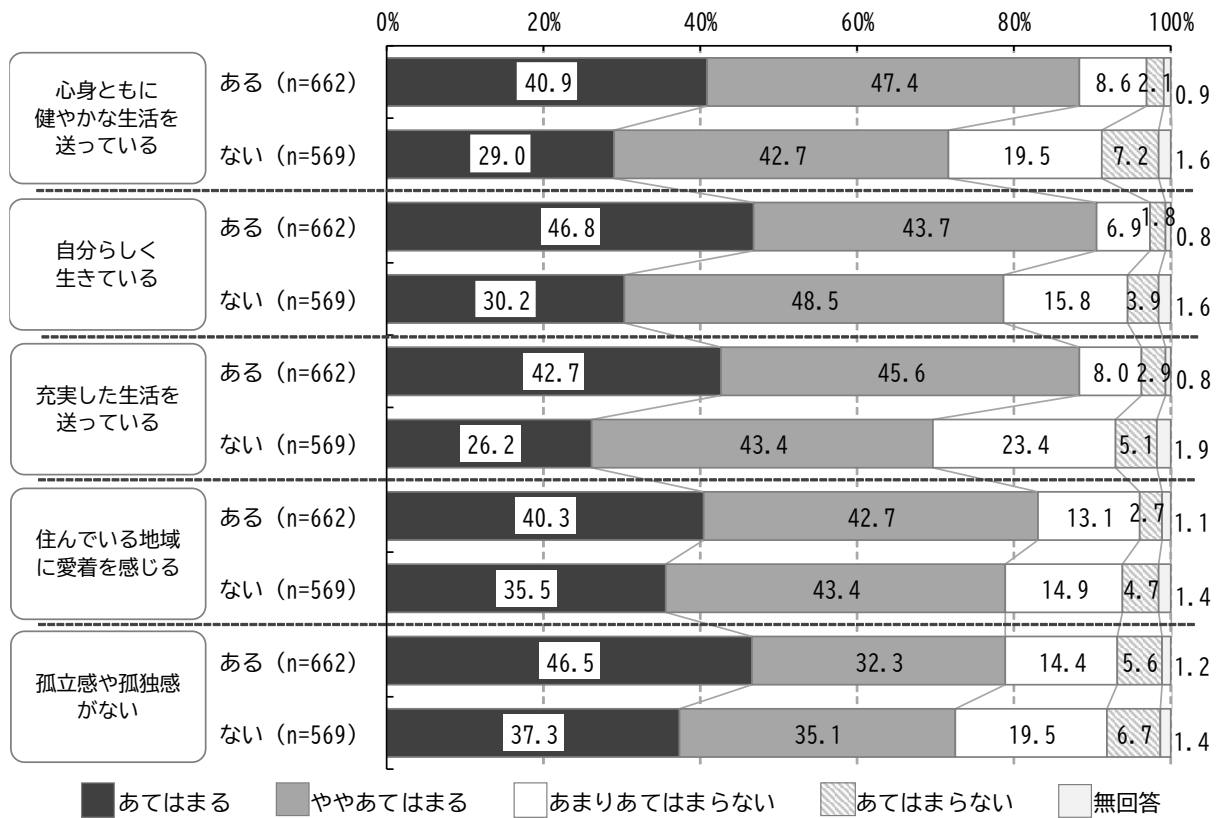
### 3 普段の生活について

問 14 普段の生活について、あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つしてください。  
(○は各1つ)

○普段の生活での意識について、「自分らしく生きている」では「肯定的評価」（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）が 85.0%で最も高く、次いで「住んでいる地域に愛着を感じる」（81.0%）、「心身ともに健やかな生活を送っている」（80.6%）となっています。



○最近1年間に生涯学習の実施状況別では、5項目全てにおいて「ある」の方が「ない」よりも「肯定的評価」が高くなっています。



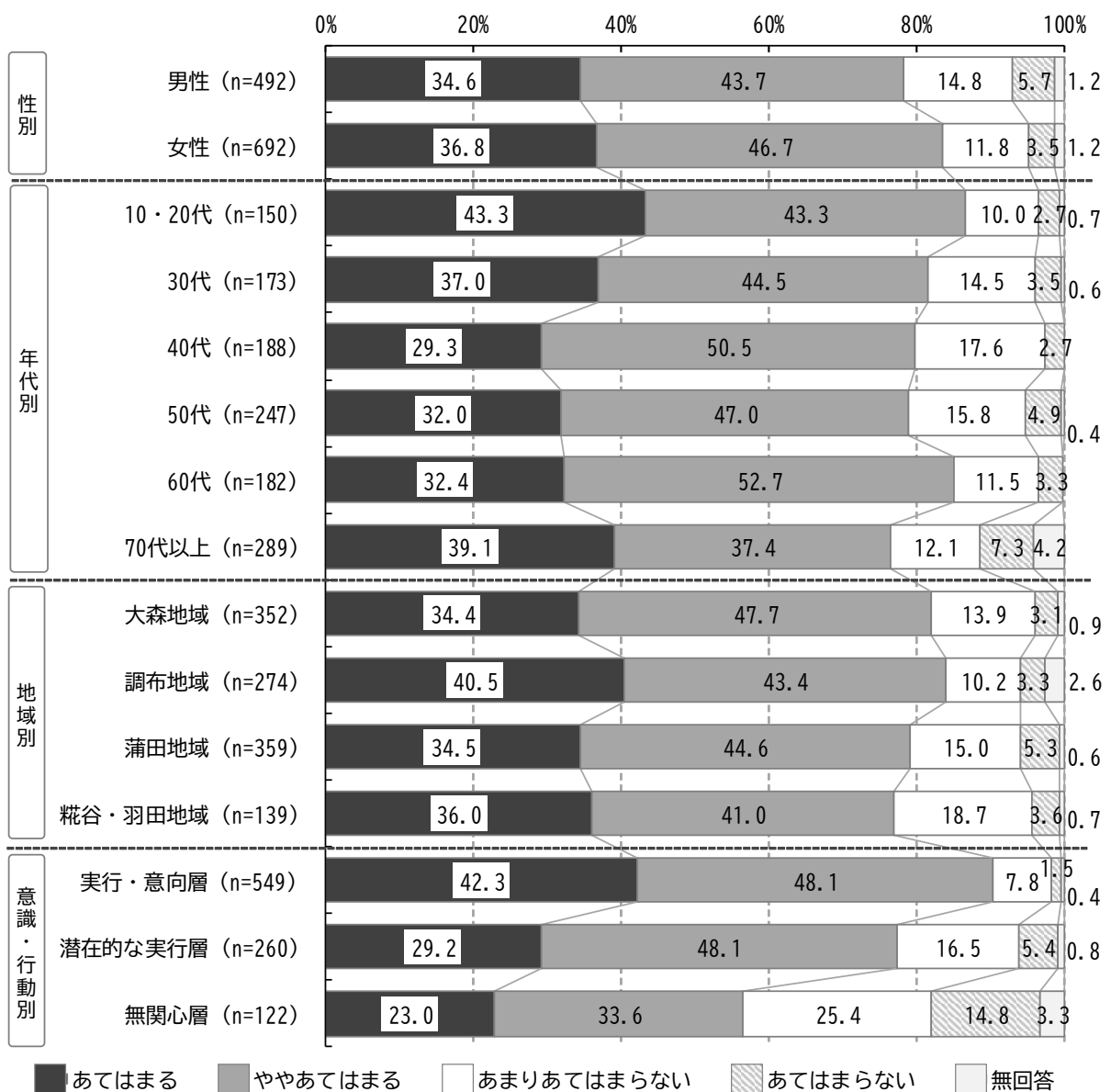
## 心身ともに健やかな生活を送っている

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が「男性」よりも5.2ポイント高くなっています。

○年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。

○地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では90.4%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では77.3%、「無関心層」では56.6%にとどまっています。



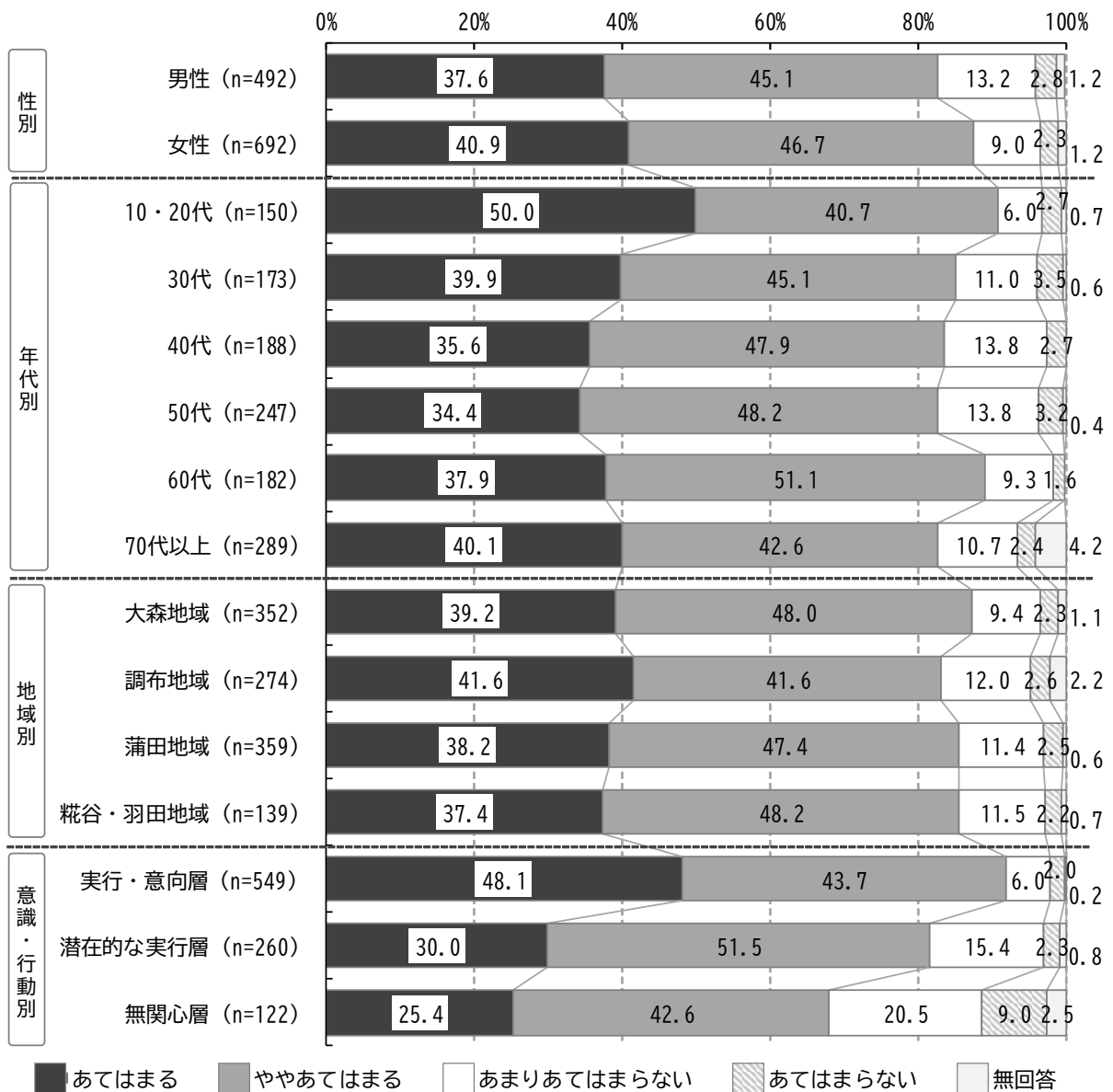
## 自分らしく生きている

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が高くなっています。

○年齢別では、「10・20代」が9割を超え最も高くなっています。

○地域別では、「大森地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では91.8%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では81.5%、「無関心層」では68.0%にとどまっています。



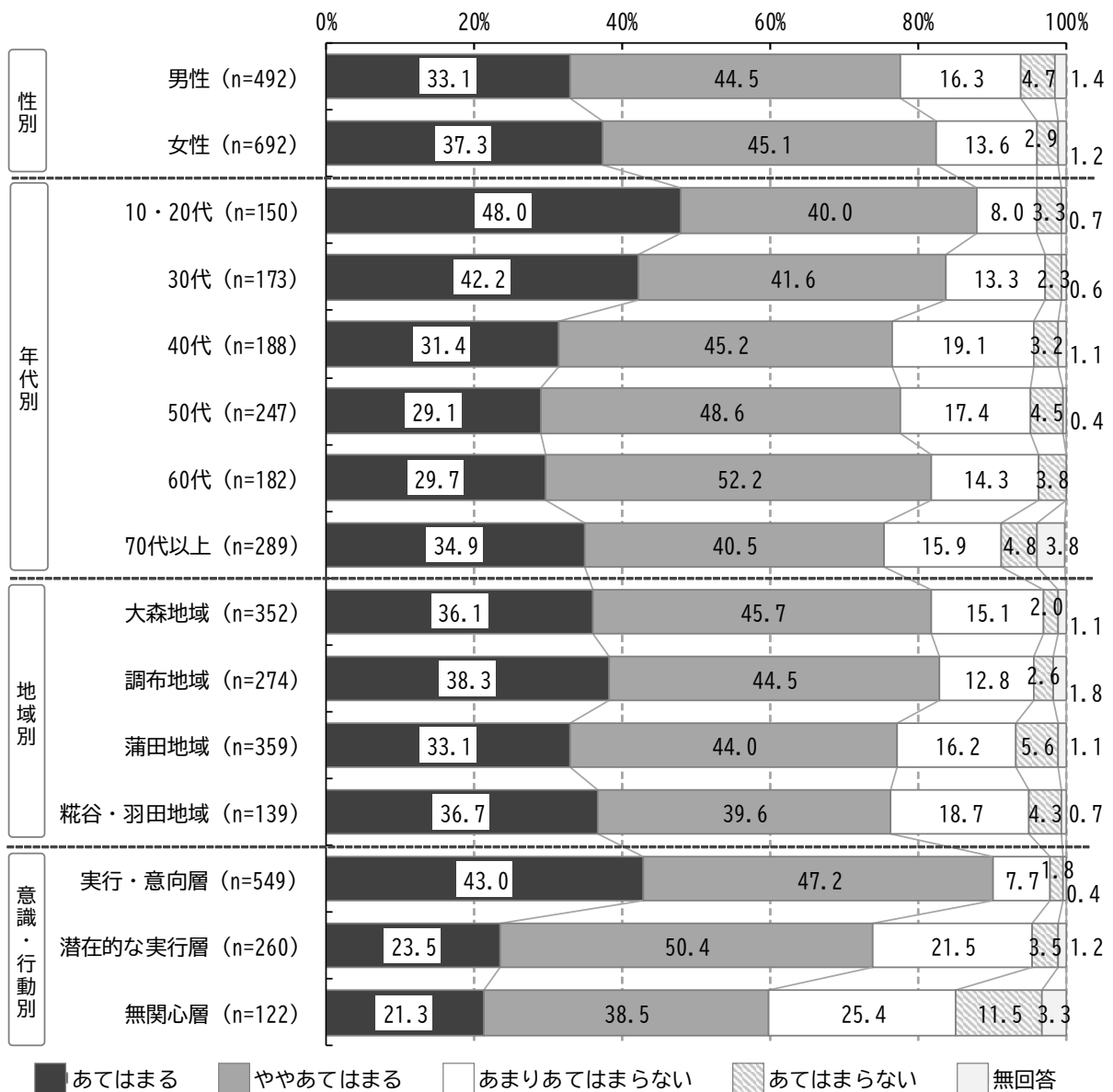
## 充実した生活を送っている

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が高くなっています。

○年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。

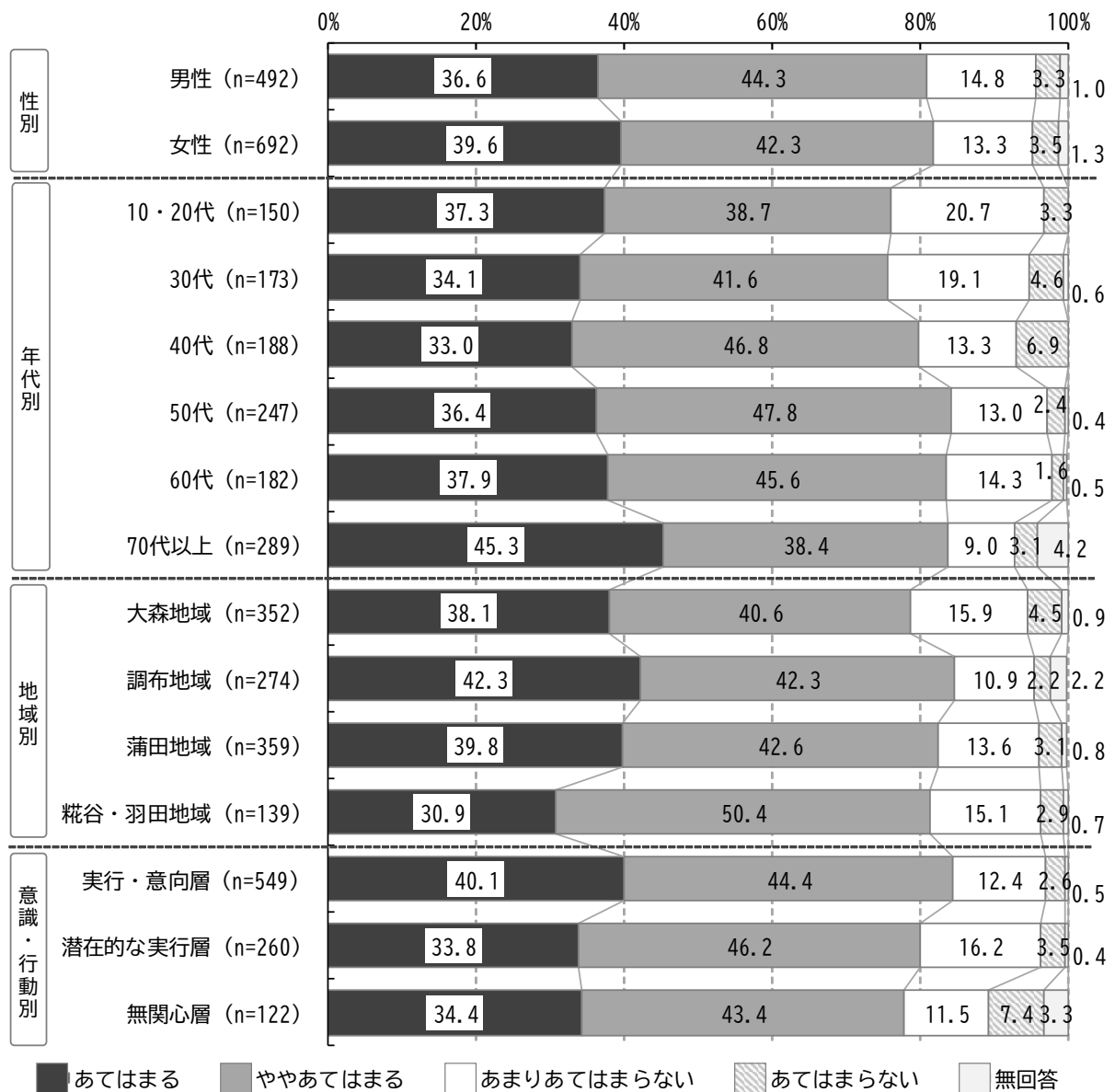
○地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では90.2%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では73.9%、「無関心層」では59.8%にとどまっています。



## 住んでいる地域に愛着を感じる

- 「肯定的評価」をみると、性別では、「男性」「女性」ともにほぼ同等となっています。
- 年齢別では、「50代」が最も高くなっています。
- 地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。
- 生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では84.5%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では80.0%、「無関心層」では77.8%にとどまっています。



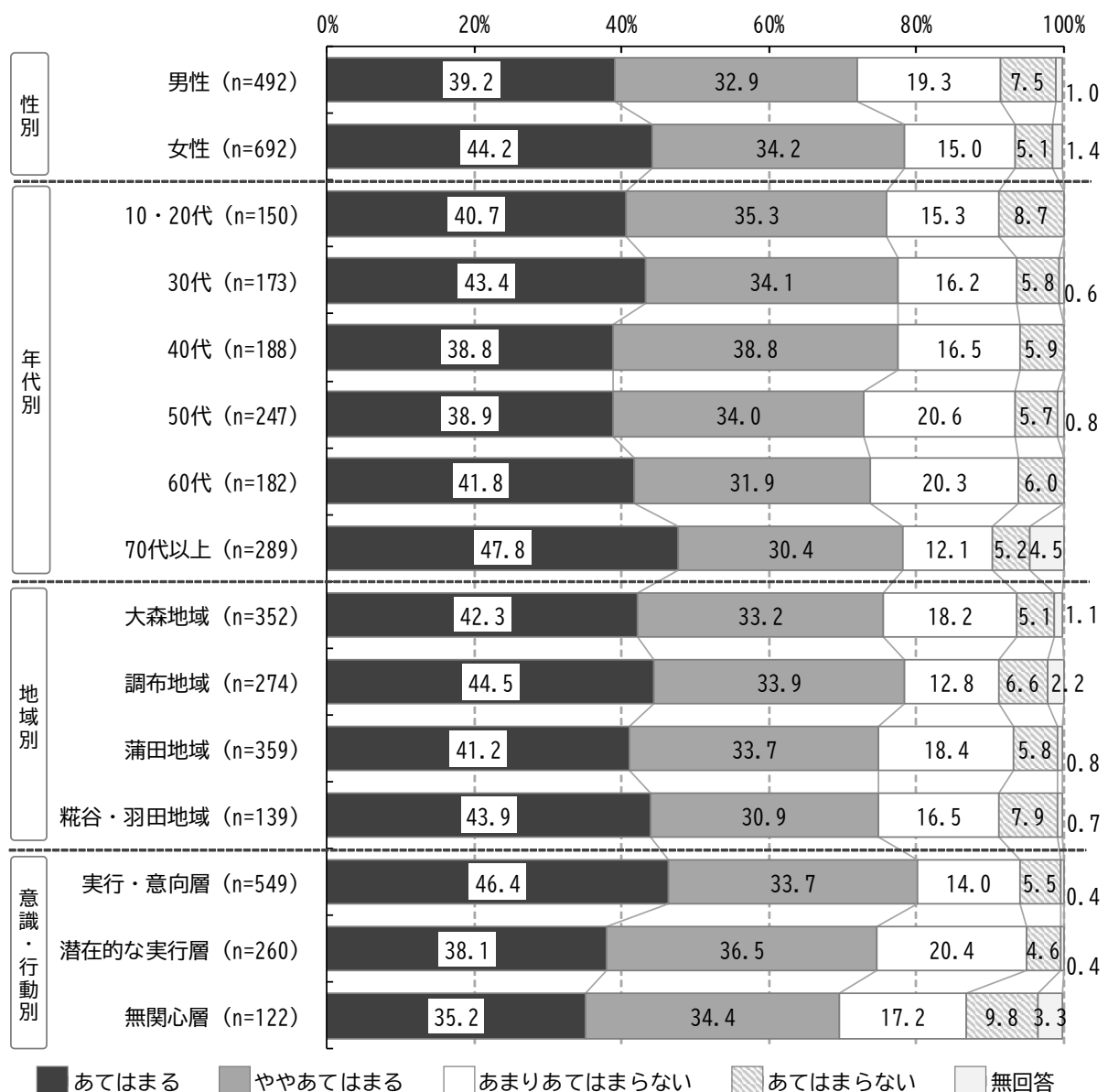
## 孤立感や孤独感がない

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が「男性」よりも6.3ポイント高くなっています。

○年齢別では、「70代以上」が最も高くなっています。

○地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では80.1%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では74.6%、「無関心層」では69.6%にとどまっています。

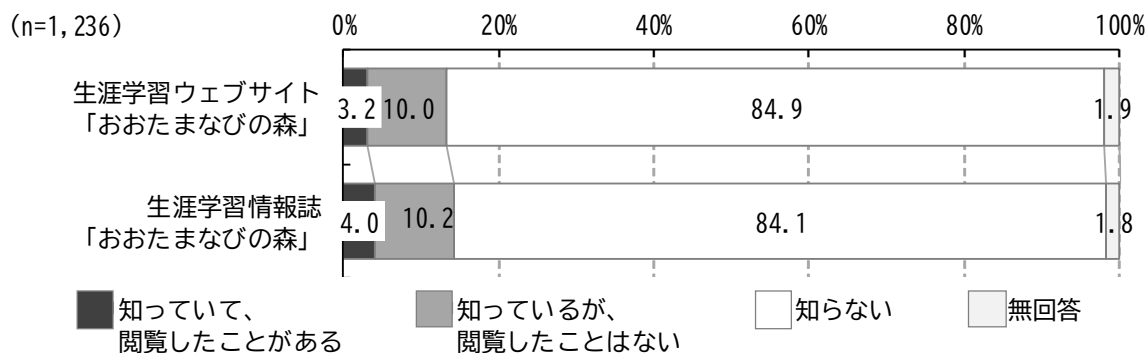


## 4 大田区の生涯学習施策・事業について

問 15 大田区の生涯学習に関する情報誌などについて、ご存じのものはありますか。  
(○は各1つ)

○大田区の生涯学習に関する情報誌などについての認知度（「知っていて、閲覧したことがある」と「知っているが、閲覧したことはない」の合計）は、「生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」」では13.2%、「生涯学習情報誌「おおたまなびの森」」では14.2%となっており、ともに「知らない」が8割半ばとなっています。

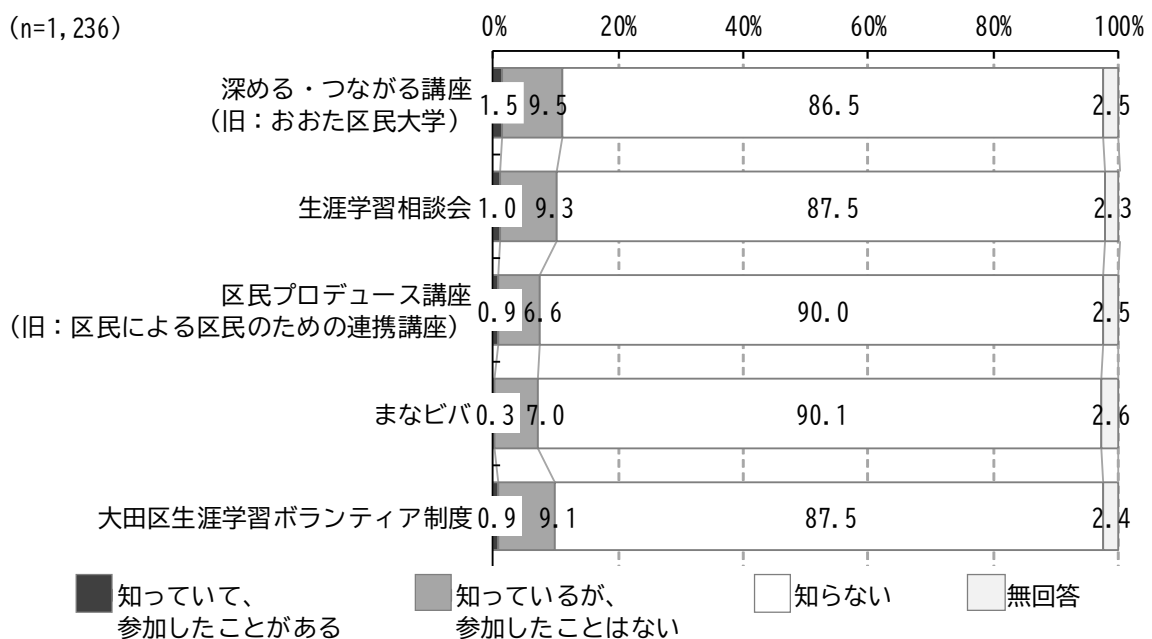
○閲覧経験については、「生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」」では3.2%、「生涯学習情報誌「おおたまなびの森」」では4.0%となっています。



問 16 大田区の生涯学習に関する事業について、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

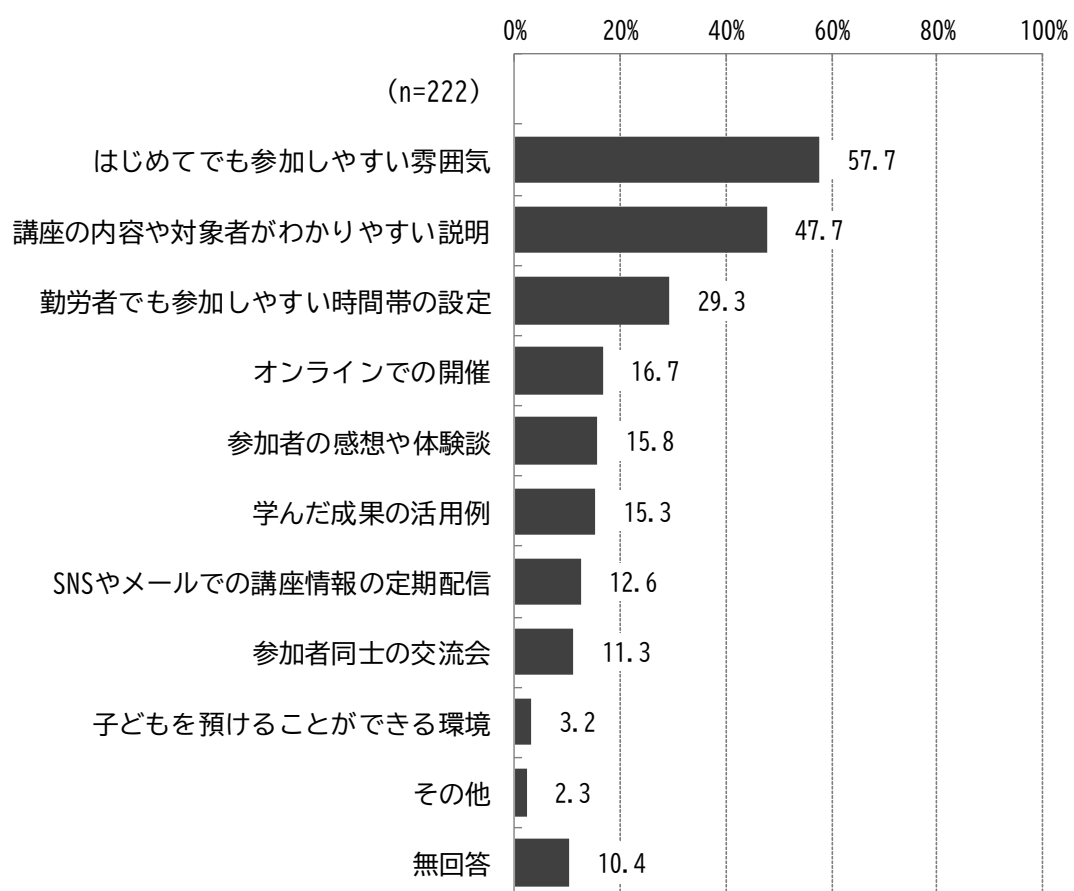
○大田区の生涯学習に関する事業などについての認知度(「知っている、参加したことがある」と「知っているが、参加したことはない」の合計)は、「深める・つながる講座(旧:おおた区民大学)」では11.0%、「生涯学習相談会」では10.3%、「大田区生涯学習ボランティア制度」では10.0%、「区民プロデュース講座(旧:区民による区民のための連携講座)」では7.5%、「まなびバ」では7.3%となっており、5事業全てについて「知らない」が8割半ばから約9割となっています。

○参加経験については、5事業全てについて1%台以下となっています。



問 17【問 16 のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択の方】  
 どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

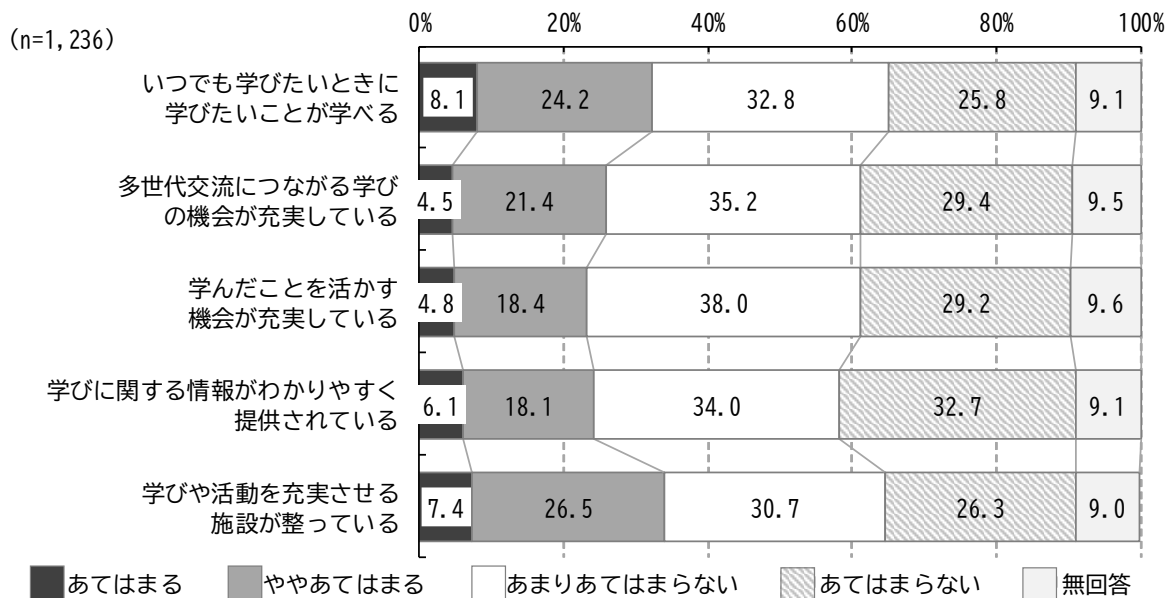
○大田区の生涯学習に関するいずれかの事業について、知っているが、参加したことはないと回答した方に、どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思うかについて、「はじめてでも参加しやすい雰囲気」（57.7%）が最も高く、次いで「講座の内容や対象者がわかりやすい説明」（47.7%）、「勤労者でも参加しやすい時間帯の設定」（29.3%）となっています。



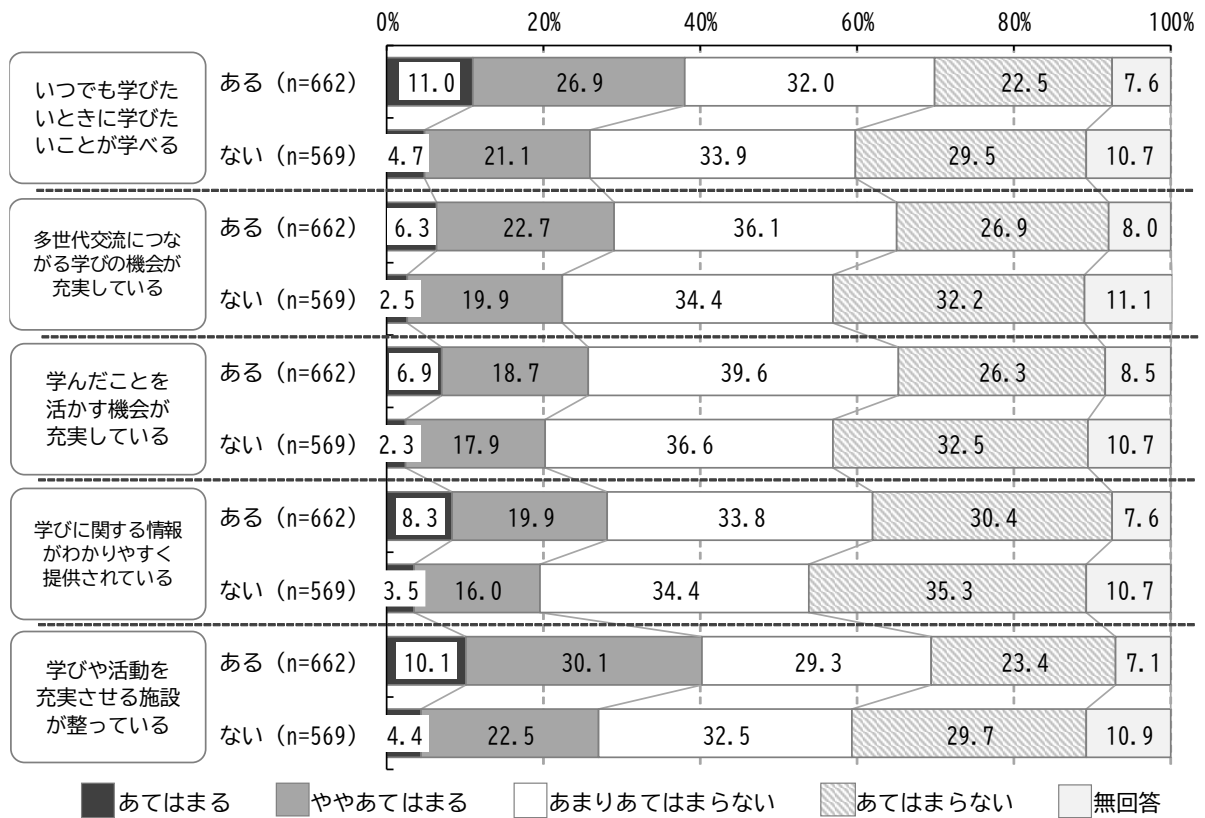
※大田区の生涯学習に関するいずれかの事業について「知っているが、参加したことはない」と回答した人（n=222）が対象。

問 18 現在の大田区の生涯学習について、あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つしてください。(○は各1つ)

○現在の大田区の生涯学習について、「学びや活動を充実させる施設が整っている」では「肯定的評価」（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）が33.9%で最も高く、次いで「いつでも学びたいときに学びたいことが学べる」（32.3%）となっており、5項目全てについて「否定的評価」（「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」の合計）が5割半ばから6割半ばとなっています。



○最近1年間に生涯学習の実施状況別では、5項目全てにおいて「ある」の方が「ない」よりも「肯定的評価」が高くなっています。



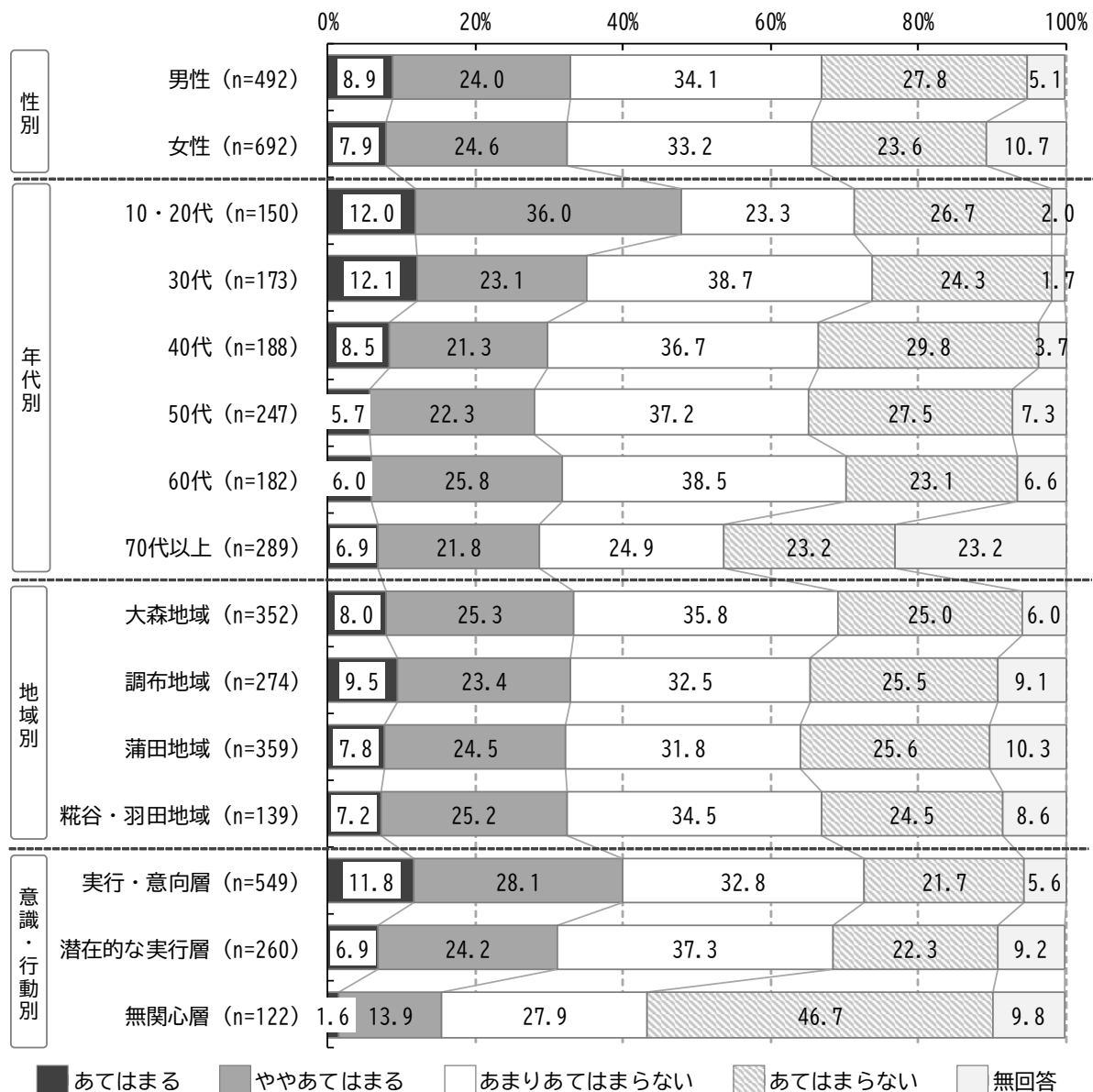
## いつでも学びたいときに学びたいことが学べる

○「肯定的評価」をみると、性別では、「男性」「女性」ともにほぼ同等となっています。

○年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。

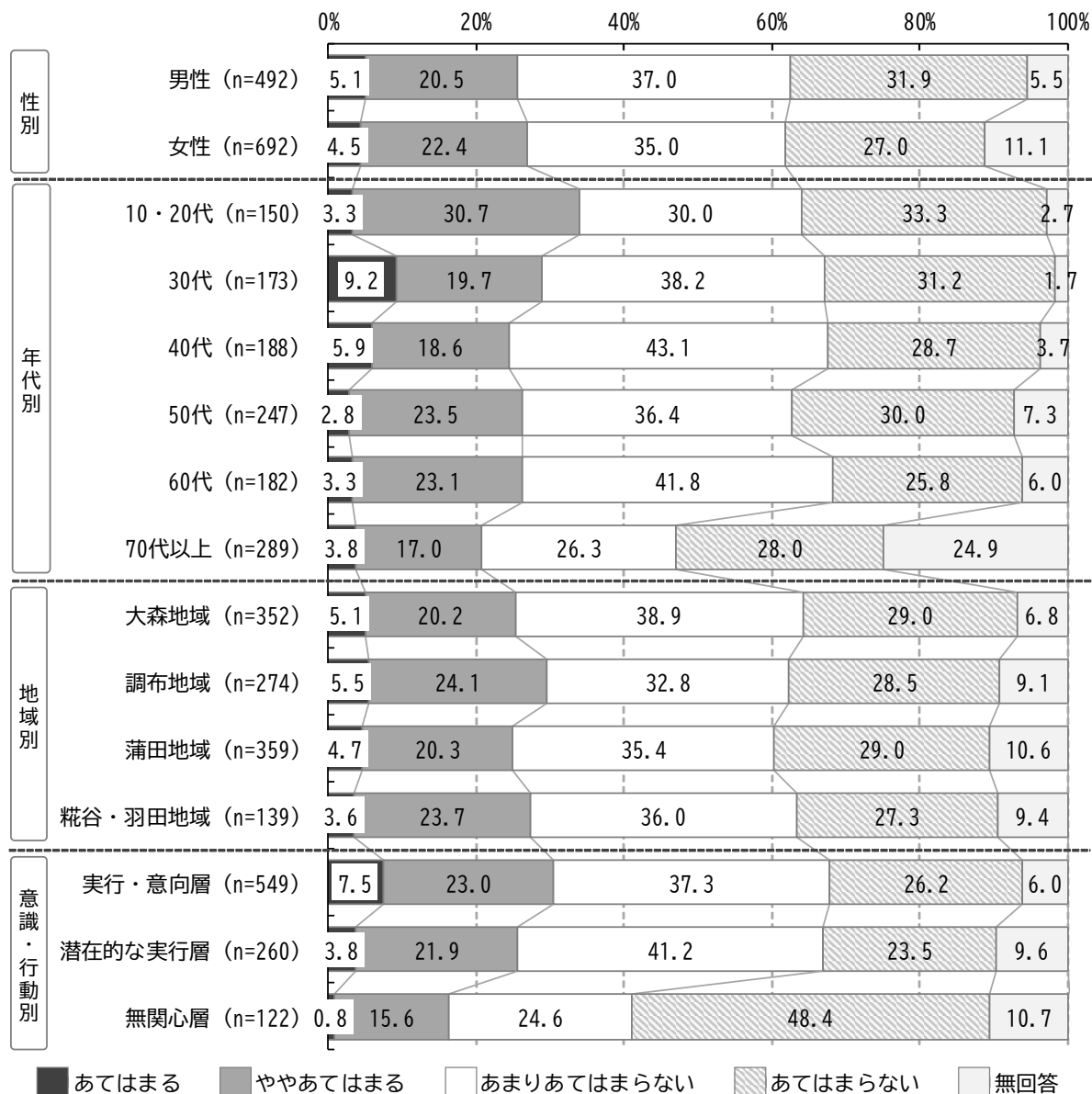
○地域別では、どの地域もほぼ同等となっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では39.9%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では31.1%、「無関心層」では15.5%にとどまっています。



### 多世代交流につながる学びの機会が充実している

- 「肯定的評価」をみると、性別では、「男性」「女性」ともにほぼ同等となっています。
- 年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。
- 地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。
- 生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では30.5%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では25.7%、「無関心層」では16.4%にとどまっています。



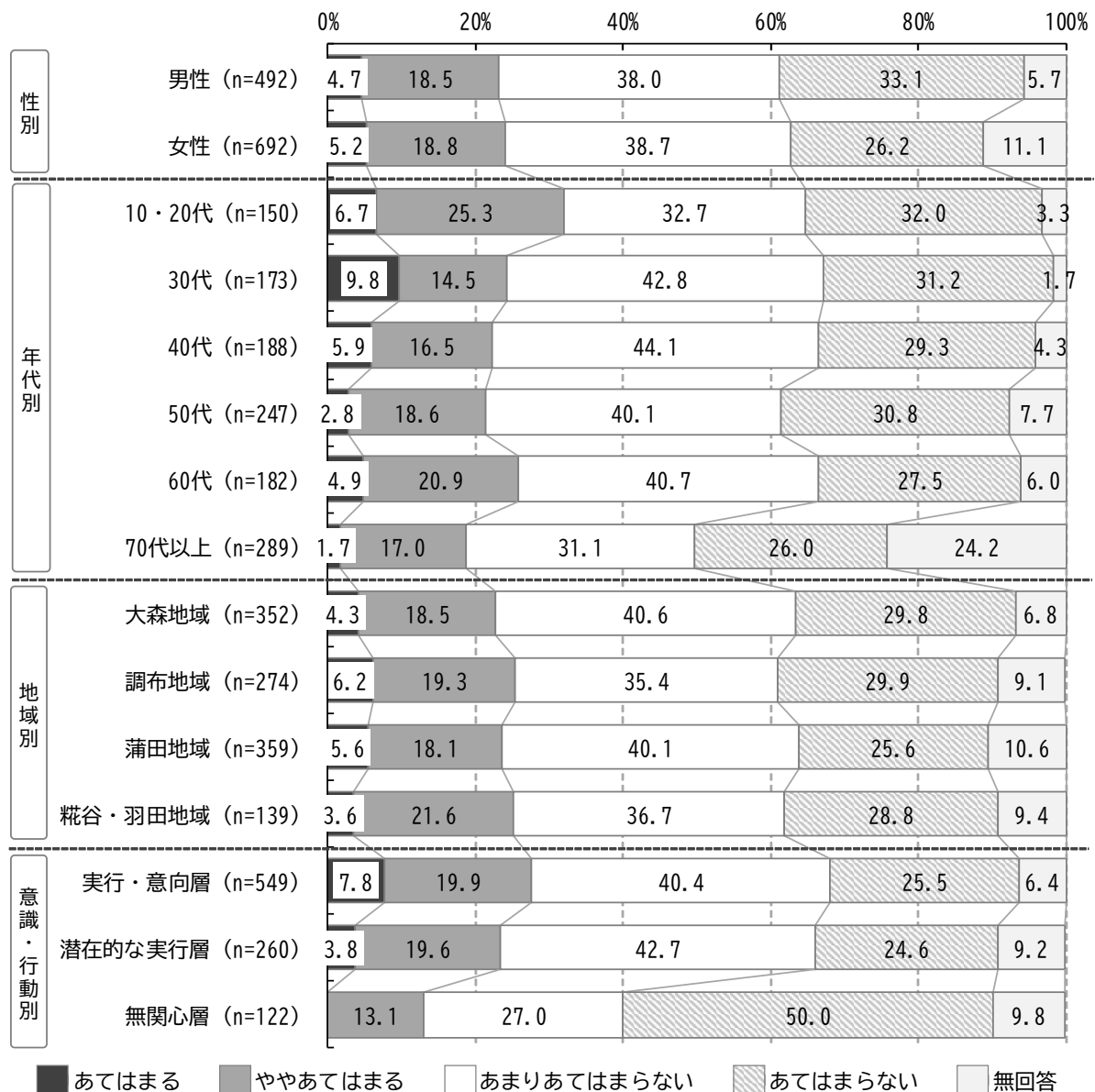
## 学んだことを活かす機会が充実している

○「肯定的評価」をみると、性別では、「男性」「女性」ともにほぼ同等となっています。

○年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。

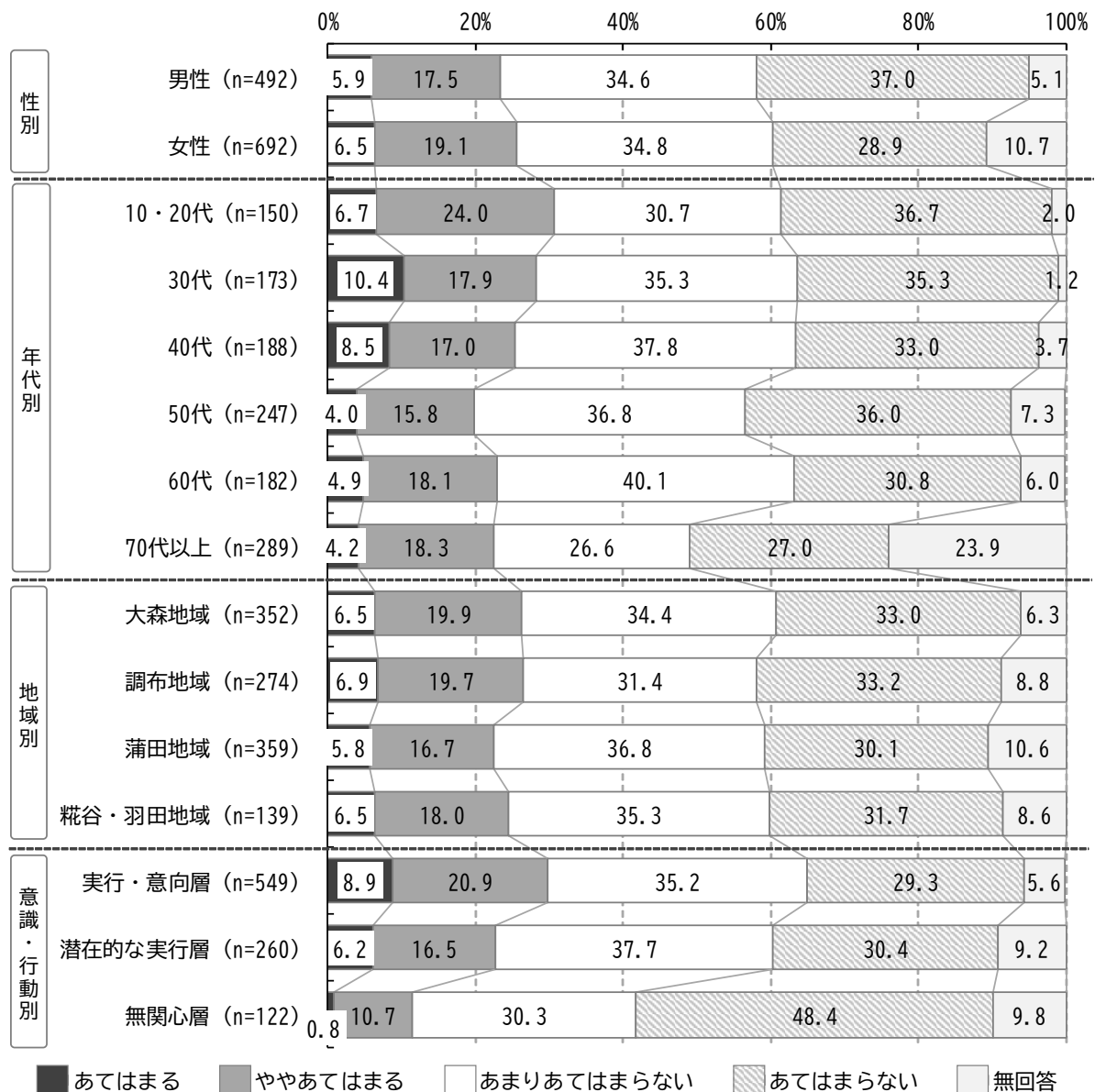
○地域別では、どの地域もほぼ同等となっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では27.7%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では23.4%、「無関心層」では13.1%にとどまっています。



### 学びに関する情報がわかりやすく提供されている

- 「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が高くなっています。
- 年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。
- 地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。
- 生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では29.8%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では22.7%、「無関心層」では11.5%にとどまっています。



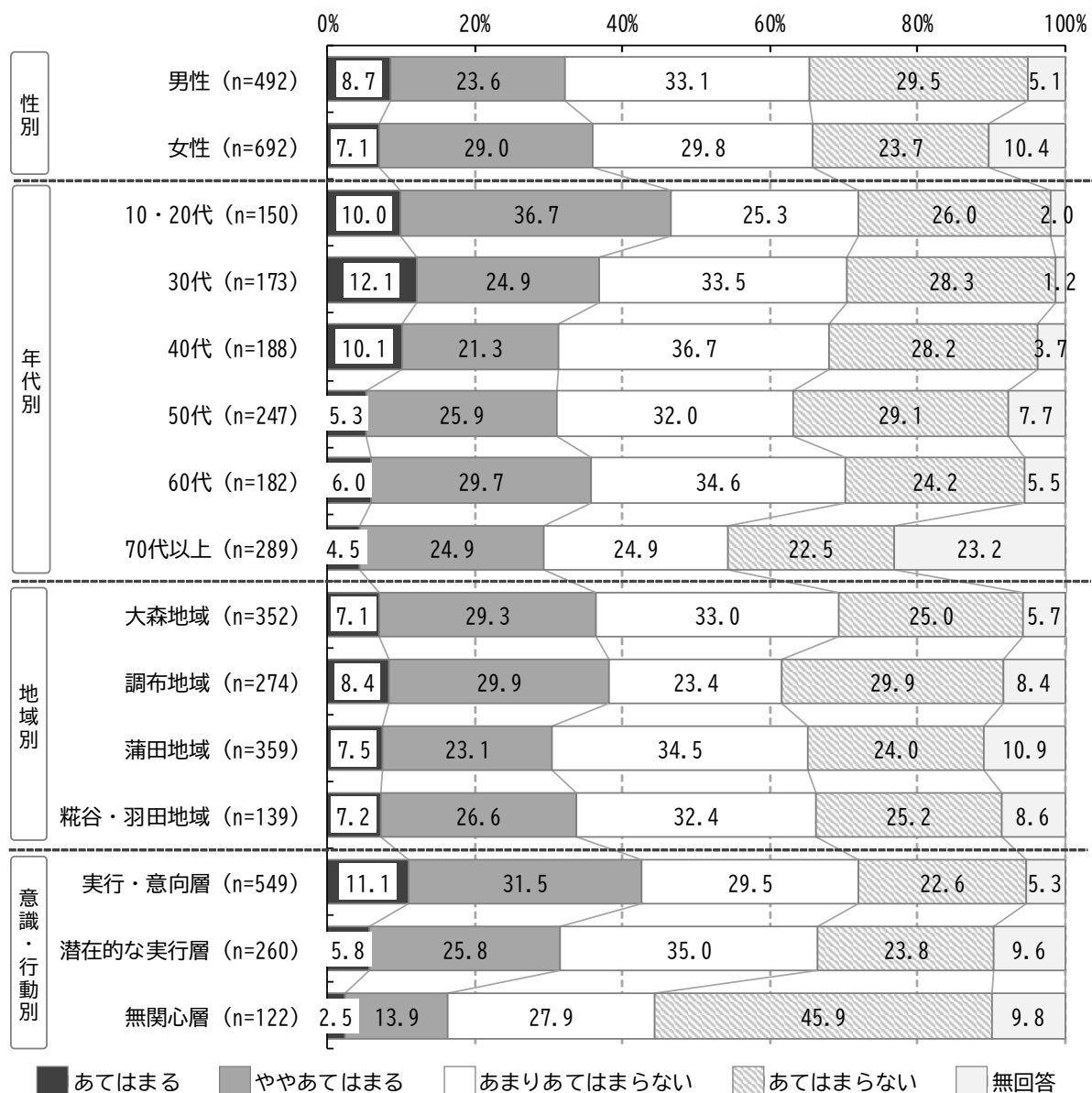
## 学びや活動を充実させる施設が整っている

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が高くなっています。

○年齢別では、「10・20代」が4割半ばで最も高くなっています。

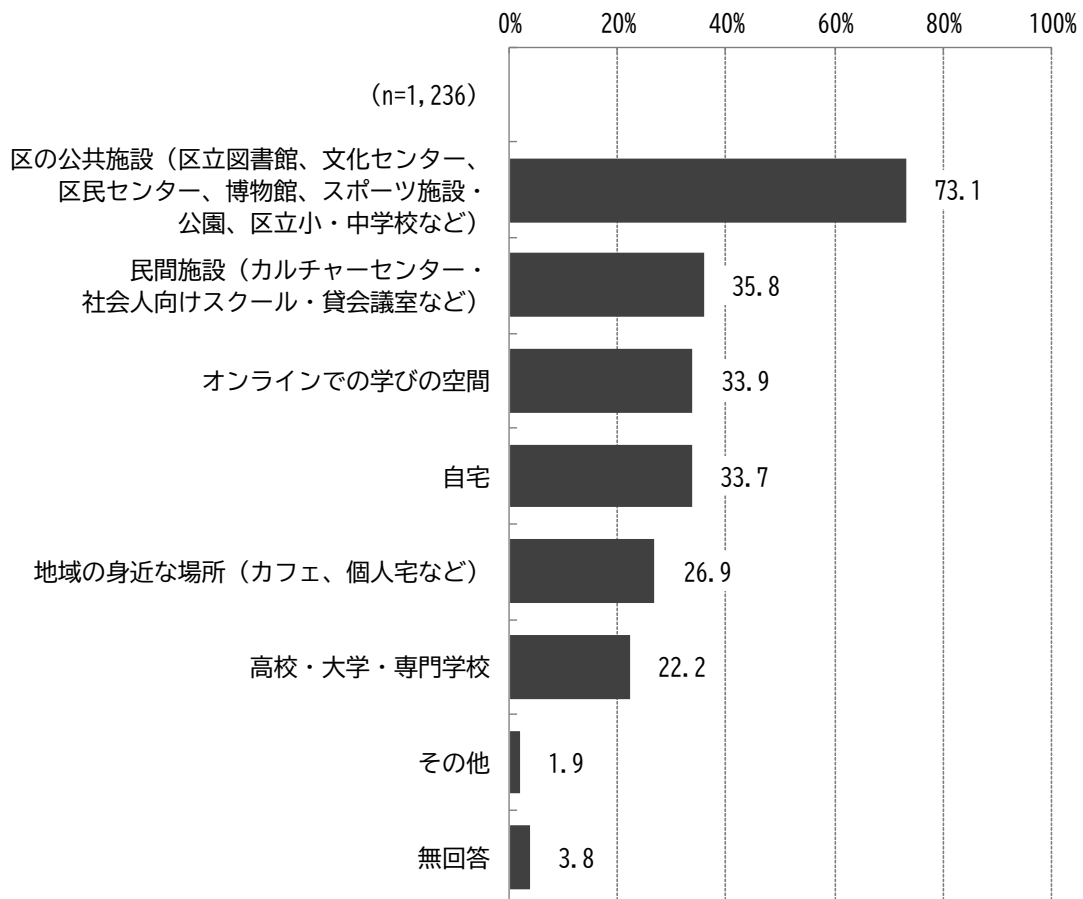
○地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では42.6%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では31.6%、「無関心層」では16.4%にとどまっています。



問 19 あなたが生涯学習をするうえで、重要だと思う場所はどこですか。(〇はいくつでも)

○生涯学習をするうえで重要だと思う場所について、「区の公共施設（区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など）」(73.1%) が最も高く、次いで「民間施設（カルチャーセンター・社会人向けスクール・貸会議室など）」(35.8%)、「オンラインでの学びの空間」(33.9%)、「自宅」(33.7%) となっています。



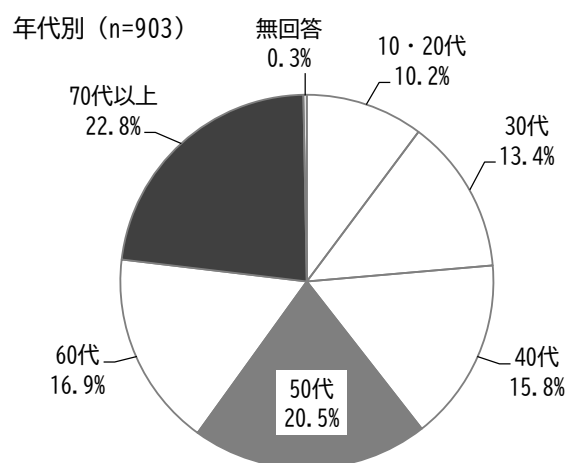
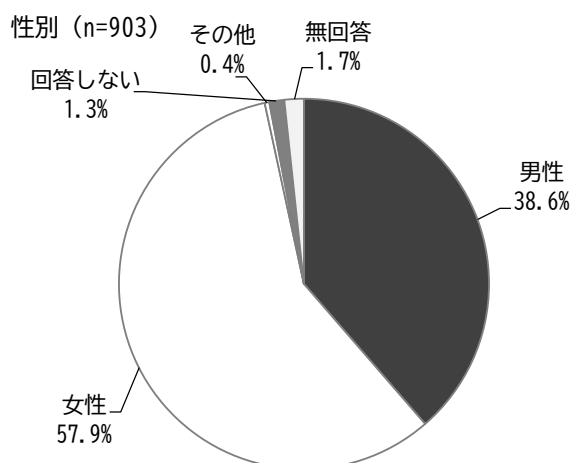
○性別、年代別ともに、全ての層で「区の公共施設（区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など）」最も高くなっています。

○「区の公共施設」に○をしたか・していないか別では、性別では「女性」（57.9%）の方が「男性」（38.6%）よりも「○をした」が高く、年代別では「70代以上」（22.8%）が最も高くなっています。

		n	区の公共施設 (区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など)	民間施設 (カルチャーセンター・社会人向けスクール・貸会議室など)	オンラインでの学びの空間	自宅	地域の身近な場所 (カフェ、個人宅など)
性別	男性	492	70.9	32.5	36.8	39.4	23.4
	女性	692	75.6	39.2	32.2	29.8	29.9
年代別	10・20代	150	61.3	30.7	44.0	58.7	40.7
	30代	173	69.9	39.9	45.7	49.7	44.5
	40代	188	76.1	37.8	49.5	41.5	32.4
	50代	247	74.9	42.5	41.3	31.2	21.9
	60代	182	84.1	44.0	26.9	21.4	18.1
	70代以上	289	71.3	24.2	10.0	16.3	15.9

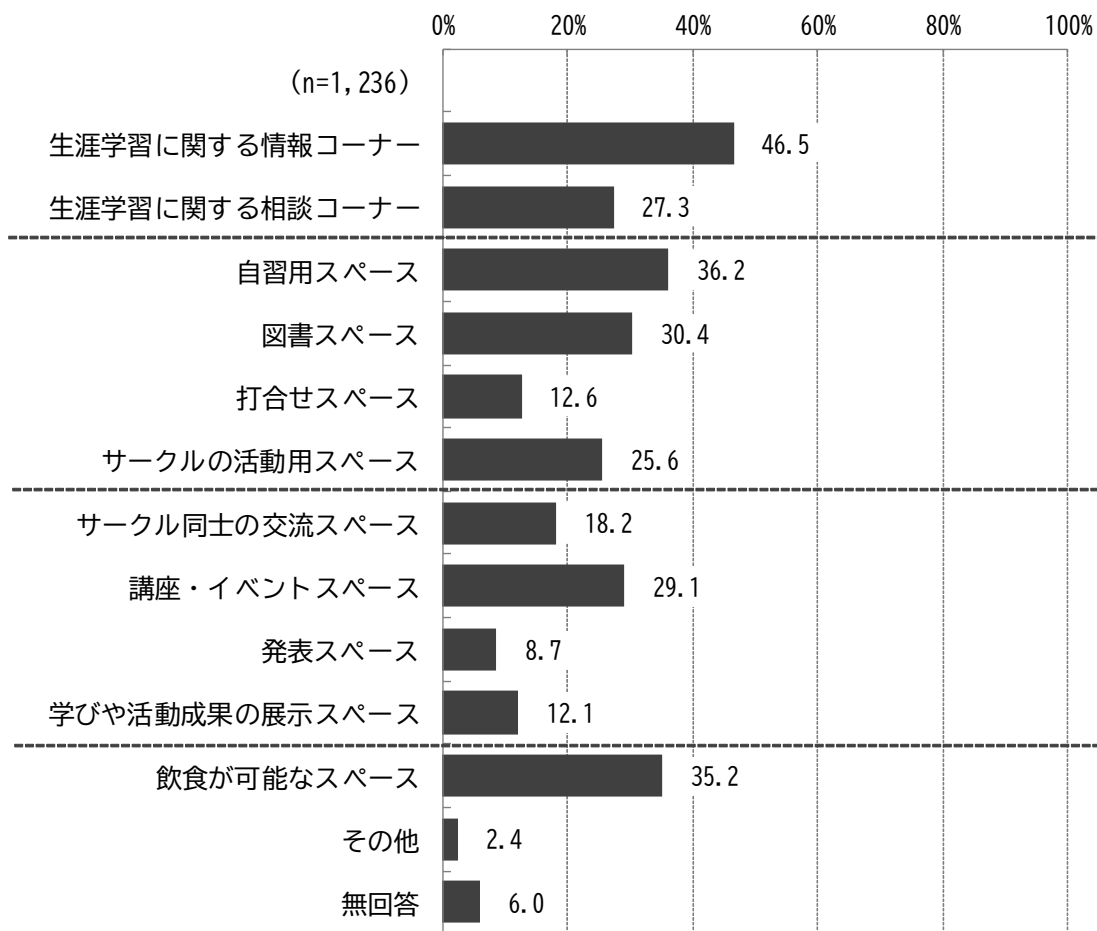
		n	高校・大学・専門学校	その他	無回答
性別	男性	492	26.2	2.6	2.6
	女性	692	19.7	1.3	3.8
年代別	10・20代	150	28.0	1.3	0.7
	30代	173	32.4	1.2	0.0
	40代	188	27.7	2.7	0.5
	50代	247	22.7	0.8	2.0
	60代	182	21.4	0.5	2.7
	70代以上	289	10.4	3.5	11.4

「区の公共施設」に○をしたか・していないか別

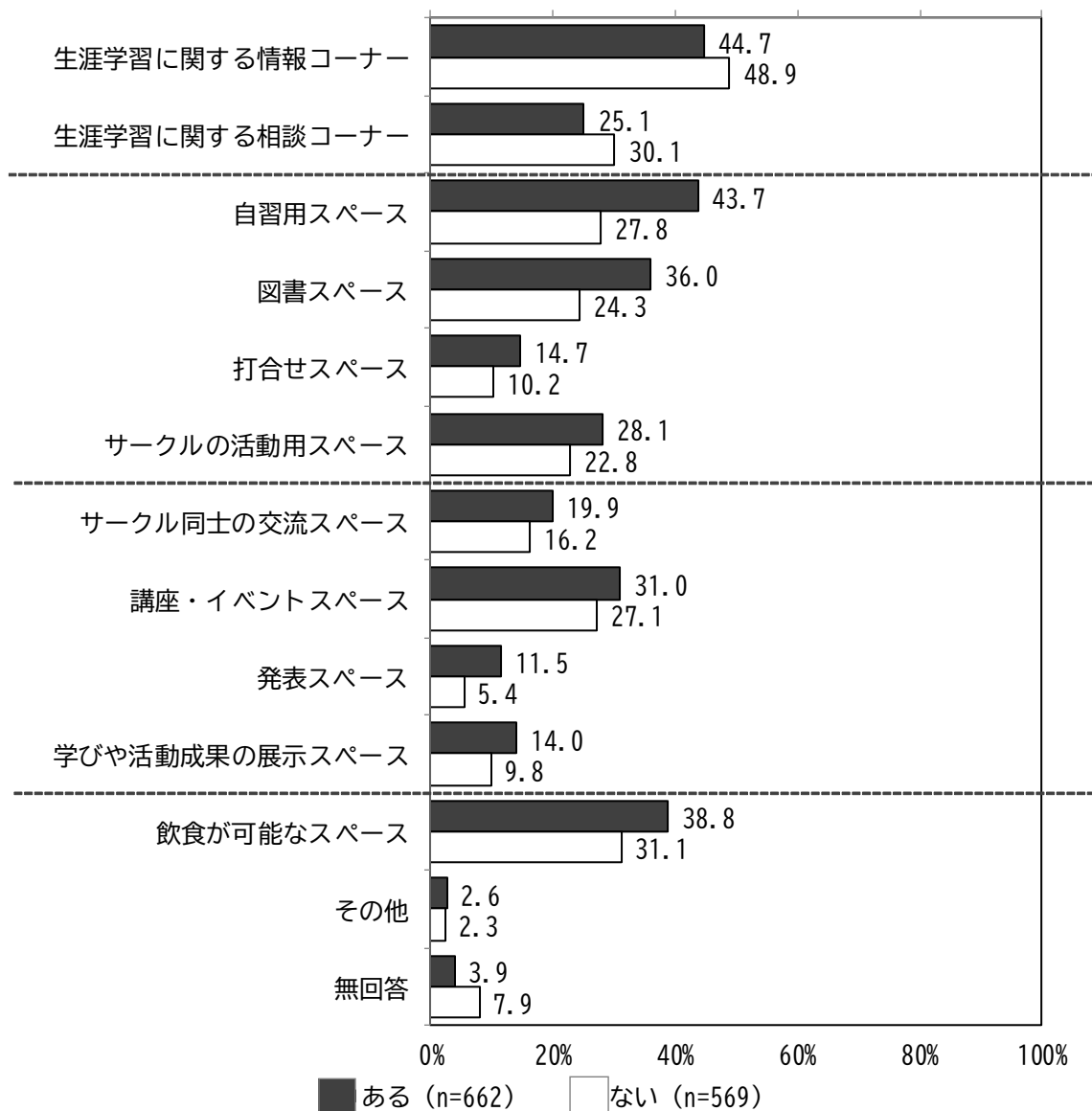


問 20 あなたが生涯学習を行う施設には、どのような機能・スペースがあるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

○生涯学習を行う施設には、どのような機能・スペースがあるとよいかについては、「生涯学習に関する情報コーナー」(46.5%)が最も高く、次いで「自習用スペース」(36.2%)、「飲食が可能なスペース」(35.2%)、「図書スペース」(30.4%)、「講座・イベントスペース」(29.1%)となっています。

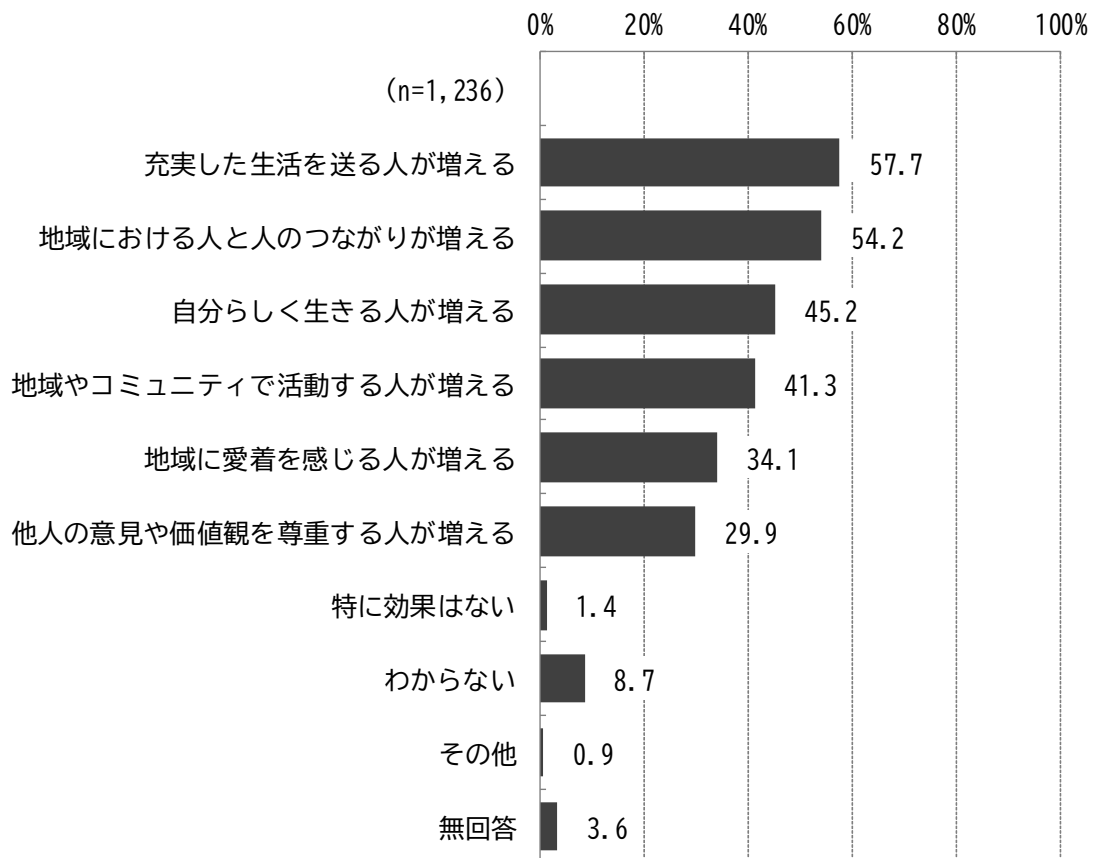


○最近1年間に生涯学習の実施状況別でみると、「ある」では「生涯学習に関する情報コーナー」(44.7%)が最も高く、次いで「自習用スペース」(43.7%)、「飲食が可能なスペース」(38.8%)、「図書スペース」(36.0%)、「講座・イベントスペース」(31.0%)となっています。



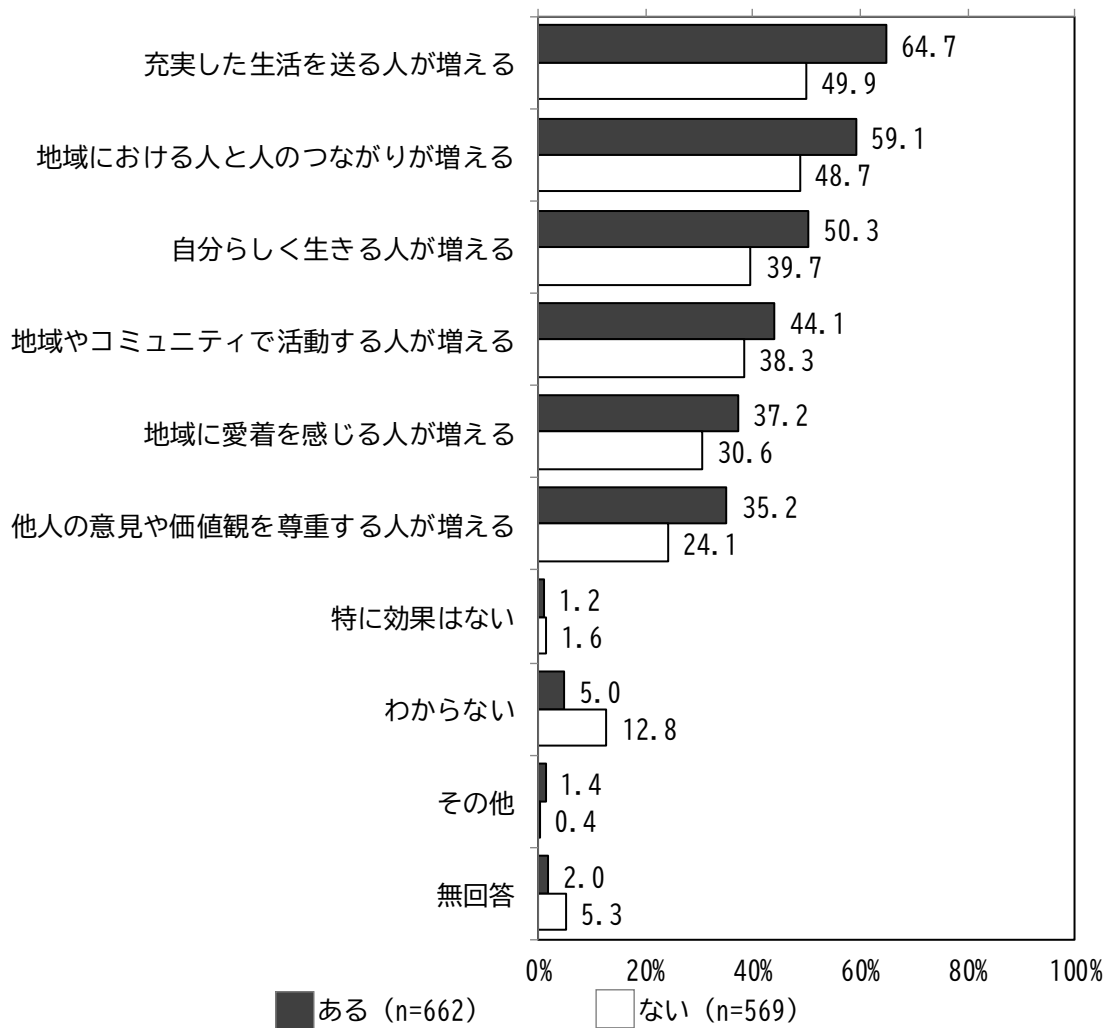
問 21 区が生涯学習を推進することで、まちにどのような効果があると思いますか。  
(〇はいくつでも)

○大田区が生涯学習を推進することで、まちにどのような効果があるかについて、「充実した生活を送る人が増える」(57.7%)が最も高く、次いで「地域における人と人のつながりが増える」(54.2%)となっています。



○最近1年間に生涯学習の実施状況別では、「ある」「ない」とともに、全体と同様、「充実した生活を送る人が増える」が最も高く、次いで「地域における人と人のつながりが増える」となっています。

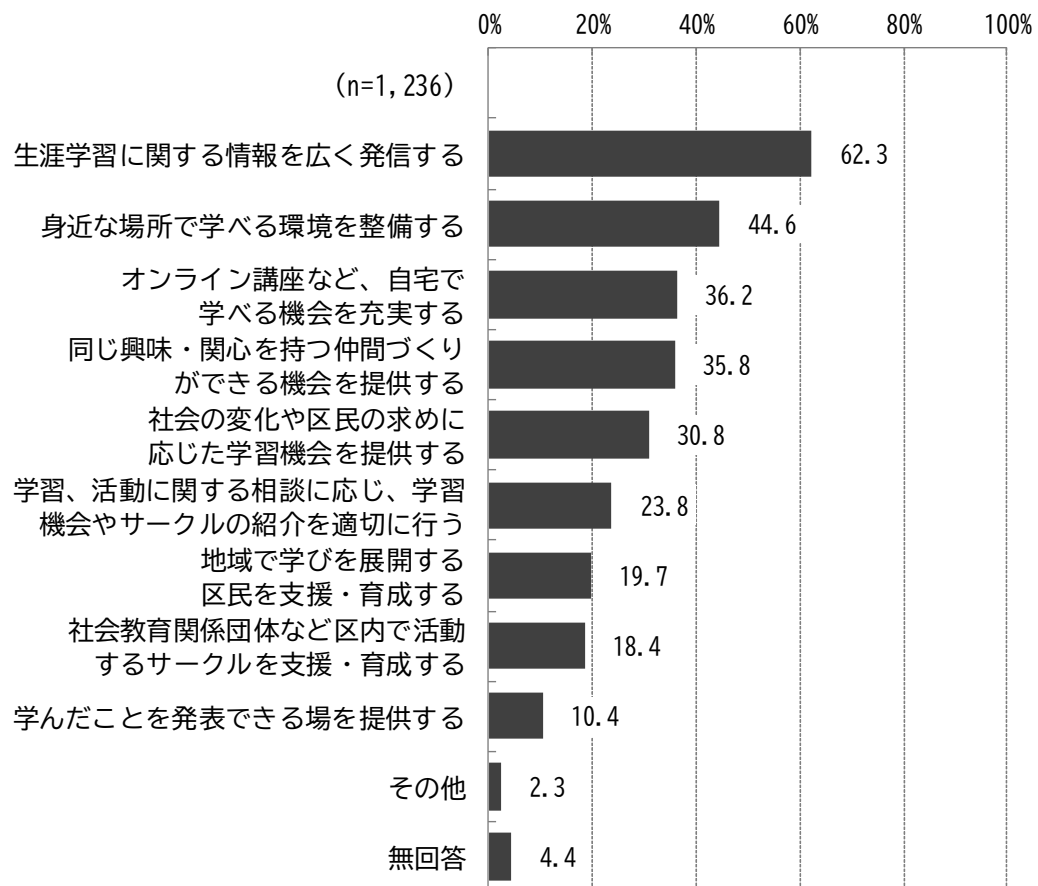
○また、「特に効果はない」「わからない」以外の項目では、「ある」の方が「ない」よりも高くなっています。



※全体の降順で並び替え。

問 22 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取組みを重視した方が良いと思いますか。(〇はいくつでも)

○大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために重視した方が良い取組みについて、「生涯学習に関する情報を広く発信する」(62.3%)が最も高く、次いで「身近な場所で学べる環境を整備する」(44.6%)、「オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する」(36.2%)、「同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する」(35.8%)、「社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する」(30.8%)となっています。



○性別では、「男性」「女性」とともに「生涯学習に関する情報を広く発信する」が高くなっています。

○年代別、地域別では、全ての層で「生涯学習に関する情報を広く発信する」が高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、サンプルサイズが小さい層を除き、全ての層で「生涯学習に関する情報を広く発信する」が高くなっています。

		n	生涯学習に関する情報を広く発信する	身近な場所で学べる環境を整備する	オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する	同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する	社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する
性別	男性	492	63.6	39.2	39.8	35.8	32.5
	女性	692	63.2	48.8	34.4	36.4	30.5
年代別	10・20代	150	62.7	45.3	44.7	28.7	22.7
	30代	173	59.5	45.7	43.4	39.3	33.5
	40代	188	64.4	45.2	50.5	40.4	38.3
	50代	247	66.8	47.4	45.3	30.4	35.6
	60代	182	70.9	46.2	29.1	36.3	36.8
	70代以上	289	54.0	40.1	14.5	39.1	21.5
地域別	大森地域	352	59.9	46.3	36.6	36.6	34.4
	調布地域	274	64.6	46.4	37.6	32.5	31.0
	蒲田地域	359	62.4	42.3	38.4	35.9	29.0
	糀谷・羽田地域	139	61.2	47.5	30.2	33.8	22.3
意識・行動別	生涯学習実行・意向層	549	65.9	47.9	41.5	39.2	38.3
	潜在的な生涯学習実行層	260	71.2	48.8	35.8	39.2	34.6
	無関心層	122	39.3	37.7	20.5	24.6	10.7

		n	学習、活動に関する相談に応じ、学習機会やサークルの紹介を適切に行う	地域で学びを展開する区民を支援・育成する	社会教育関係団体など区内で活動するサークルを支援・育成する	学んだことを発表できる場を提供する	その他
性別	男性	492	26.8	20.3	19.5	10.4	2.0
	女性	692	22.1	19.9	18.2	10.3	2.5
年代別	10・20代	150	22.7	16.0	14.7	10.0	0.7
	30代	173	24.3	27.7	22.0	14.5	2.9
	40代	188	28.2	22.9	21.3	9.6	3.7
	50代	247	21.1	21.1	17.0	11.3	1.6
	60代	182	30.8	20.3	19.8	8.8	2.2
	70代以上	289	19.7	13.5	17.3	9.0	2.8
地域別	大森地域	352	22.2	21.0	20.7	11.4	3.7
	調布地域	274	23.7	21.5	17.5	9.9	1.8
	蒲田地域	359	22.3	17.0	17.8	9.5	1.1
	糀谷・羽田地域	139	25.9	16.5	13.7	8.6	2.9
意識・行動別	生涯学習実行・意向層	549	27.0	25.5	23.3	13.7	2.6
	潜在的な生涯学習実行層	260	30.0	21.2	20.0	10.4	1.5
	無関心層	122	15.6	9.8	8.2	5.7	3.3

問 23 あなたが大田区で自主的に学ぶことや学んだことを活かす場・機会などについて、御意見があれば御記入ください。(抜粋)

## ■内容

※ご意見は原則として原文のまま掲載していますが、読みやすさを考慮し、一部補正している場合があります。

### (1) 学習機会の充実

- オンライン講座などでも、顔出しなしで耳だけの参加でもよいなど、移動時間や隙間時間などで気軽に参加できるもの、試しに参加してみようと思えるもの、はじめの一步を踏み出しやすいものがあれば良いと思う。(女性、30 歳代)
- 平日の夜や土日など、働く若い世代が横のつながりを得ることができるような仕組みがあると、いい気がします。(女性、30 歳代)
- 子育て中は中々参加出来ない為、子連れOK なサークル等があると参加してみたい。その情報を自分からつかみに行かないと得られないので、興味がわからない限りある事すら知らない。(女性、30 歳代)
- 小学校の中で放課後子どもたちが習い事などできたらいいと思う。(女性、40 歳代)
- シニアにとって、場所が遠く通えない等がある。働く人は時間が合わない。指導者が完全に資格等がなくても、少しやってみたい、人が集まれる場所、機会があればと思う。一步何かに参加出来るような、きっかけがあれば広がるのでは。その中に入る一步、ドアを開ける行動が重い。大きなスペースで見学会、紹介イベント等どうでしょうか。(女性、50 歳代)
- 一人でも参加できる場の提供や、お試して体験できる機会があれば、やってみたいけど躊躇している人が参加しやすくなると思います。(女性、50 歳代)
- もっと身近な事が色々あれば気楽に参加したいです。(女性、70 歳代)
- オンライン講座の充実と発信がもっと必要だと思います。(男性、50 歳代)
- 1 回からでも気軽に参加できる場。(男性、60 歳代)

### (2) 施設・環境整備

- みんなが気軽に使えるスポーツ施設が増えたらいいですね！バスケットボールのコートなど。(女性、20 歳代)
- 図書館や集会所に、開放された広いエントランスホールがあったり、管理された施設の一部に、多様な世代が集えるような、いこいの場所があると良いと思う。(女性、40 歳代)
- 良い場所は競争が激しくなかなか利用できる機会が無い。(女性、50 歳代)
- 自宅近くに学べる場所があれば参加したい。公共の電車・バスに乗ってまで行く気になれない。(女性、60 歳代)
- 図書館ではなく、自習のみできる飲食可能なスペースがあれば良いと思います。24 時間 365 日で。学校・自宅以外のサードスペースが欲しいです。(男性、10 歳代)
- 音楽を練習できる環境が少ないです。騒音問題も以前より深刻化してますし、環境整備がなければ音楽活動ができません。(男性、30 歳代)

- 気軽にランニングができる場、距離表示や信号がないところ、トラックなど活動しやすい場所がもっとあれば良いと思う。(男性、40歳代)
- 図書館のように充実した施設や、気軽に利用できる自習スペースをさらに発展させていく事で利用者が増え自主的な学びをする人が増える。(男性、40歳代)
- ボランティア活動の部屋や打合せルームの使用施設を充実して欲しい。(男性、70歳代)

### (3) 情報発信・周知徹底

- サークルやボランティアに関する情報をもっと目に入る所で見える化してほしい。どこで何が行われているかがわからないので学ぶ機会や学ぼうと思う人が増えていかないんだと思います。(女性、20歳代)
- 学ぶ、学んだことを活かせる場の情報を SNS などでも積極的に発信して目にする機会を増やすとよいのではと思う。(女性、40歳代)
- 大田区の生涯学習の事業がたくさんあるのに、全く知らなかったのこれから活用したいと思いました。気軽に挑戦できる講座などがあれば参加し、より自分や家族、友達の人生が豊かに出来ると思います。(女性、50歳代)
- 大田区で生涯学習を行っている情報をもっと知りたい。(女性、70歳代)
- 活かす場を演出する機会があることを、もっと広報すべきだと思う。(男性、30歳代)
- おおたまなびの森、1日おおた区民大学等の存在を知らなかったの、活用していきたい。図書館や公園は充実していると思う。(男性、40歳代)
- デジタルサイネージや Web 広告を使って情報にふれる機会を増やして欲しい。利用する毎にポイントがつき、税の優遇が受けられるようにすれば、利用者が増え、地域貢献につながる。(男性、40歳代)

### (4) 交流・コミュニティ形成

- 言語交流会(ランゲージエクステンション)があると、地域に住む外国人と交流もできるしお互いの言語を勉強できていいかもしれないと思います(大田区がどんな生涯学習を展開しているのかそもそも知らないのでもうあったらすみません)。(女性、40歳代)
- 同じ趣味や興味がある分野を持つもの同士が交流できる機会。(女性、50歳代)
- 私自身は長年外国語をカルチャーセンターや語学学校で学んでいますが、それが他の方の役に立つようなものかわかりません。例えば、「～が学びたい」「～が知りたい」といったリクエストと、提供できる人を結べるシステムがあれば良いかと思います。(女性、60歳代)
- 健康な高齢者は、自分ももっと他人のために役に立ちたいと思っている。ただ、どこで人を求めているかわからない。(女性、70歳代)
- 自分がしたい/学びたい/できることを事前に登録しておき、地域の講座やボランティア、サークルとマッチングする仕組みを作って欲しいです。(男性、40歳代)
- 仲間を集めたいが、誰が来るかわからないのが、少々怖い。大田区で身元を確認した方に声をかける仕組みがあれば良いと思います。(男性、60歳代)

○NPO・地域活動フォーラムのようなもので、出展発表する側のハードルがもう少し下がってよりたくさんのサークルや人が参加できるもの、そこで時間をかけて交流したい。(男性、70歳代)

#### (5) 活動・成果の活用支援

- 作った作品の展示会、同じ年代の人と楽しめる展示会があると良いと思う。(女性、30歳代)
- 年配の方が生きがいを持てるボランティアが充実すると良いですね。自治会館には年配の方の無料スマホ講座に人がたくさん集まっています。フリーランスの人が活躍できるような場もあると良いと思います。物づくりを発表、販売する場やマルシェのような感じで色々な講座が気軽に体験できる場。生涯学習で学んだことを発表する→インストラクターも完全ボランティアというよりは報酬も得られる場の方が、お互いにとって質の高いものが生まれると思う。活発な場になると思いました。(女性、40歳代)
- 活かすという点では地域のボランティアや学びの場でのマンパワーの輪を広げていくための学び自体の機会を有償で設定する・地域内の施設（保育園含む学校、公共団体）などで働く方へ学びの機会を積極的に案内することでその後の活かすまで繋がる。(女性、50歳代)
- 2年、3年とより専門的に学んだ場合、大田区でボランティア指導者として登録し、活躍出来る場や機会があれば良いのにと願う。(女性、70歳代)
- 区民による発表の場を提供。場所がない場合はオンラインを活用して発表をするのもいいかもしれない。区のSNSを有効活用し、区民に対して情報発信を継続する必要があると思う。(男性、20歳代)
- 会社員や自営業者が副業（またはスポットでの有償講師）として自身のスキルを教えられる仕組みがあると良いと思う。(男性、40歳代)
- 学んだ事を活かす場として、発表の他に人に伝える練習ができる場などがあると嬉しい。例えば講師の卵として教えられる教室など。試しに体験することができると嬉しい。(男性、50歳代)
- 学んだことが活かされる仕事やボランティアの斡旋、紹介。(男性、60歳代)
- 区民による研究発表の場を、規模に関わらず継続的に提供していくことが大切だと思う。(男性、70歳代)

#### (6) 費用負担・優遇

- 自分でやっているので助成金等が出れば積極的に参加するかもしれません。(男性、30歳代)
- 教室を使用する時の費用を安く使用したい。(男性、60歳代)

#### (7) その他

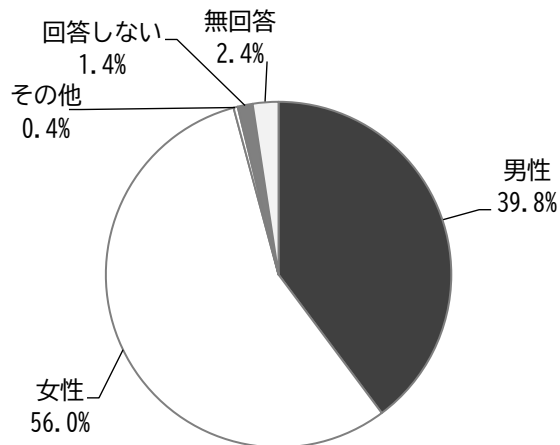
- 文化センターで着付けを習い、近所の方にお着せ出来るまでになり、感謝しています。(女性、70歳代)

## 5 基本属性

### 性別 (○は1つ)

○性別は、「女性」が56.0%、「男性」が39.8%、「回答しない」が1.4%となっています。

(n=1,236)

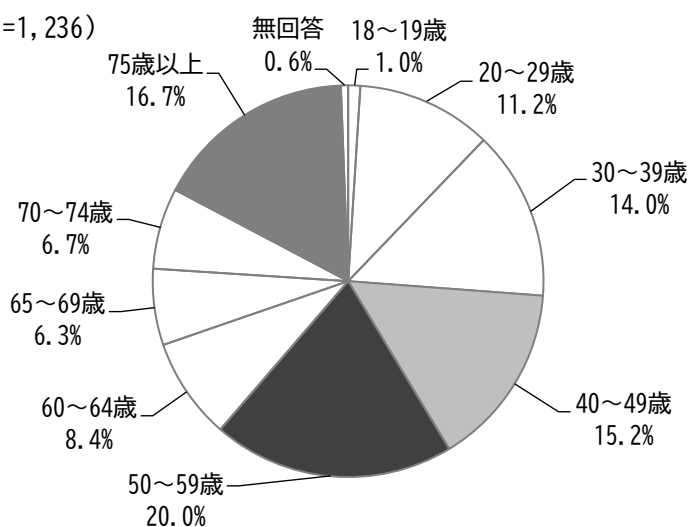


### 年齢 (○は1つ)

○年齢は、「50～59歳」(20.0%)が最も高く、次いで「75歳以上」(16.7%)、「40～49歳」(15.2%)となっています。

○母集団の18歳以上人口での年齢別割合と比較すると、「20～29歳」「30～39歳」で低い一方、「40～49歳」でほぼ同等、「50～59歳」以上では高くなっています。

(n=1,236)



【母集団の年齢別人口割合 (%)】

18歳以上人口全体 (654,297名)	
18～19歳	1.7
20～29歳	17.6
30～39歳	15.7
40～49歳	15.8
50～59歳	17.6
60～69歳	11.8
70～79歳	10.9
80歳以上	8.9

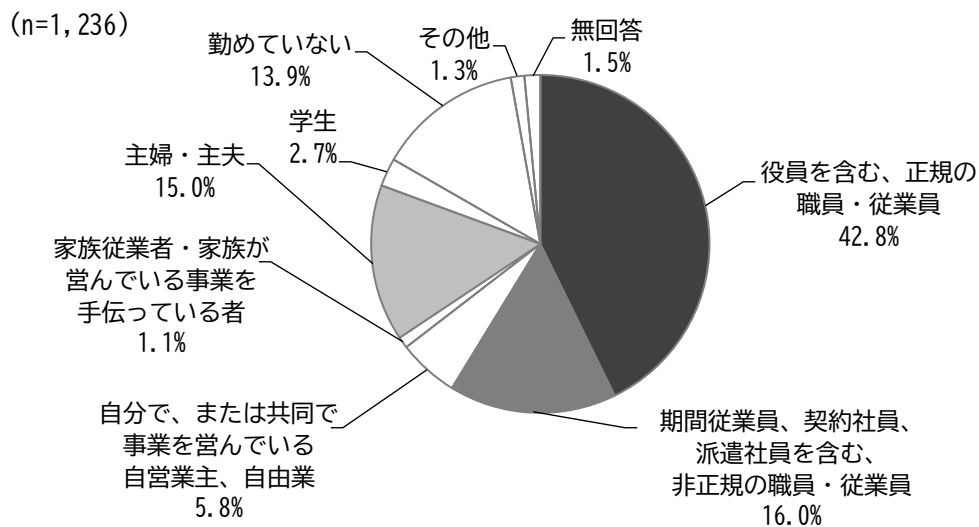
【性別・年齢別】

単位: n

	合計	18～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	無回答
男性	492	11	49	83	77	99	47	33	33	59	1
女性	692	-	86	88	101	145	50	42	46	132	2
その他	5	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-
回答しない	17	-	-	1	7	1	2	1	2	3	-

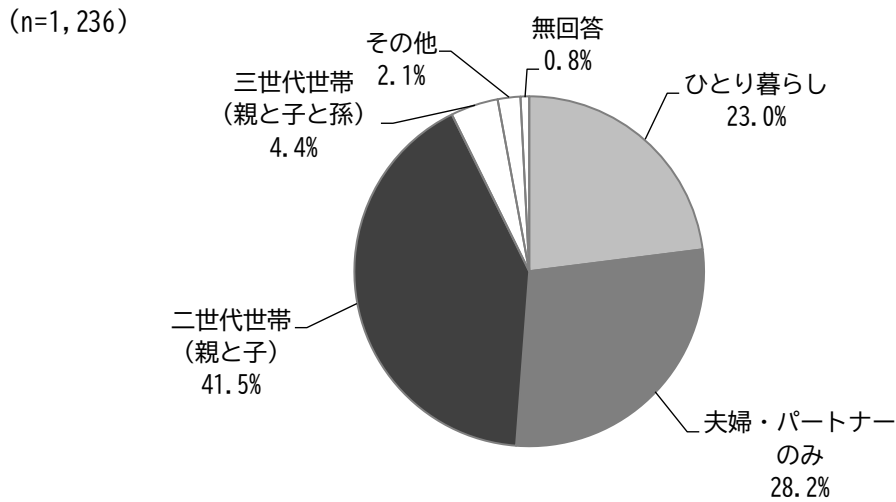
職業 (○は1つ)

○職業は、「役員を含む、正規の職員・従業員」(42.8%) が最も高く、次いで「期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員」(16.0%)、「主婦・主夫」(15.0%) となっています。



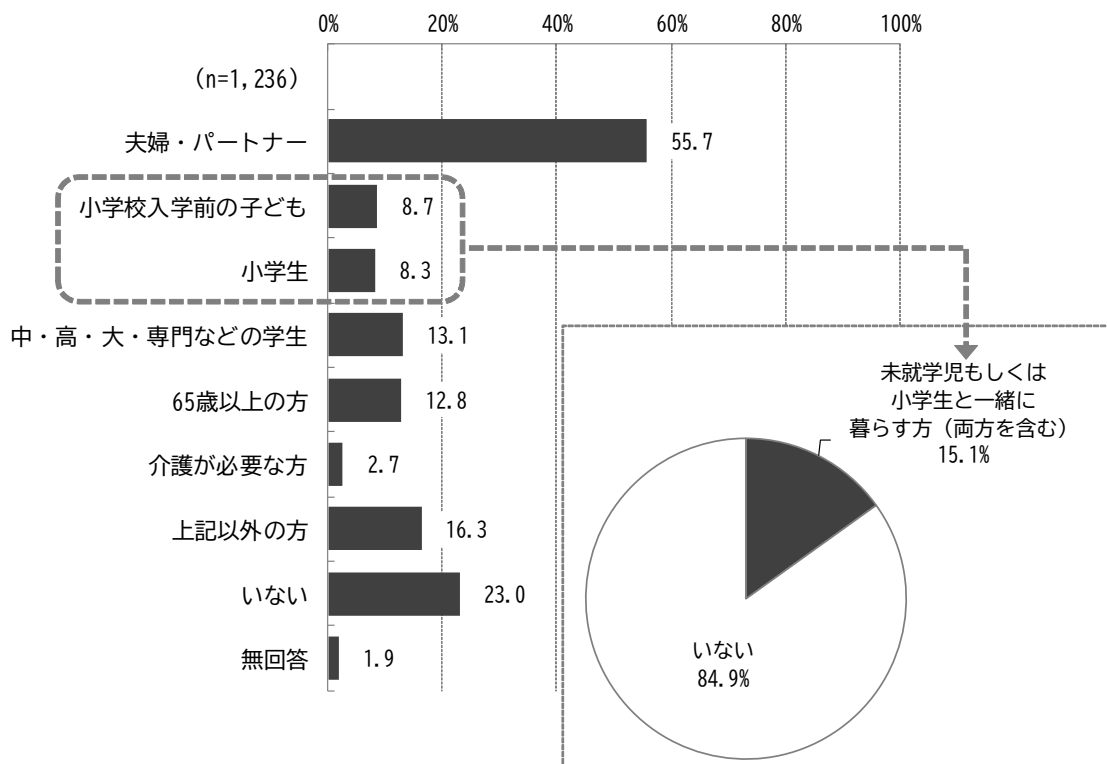
世帯類型 (○は1つ)

○世帯類型は、「二世帯世帯 (親と子)」(41.5%) が最も高く、次いで「夫婦・パートナーのみ」(28.2%)、「ひとり暮らし」(23.0%) となっています。



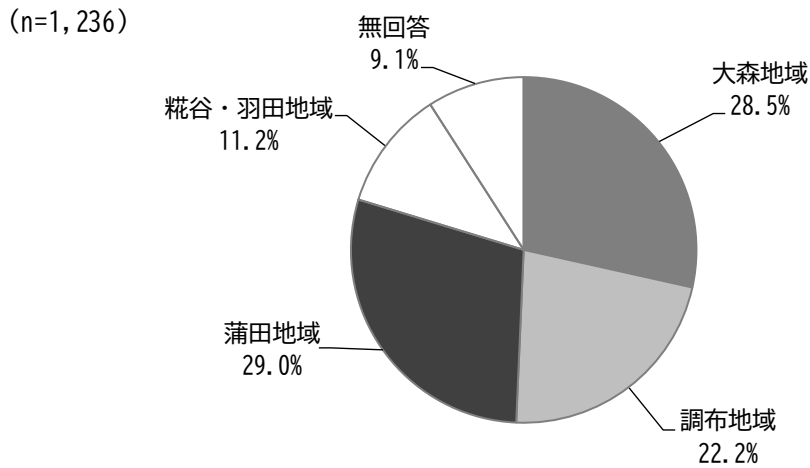
現在一緒に暮らす方 (○はいくつでも)

○現在一緒に暮らす方は、「夫婦・パートナー」(55.7%) が最も高くなっています。  
また、「未就学児もしくは小学生と一緒に暮らす方 (両方を含む)」は 15.1% となっています。



居住地区（〇は1つ）

○居住地は、「蒲田地域」が29.0%、「大森地域」が28.5%、「調布地域」が22.2%、「糀谷・羽田地域」が11.2%となっています。



単位：%

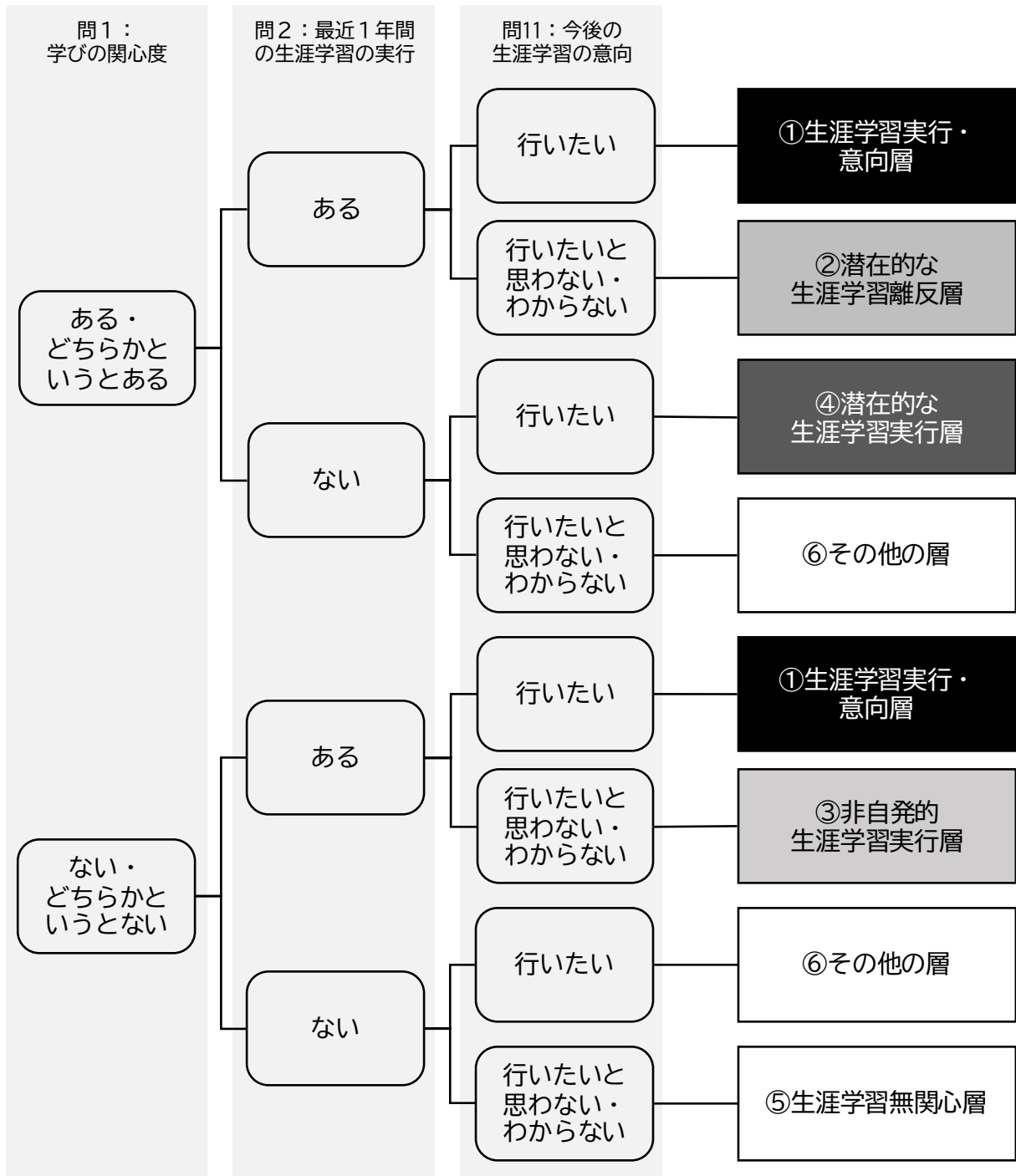
大森地域		調布地域		蒲田地域		糀谷・羽田地域	
大森東	3.7	嶺町	1.9	六郷	10.4	糀谷	7.0
大森西	4.6	田園調布	4.4	矢口	7.5	羽田	4.3
入新井	5.3	鷓の木	2.8	蒲田西	4.9		
馬込	8.6	久が原	5.1	蒲田東	6.2		
池上	4.7	雪谷	5.2				
新井宿	1.6	千束	2.9				

※四捨五入の関係で、円グラフでの各地域の値と、表に示す各地域内の詳細な地区の割合の合計値が合わない場合があります。

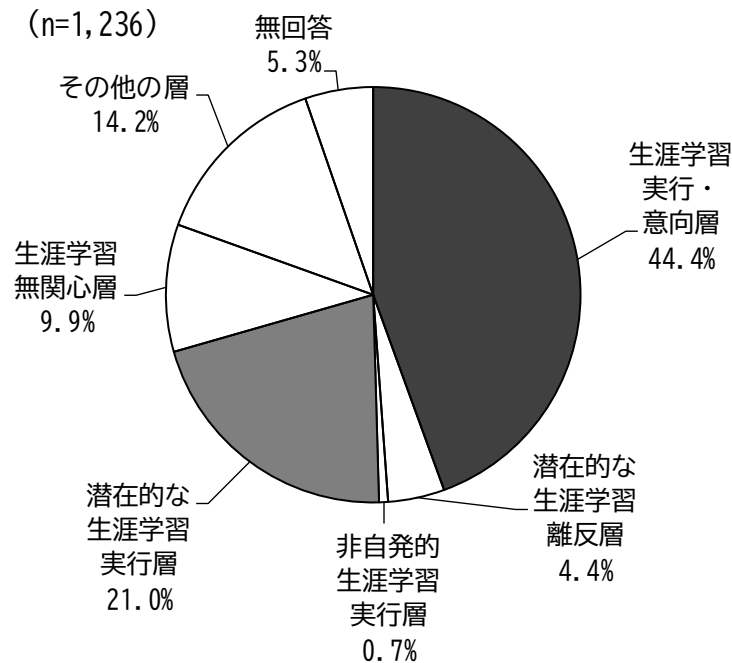
生涯学習に対する意識・行動別の分類

(問1：学びの関心度、問2：最近1年間の生涯学習の実行、問11：今後の生涯学習の意向の回答パターン別での対象者分類)

○問1、問2、問11への回答パターンにより、生涯学習に対する意識・行動別の観点から、対象者を6つの層へ分類することを試みました。



- 生涯学習に対する意識・行動別の観点から分類した対象者について、「生涯学習実行・意向層」(44.4%)が最も高く、次いで「潜在的な生涯学習実行層」(21.0%)となっています。
- 「生涯学習実行・意向層」の属性をみると、「女性」の方が高く、「50～59歳」「30～39歳」「40～49歳」の順で高く、「大森地域」が最も高くなっています。
- 「潜在的な生涯学習実行層」の属性をみると、「女性」の方が高く、「50～59歳」「40～49歳」の順で高く、「蒲田地域」が最も高くなっています。



【性別】 (%)

	n	男性	女性	その他	回答しない	無回答
生涯学習実行・意向層	549	40.8	56.6	0.4	0.7	1.5
潜在的な生涯学習実行層	260	38.8	56.9	0.4	1.5	2.3

【年齢】

	n	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
生涯学習実行・意向層	549	1.5	15.1	16.6	16.4	20.4	8.2	4.9	5.8	10.7	0.4
潜在的な生涯学習実行層	260	0.4	6.5	13.5	15.8	25.8	12.7	6.5	6.5	12.3	0.0

【地域】

	n	大森地域	調布地域	蒲田地域	糀谷・羽田地域	無回答
生涯学習実行・意向層	549	30.4	23.5	25.7	10.2	10.2
潜在的な生涯学習実行層	260	25.0	25.0	26.9	12.3	10.8

※生涯学習実行・意向層とは、最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」、今後生涯学習を「行いたい」と回答した人。

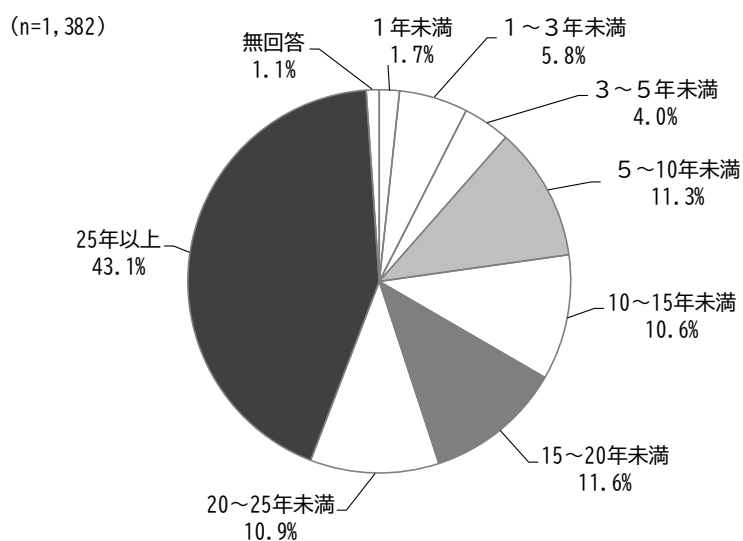
※潜在的な生涯学習実行層とは、学びへの関心が「ある」、最近1年間に生涯学習を行ったことが「ない」、今後の生涯学習について「行いたい」と回答した人。

# 第3章 社会教育関係団体アンケート調査結果

## 1 団体全般について

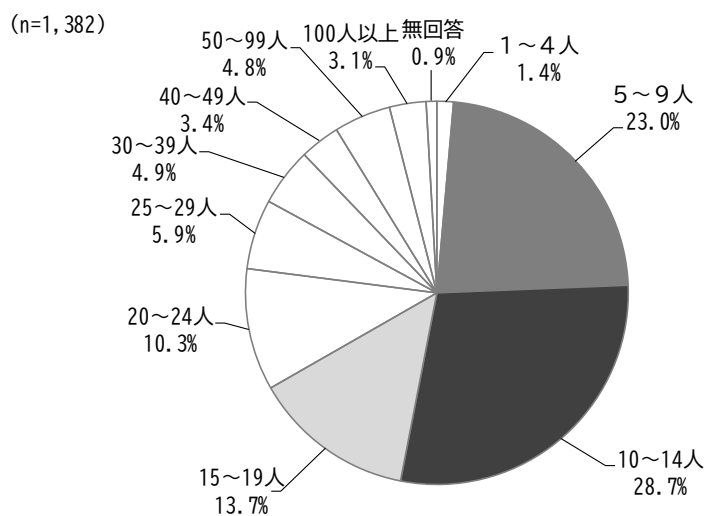
### 問1 活動年数 (○は1つ)

○活動年数は、「25年以上」(43.1%)が最も高く、次いで「15～20年未満」(11.6%)、「5～10年未満」(11.3%)となっています。



### 問1 会員数 (○は1つ)

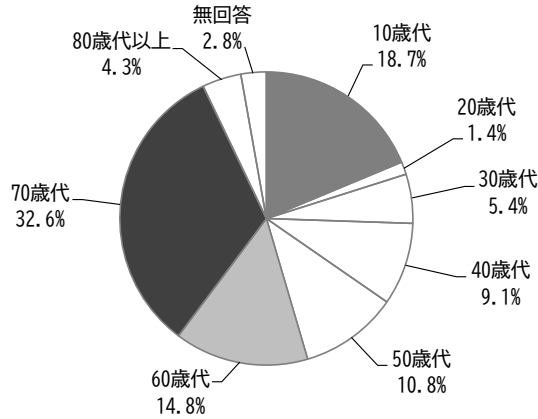
○会員数は、「10～14人」(28.7%)が最も高く、次いで「5～9人」(23.0%)、「15～19人」(13.7%)となっており、「20人未満」が66.8%を占めます。



問1 会員の平均年代 (○は1つ)

○会員の平均年代は、「70 歳代」(32.6%) が最も高く、次いで「10 歳代」(18.7%)、「60 歳代」(14.8%) となっています。

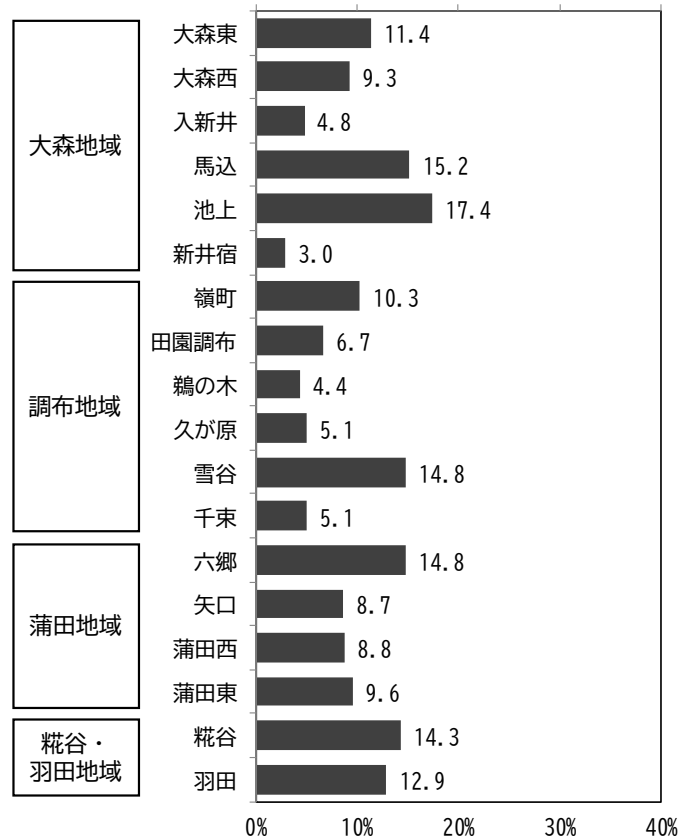
(n=1,382)



問1 活動地域 (○はいくつでも)

○活動地域を4地域の中で比較してみると、大森地域では「池上」(17.4%)、「馬込」(15.2%)、調布地域では「雪谷」(14.8%)、蒲田地域では「六郷」(14.8%)、糎谷・羽田地域では「糎谷」(14.3%) が高くなっています。

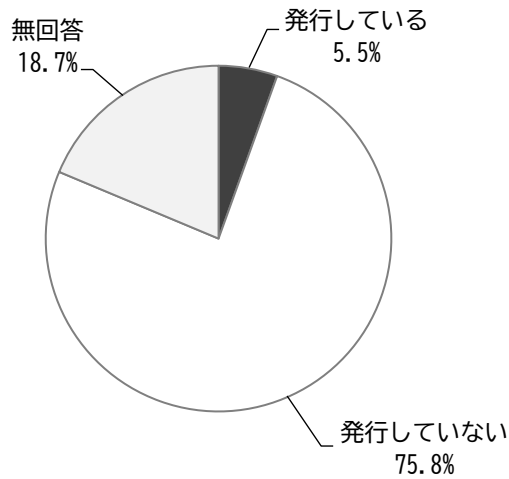
(n=1,382)



問1 会報・広報誌の発行有無 (○は1つ)

○会報・広報誌の発行有無は、「発行している」が5.5%、「発行していない」が75.8%となっています。

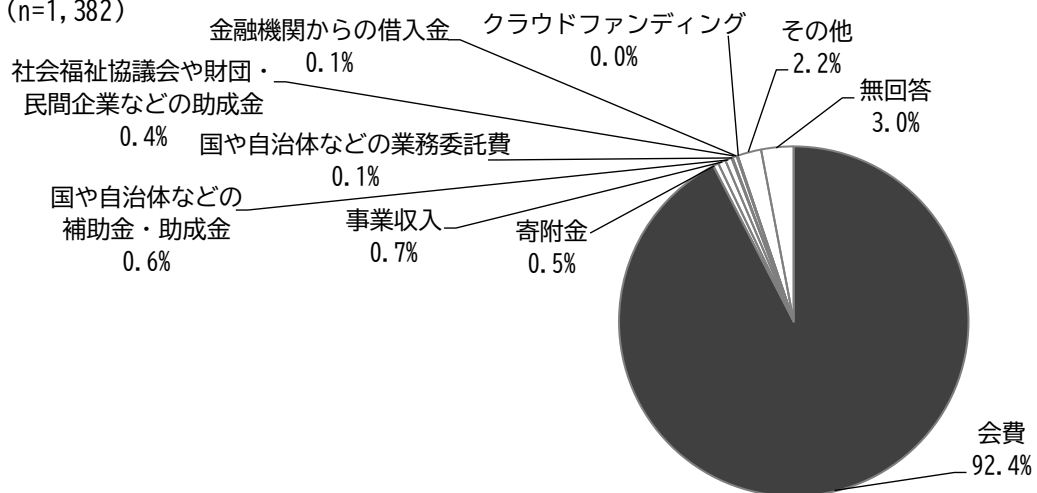
(n=1,382)



問1 主な収入源 (○は1つ)

○主な収入源は、「会費」が92.4%を占めており、その他の収入源は少数となっています。

(n=1,382)

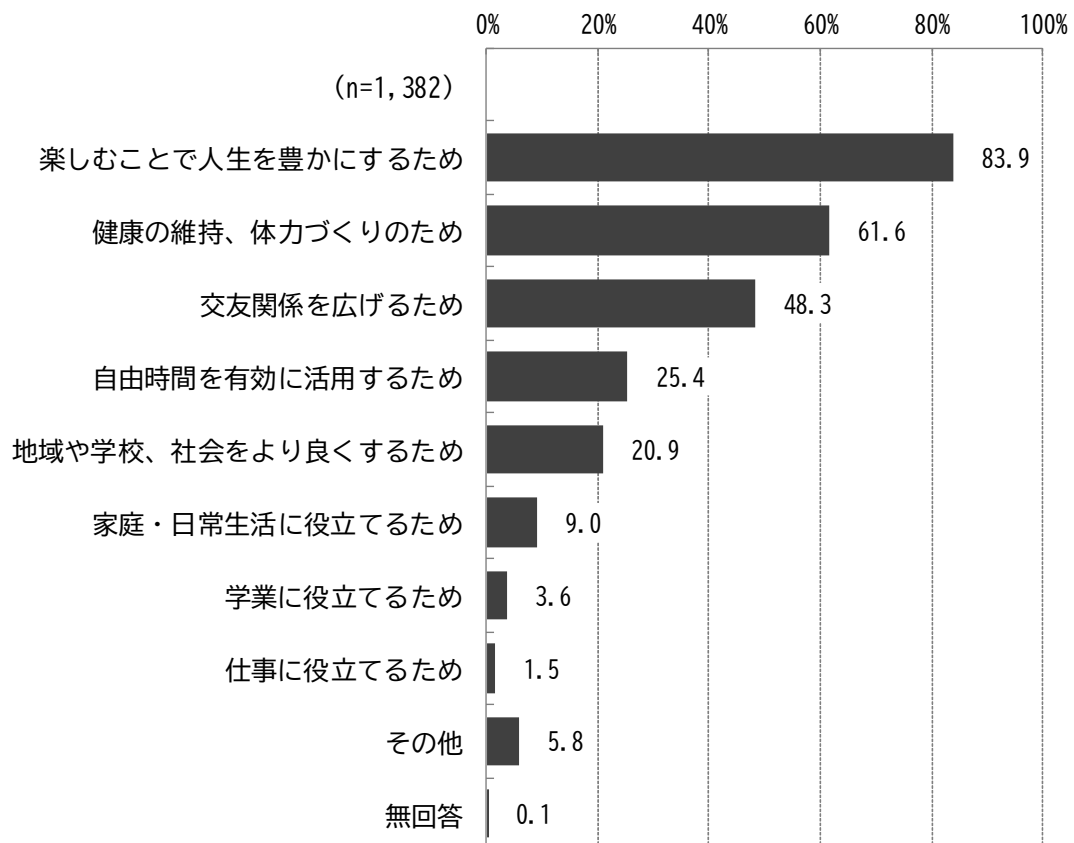


## 2 団体の活動内容について

問2 貴団体は、どのような目的のために活動されていますか。(〇はいくつでも)

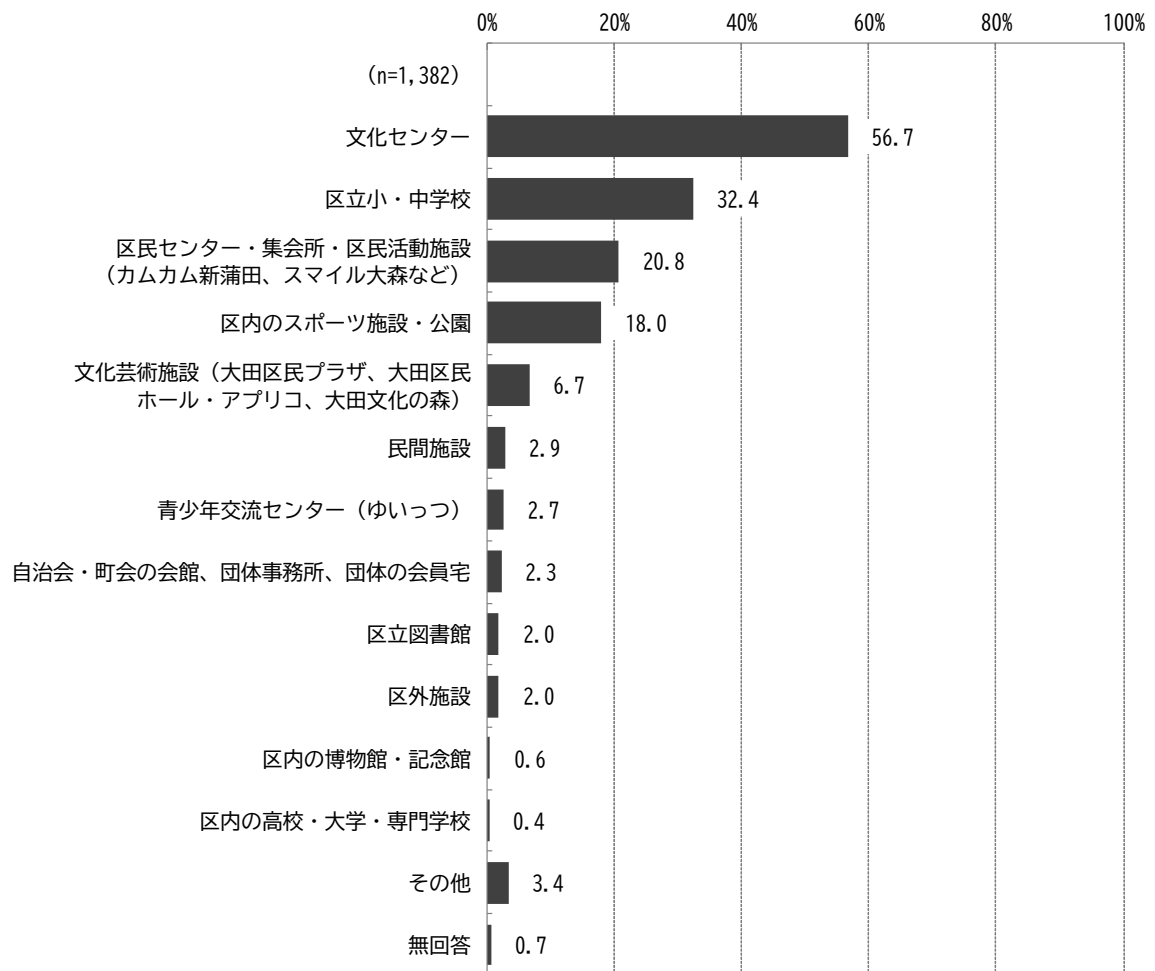
○活動目的は、「楽しむことで人生を豊かにするため」(83.9%)が最も高く、次いで「健康の維持、体力づくりのため」(61.6%)となっています。

○また、「地域や学校、社会をより良くするため」は20.9%となっています。



問3 貴団体の日常的な活動場所について、お答えください。(〇はいくつでも)

○日常的な活動場所について、「文化センター」(56.7%)が最も高く、次いで「区立小・中学校」(32.4%)、「区民センター・集会所・区民活動施設(カムカム新蒲田、スマイル大森など)」(20.8%)となっています。

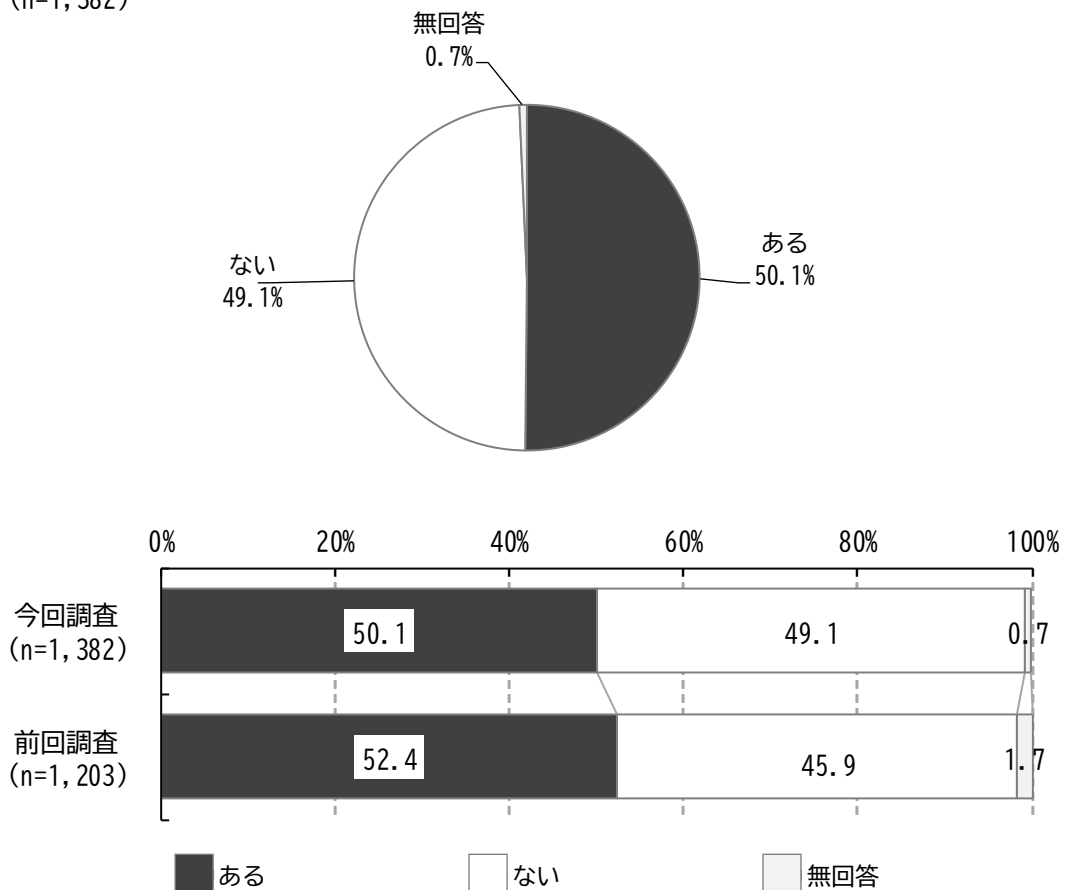


問4 貴団体は、地域の他団体（他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校など）と交流した経験がありますか。（〇は1つ）

○地域の他団体（他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校等）と交流した経験は、「ある」が50.1%、「ない」が49.1%となっています。

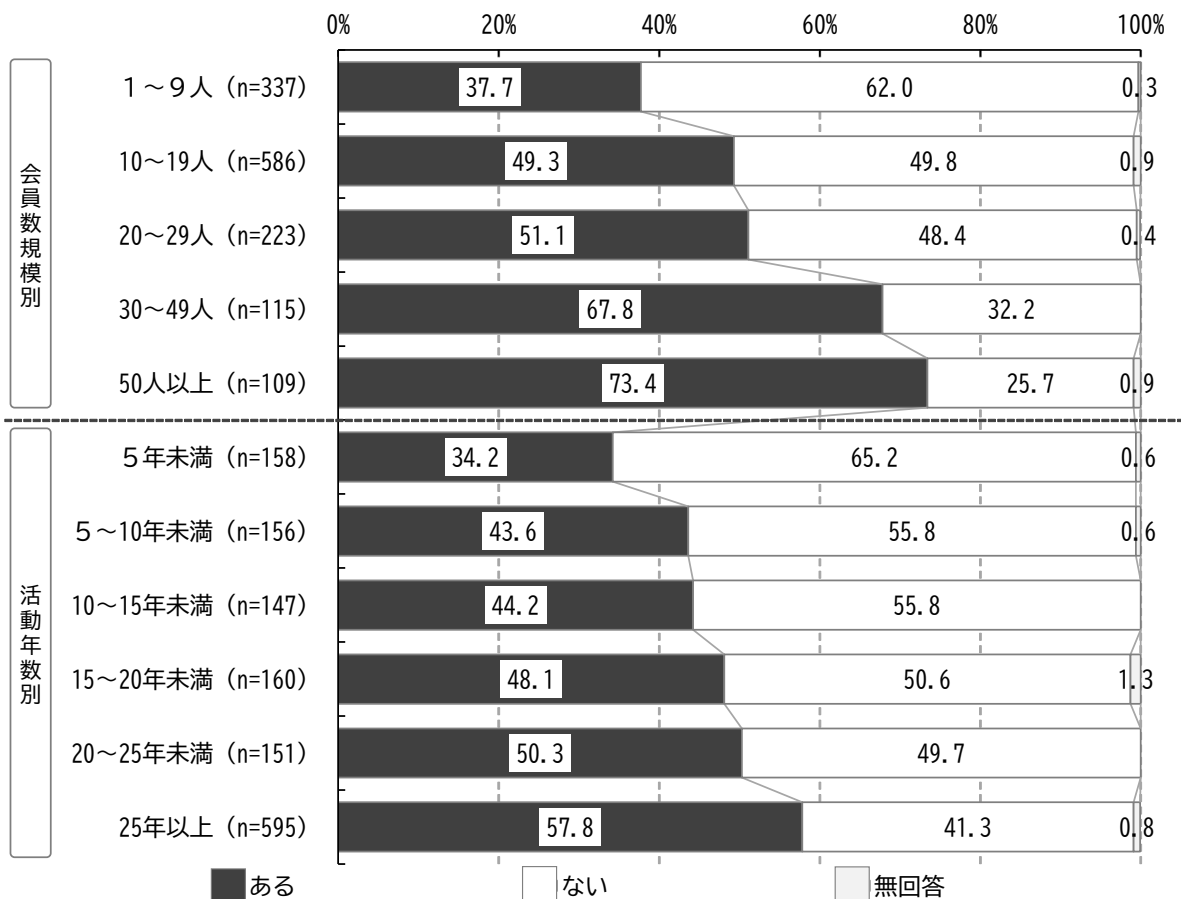
○前回調査と比較すると、「ある」が2.3ポイント減少しています。

(n=1,382)



○会員数規模別では、「50人以上」で「ある」が最も高く、規模が大きい団体ほど「ある」が高くなっています。

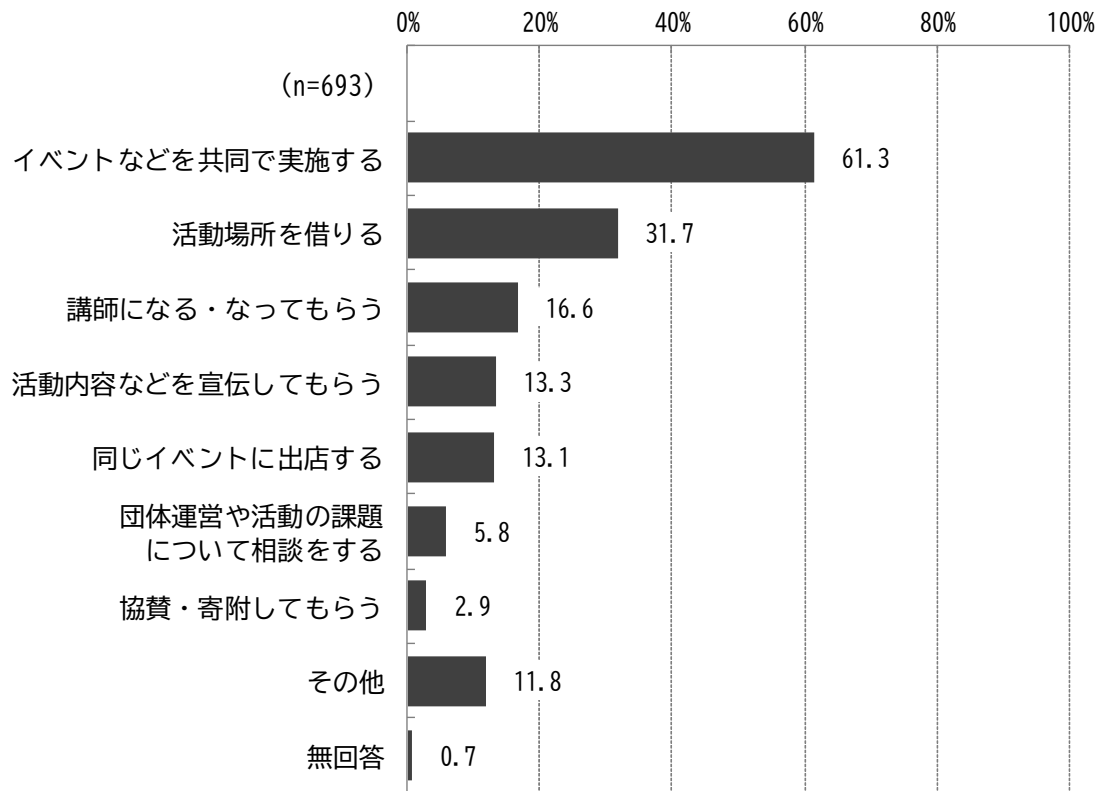
○活動年数別では、「25年以上」で「ある」が最も高く、活動年数が長い団体ほど「ある」が高くなっています。



問5【問4のいずれかで「1. ある」を選択の方】

また、ある場合、どのような交流ですか。(〇はいくつでも)

〇地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した方に、交流内容をきいたところ、「イベントなどを共同で実施する」(61.3%)が最も高く、次いで「活動場所を借りる」(31.7%)となっています。

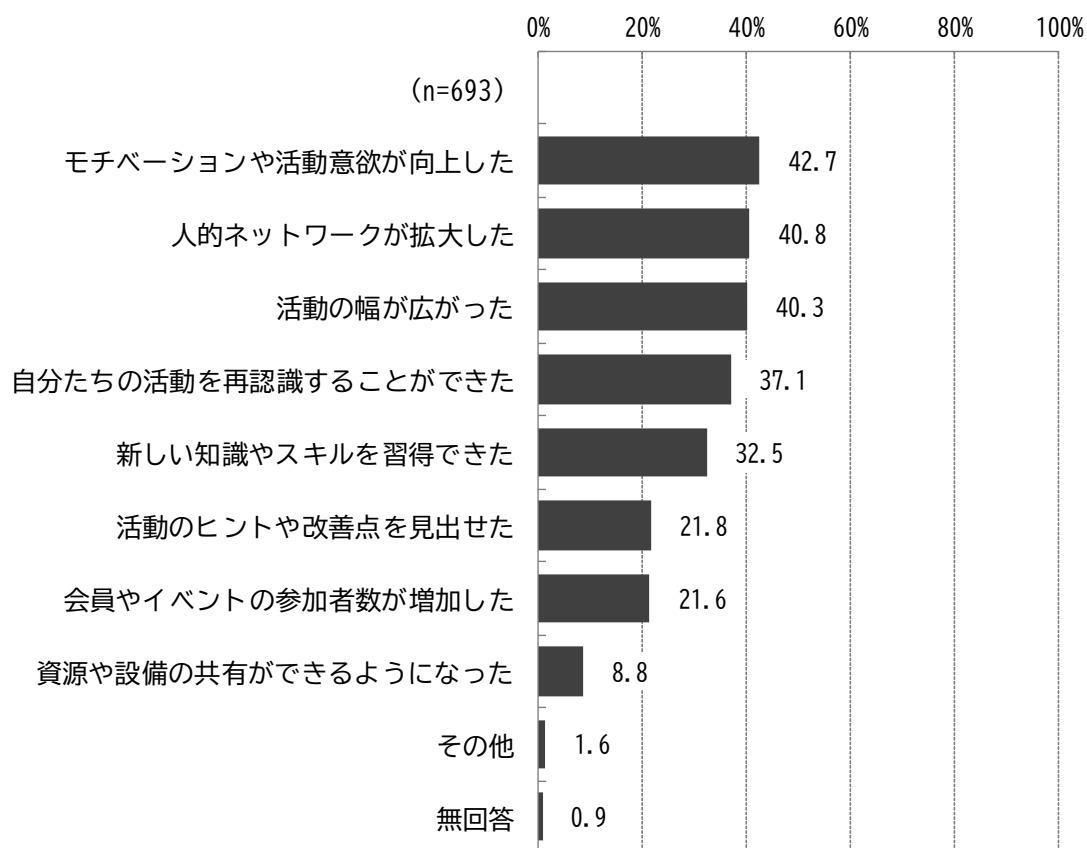


※地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した団体 (n=693) が対象。

問6【問4のいずれかで「1. ある」を選択の方】

他団体と交流・連携したことで、どのようなよい効果を得られましたか。(〇はいくつでも)

○地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した方に、どのようなよい効果を得られたかをきいたところ、「モチベーションや活動意欲が向上した」(42.7%)が最も高く、次いで「人的ネットワークが拡大した」(40.8%)、「活動の幅が広がった」(40.3%)、「自分たちの活動を再認識することができた」(37.1%)となっています。

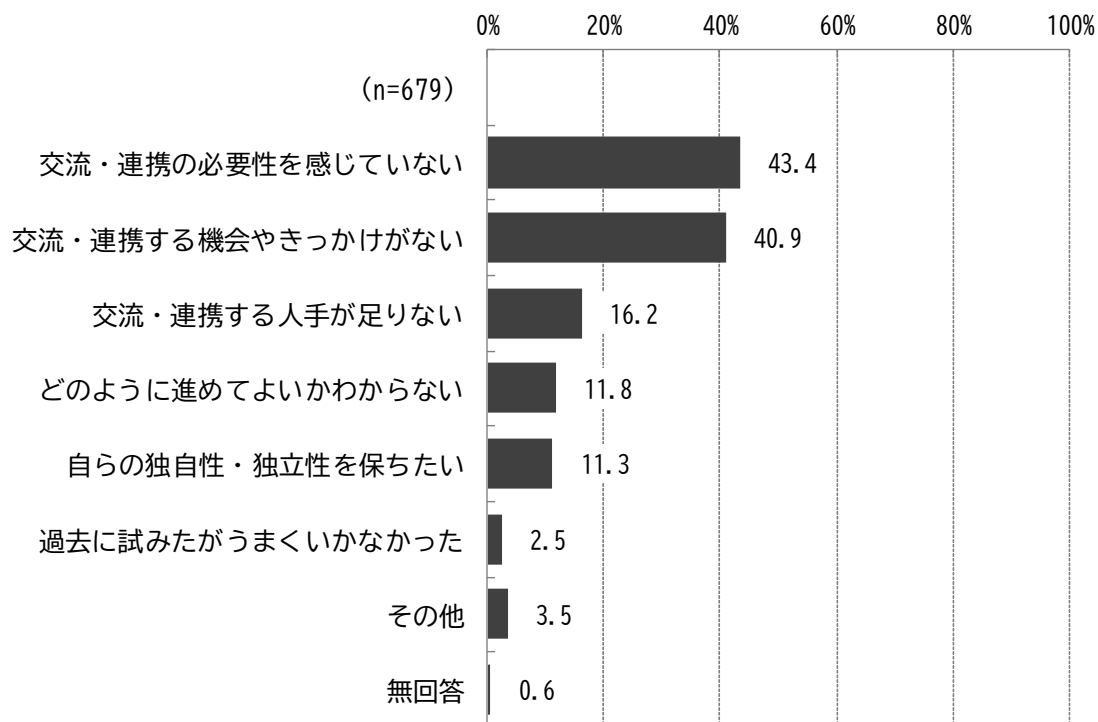


※地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した団体 (n=693) が対象。

問7【問4のいずれかで「2. ない」を選択の方】

他団体と交流・連携したことがない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

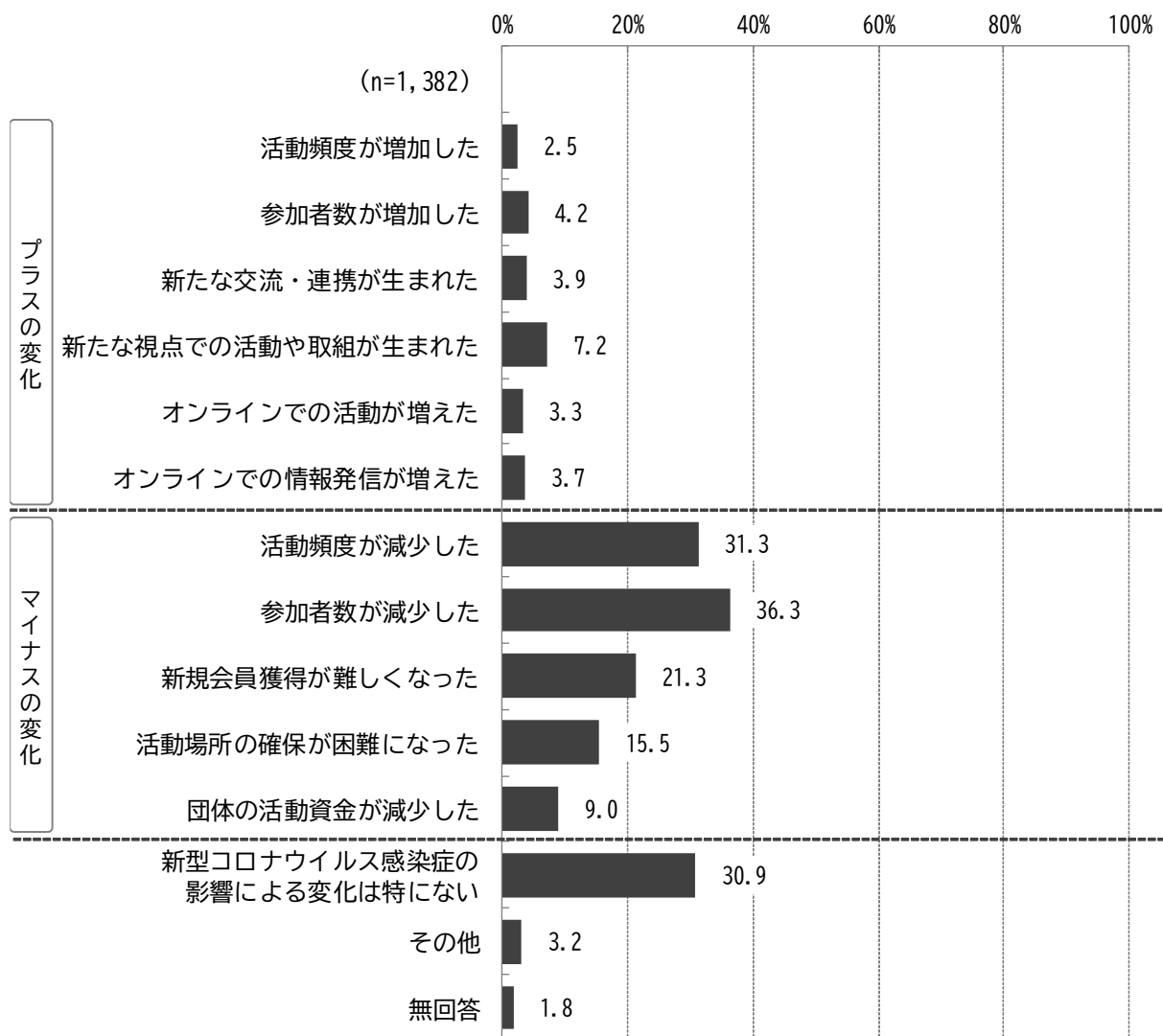
○地域の他団体との交流経験が「ない」と回答した方に、交流・連携したことがない理由をきいたところ、「交流・連携の必要性を感じていない」(43.4%)が最も高く、次いで「交流・連携する機会やきっかけがない」(40.9%)となっています。



※地域の他団体との交流経験が「ない」と回答した団体 (n=679) が対象。

問8 新型コロナウイルス感染症を契機に、貴団体の活動にどのような変化がありましたか。  
(〇はいくつでも)

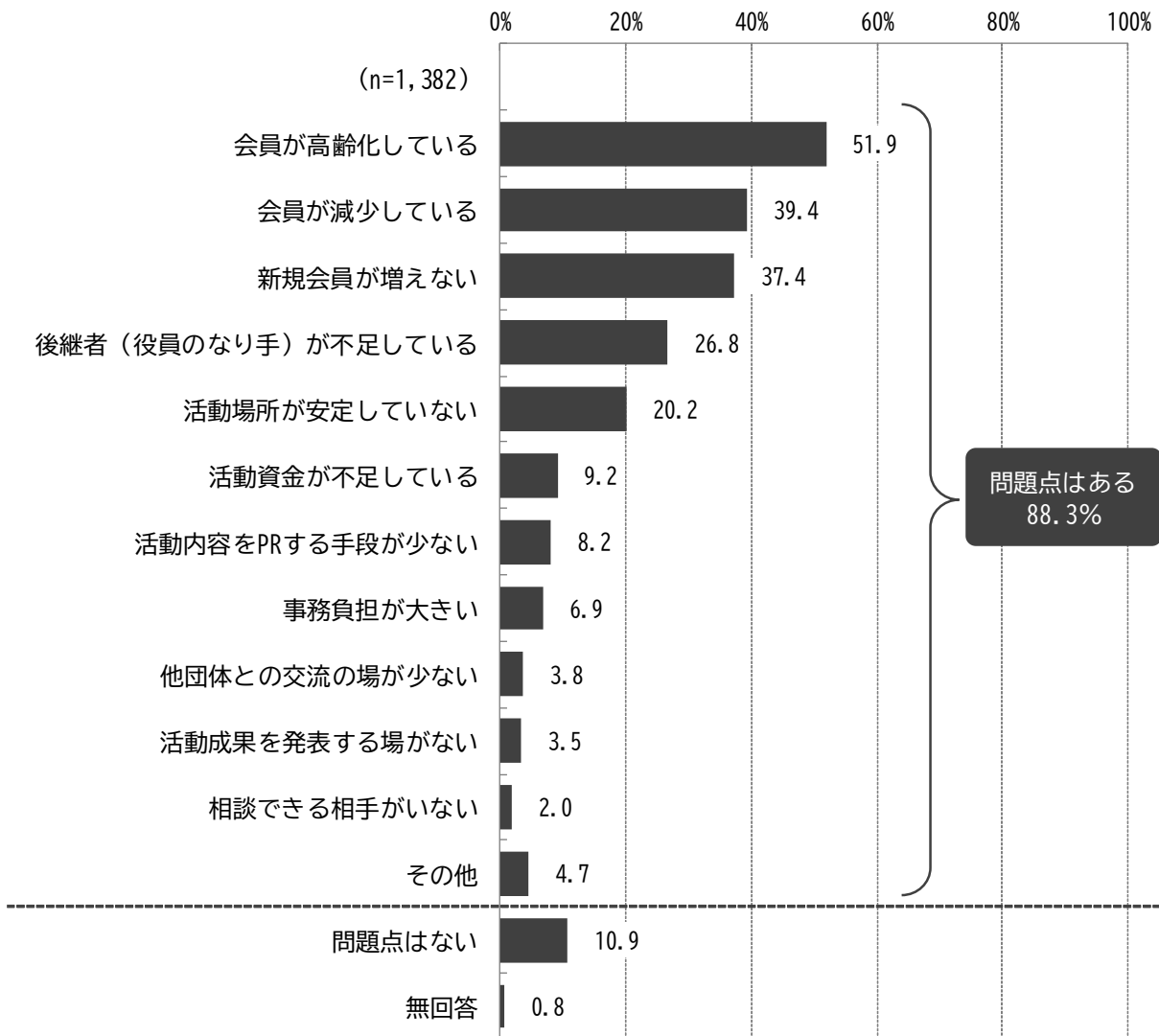
- 新型コロナウイルス感染症を契機とした団体活動の変化について、「参加者数が減少した」(36.3%)が最も高く、次いで「活動頻度が減少した」(31.3%)、「新型コロナウイルス感染症の影響による変化は特にない」(30.9%)となっています。
- プラスの変化とマイナスの変化という観点でみると、マイナスの変化の項目の方が高く、また、プラスの変化では「新たな視点での活動や取組が生まれた」(7.2%)が最も高く、全ての項目で1割未満にとどまっています。



問9 今後、活動を継続していく際の問題点はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

〇活動を継続していく際の問題点について、「問題点はある」が88.3%、「問題点はない」が10.9%となっています。

〇また、「問題点はある」の中では、「会員が高齢化している」(51.9%)が最も高く、次いで「会員が減少している」(39.4%)、「新規会員が増えない」(37.4%)、「後継者(役員のなり手)が不足している」(26.8%)、「活動場所が安定していない」(20.2%)となっています。



※問題点はある (%) = 100 - (「問題点はない」 + 「無回答」)

○会員数規模別では、「1～9人」から「20～29人」で「会員が高齢化している」、「30～49人」「50人以上」で「後継者（役員のなり手）が不足している」が最も高くなっています。

○活動年数別では、「5年未満」で「活動場所が安定していない」、「5～10年未満」から「25年以上」で「会員が高齢化している」が最も高くなっています。

		n	会員が高齢化している	会員が減少している	新規会員が増えない	後継者（役員のなり手）が不足している	活動場所が安定していない
会員数規模別	1～9人	337	60.2	51.0	45.1	17.5	12.2
	10～19人	586	52.9	37.7	37.0	25.4	20.0
	20～29人	223	52.9	29.6	33.2	33.6	26.5
	30～49人	115	35.7	36.5	32.2	37.4	27.0
	50人以上	109	34.9	37.6	33.0	40.4	25.7
活動年数別	5年未満	158	19.0	11.4	21.5	15.8	27.2
	5～10年未満	156	35.3	26.9	30.8	17.3	24.4
	10～15年未満	147	57.1	44.9	39.5	25.2	20.4
	15～20年未満	160	56.9	41.3	37.5	28.8	14.4
	20～25年未満	151	57.0	43.0	36.4	33.1	20.5
	25年以上	595	60.7	47.4	43.0	30.8	18.8

		n	活動資金が不足している	活動内容をPRする手段が少ない	事務負担が大きい	他団体との交流の場が少ない	活動成果を発表する場がない
会員数規模別	1～9人	337	8.9	8.3	5.6	3.6	2.7
	10～19人	586	8.2	8.0	4.8	3.9	4.6
	20～29人	223	7.6	8.5	7.2	4.9	3.1
	30～49人	115	10.4	6.1	12.2	2.6	2.6
	50人以上	109	14.7	11.9	16.5	2.8	0.9
活動年数別	5年未満	158	5.1	7.0	8.9	2.5	4.4
	5～10年未満	156	14.1	12.2	7.7	6.4	8.3
	10～15年未満	147	9.5	8.2	8.2	4.8	2.7
	15～20年未満	160	6.9	6.3	5.6	4.4	2.5
	20～25年未満	151	7.9	7.9	4.6	5.3	4.0
	25年以上	595	9.9	8.4	6.9	2.7	2.4

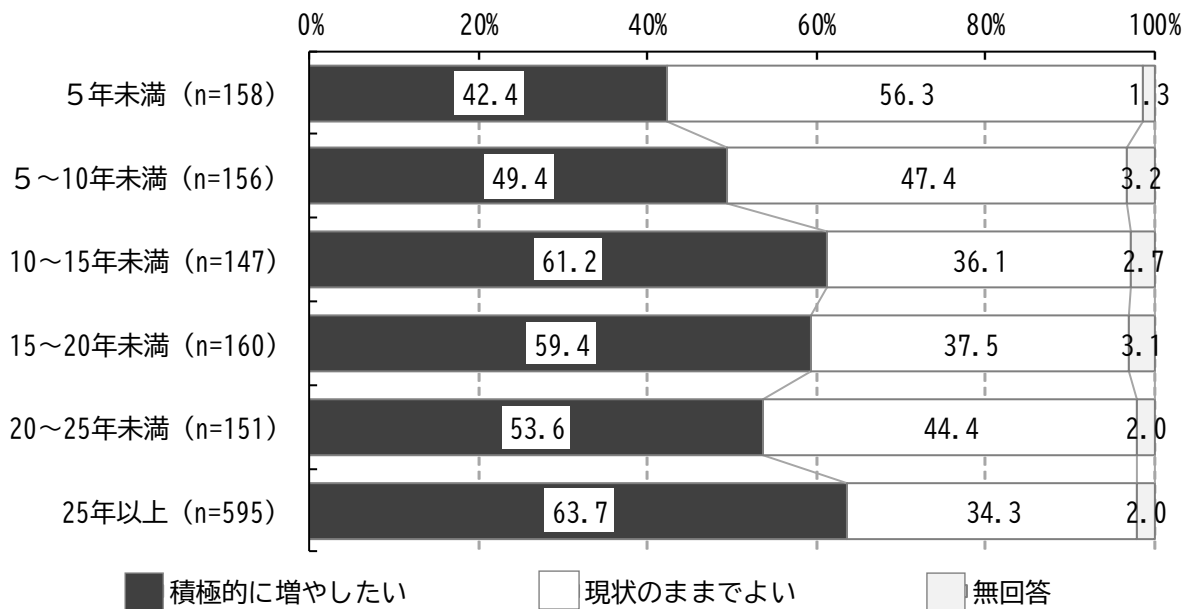
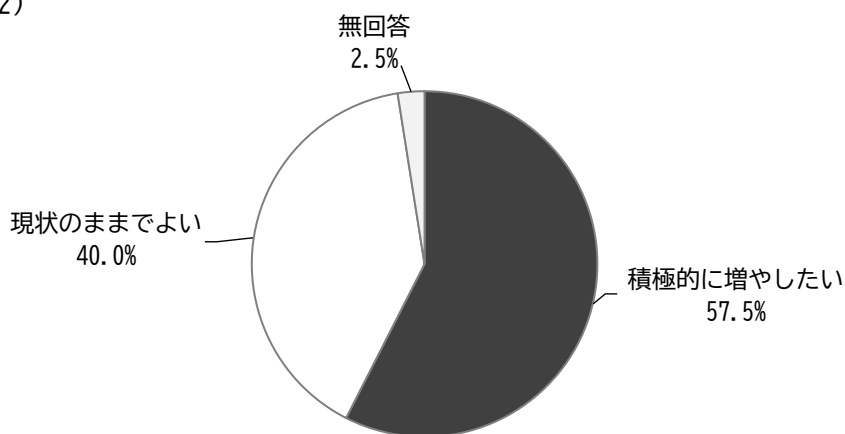
		n	相談できる相手がない	その他	問題点はない	無回答
会員数規模別	1～9人	337	2.1	3.9	11.0	0.6
	10～19人	586	1.9	3.2	12.6	0.7
	20～29人	223	3.6	4.9	9.4	0.9
	30～49人	115	0.9	4.3	7.0	0.0
	50人以上	109	0.9	12.8	8.3	0.9
活動年数別	5年未満	158	2.5	7.0	22.8	0.6
	5～10年未満	156	1.9	3.8	16.0	0.6
	10～15年未満	147	0.7	6.8	9.5	0.0
	15～20年未満	160	0.0	5.0	11.3	0.6
	20～25年未満	151	4.0	3.3	10.6	0.7
	25年以上	595	2.4	4.0	6.7	1.0

問 10 貴団体では、新しい会員の獲得について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

○新しい会員の獲得について、「積極的に増やしたい」が57.5%、「現状のままで良い」が40.0%となっています。

○活動年数別では、「25年以上」(63.7%)で「積極的に増やしたい」が最も高く、次いで「10～15年未満」(61.2%)となっています。

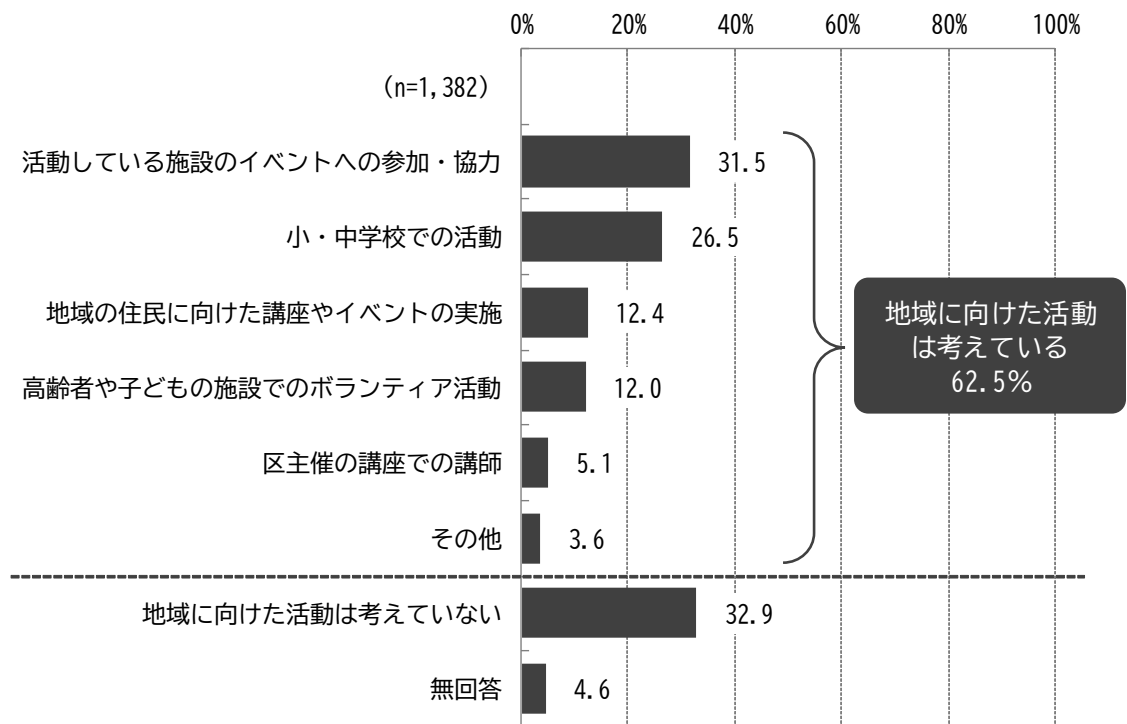
(n=1,382)



問 11 今後、貴団体として行っていききたい地域活動について、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

○今後、行っていききたい地域活動について、「地域に向けた活動は考えている」が62.5%、「地域に向けた活動は考えていない」が32.9%となっています。

○また、「地域に向けた活動は考えている」の中では、「活動している施設のイベントへの参加・協力」(31.5%)が最も高く、次いで「小・中学校での活動」(26.5%)となっています。

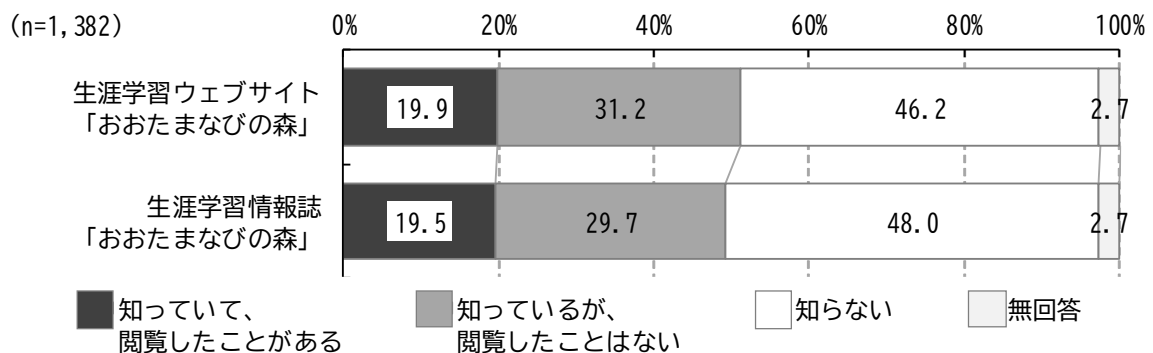


※地域に向けた活動は考えている (%) = 100 - (「地域に向けた活動は考えていない」 + 「無回答」)

### 3 大田区の生涯学習施策・事業について

問 12 大田区の生涯学習に関する情報誌などについて、ご存じのものはありますか。  
(○は各1つ)

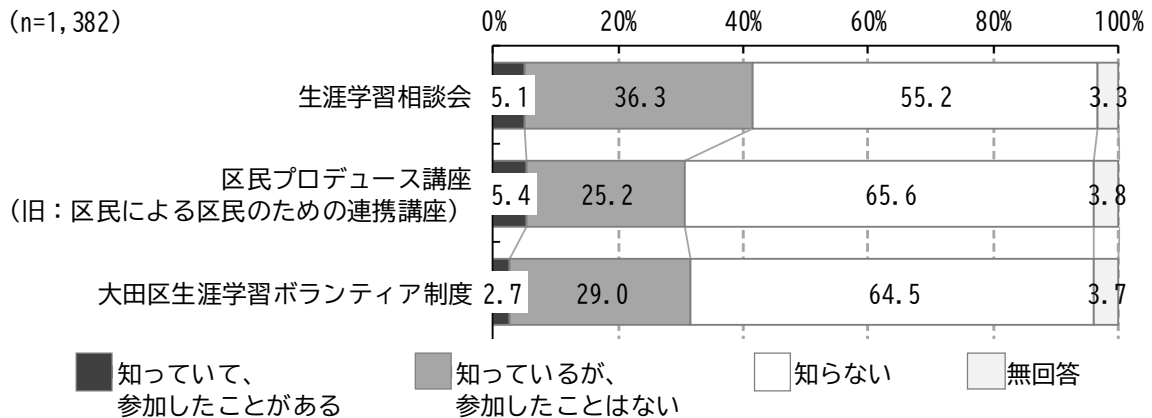
- 大田区の生涯学習に関する情報誌などについての認知度（「知っていて、閲覧したことがある」と「知っているが、閲覧したことはない」の合計）は、「生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」」では51.1%、「生涯学習情報誌「おおたまなびの森」」では49.2%となっています。
- 閲覧経験については、「生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」」では19.9%、「生涯学習情報誌「おおたまなびの森」」では19.5%となっています。



問 13 大田区の団体向けの事業などについて、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

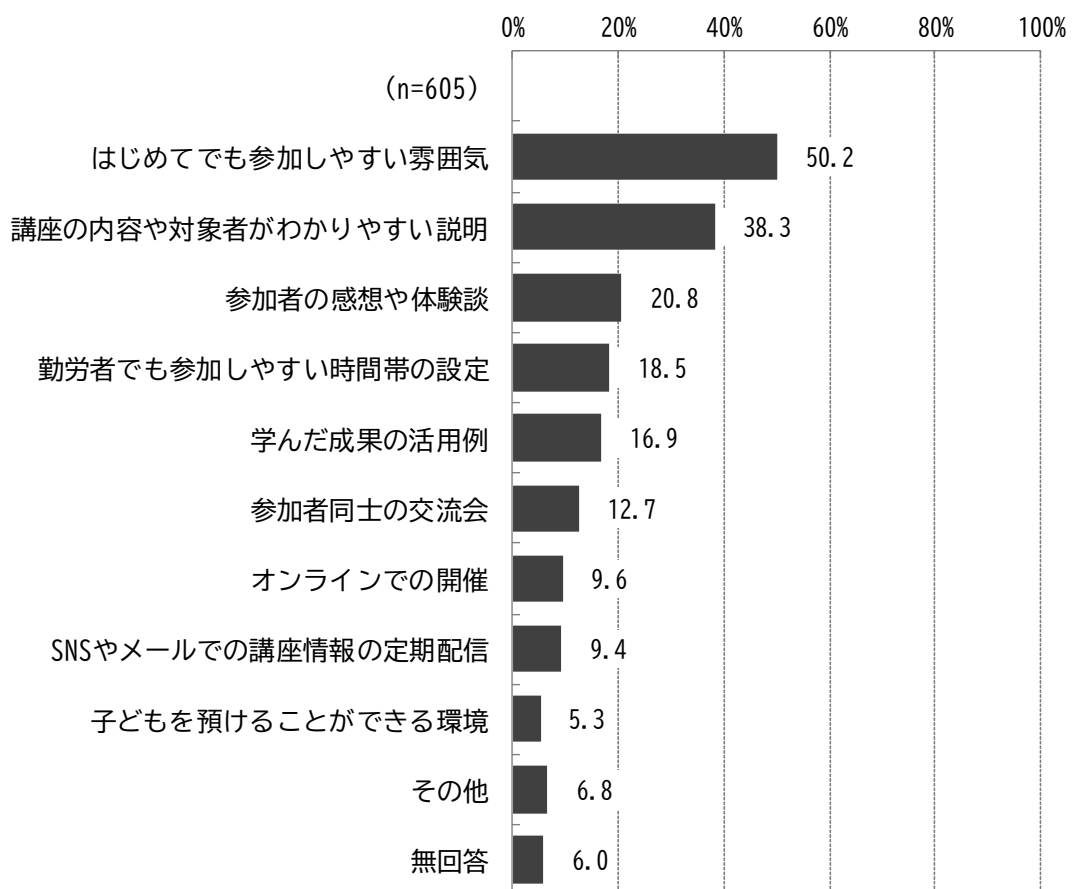
○大田区の生涯学習に関する事業などについての認知度は、「生涯学習相談会」(41.4%)が最も高く、次いで「大田区生涯学習ボランティア制度」(31.7%)、「区民プロデュース講座(旧:区民による区民のための連携講座)」(30.6%)となっています。

○参加経験については、「区民プロデュース講座(旧:区民による区民のための連携講座)」(5.4%)が最も高くなっていますが、3事業全てについて1割未満となっています。



問 14 【問 13 のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択の方】  
 どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

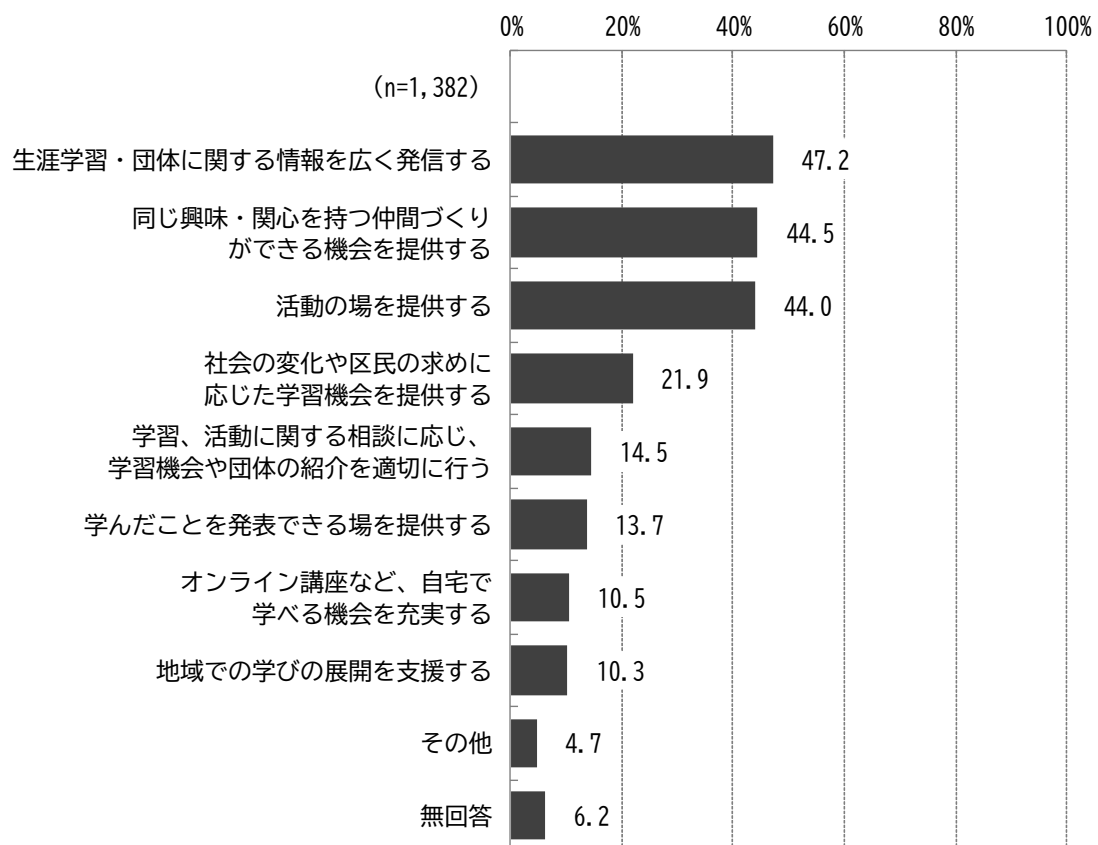
○大田区の生涯学習に関するいずれかの事業について、知っているが、参加したことはないと回答した方に、どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思うかについて、「はじめてでも参加しやすい雰囲気」（50.2%）が最も高く、次いで「講座の内容や対象者がわかりやすい説明」（38.3%）、「参加者の感想や体験談」（20.8%）となっています。



※大田区の生涯学習に関するいずれかの事業について「知っているが、参加したことはない」と回答した団体（n=605）が対象。

問 15 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取り組みを重視した方が良いと思いますか。(〇はいくつでも)

○大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために重視した方が良い取り組みについて、「生涯学習・団体に関する情報を広く発信する」(47.2%) が最も高く、次いで「同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する」(44.5%)、「活動の場を提供する」(44.0%) となっています。



○会員数規模別では、「1～9人」で「同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する」、「10～19人」「50人以上」で「生涯学習・団体に関する情報を広く発信する」、「20～29人」「30～49人」で「活動の場を提供する」が最も高くなっています。

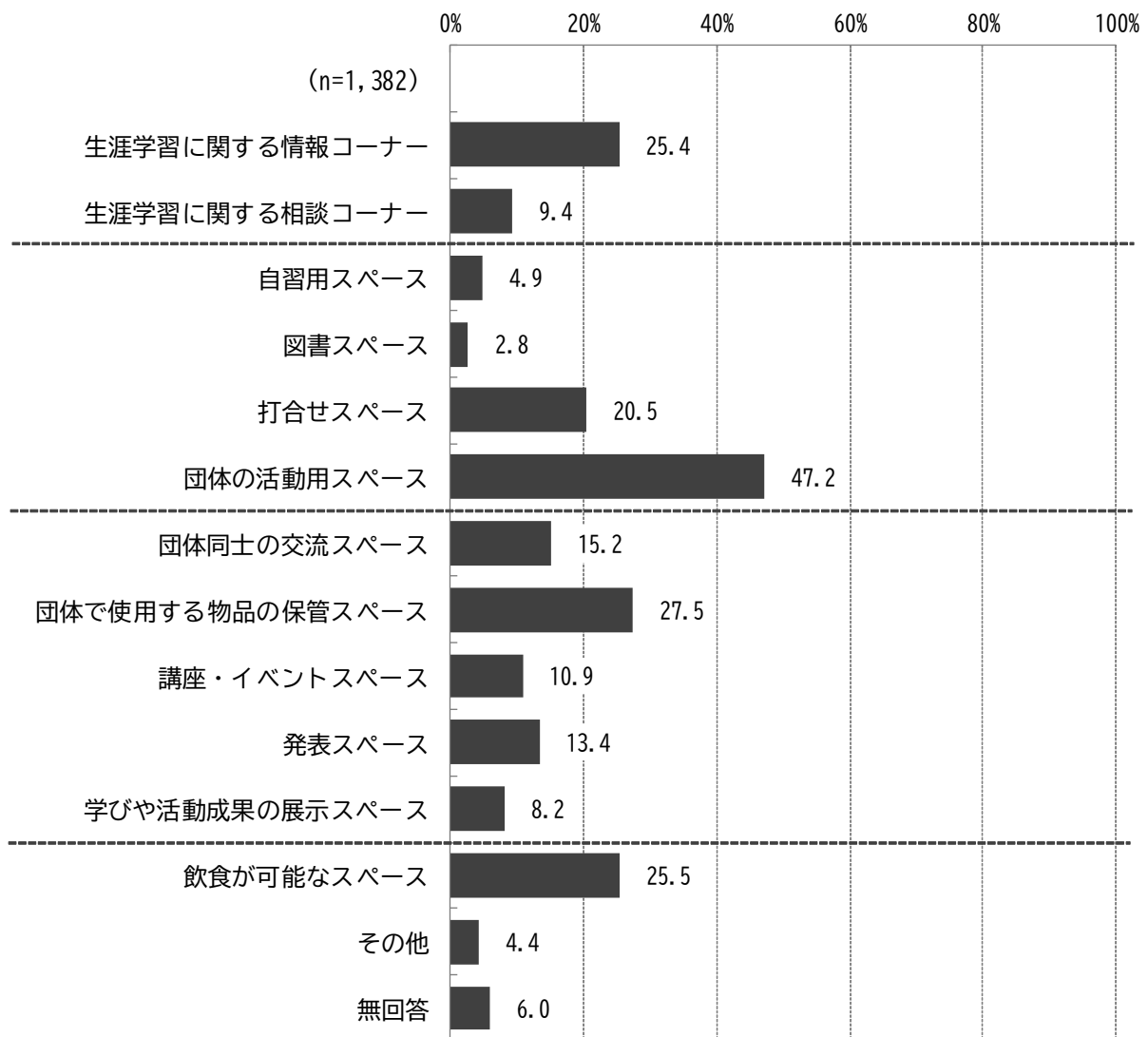
○活動年数別では、「5年未満」「15～20年未満」で「活動の場を提供する」、「5～10年未満」「10～15年未満」「25年以上」で「生涯学習・団体に関する情報を広く発信する」、「20～25年未満」で「生涯学習・団体に関する情報を広く発信する」「同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する」が最も高くなっています。

		n	生涯学習・ 団体に関する 情報を広く 発信する	同じ興味・ 関心を持つ 仲間づくりが できる機会を 提供する	活動の場を 提供する	社会の変化や 区民の求めに 応じた 学習機会を 提供する	学習、活動に 関する相談に 応じ、学習機会 や団体の紹介を 適切に行う
会員数規模別	1～9人	337	45.4	46.9	36.2	22.3	12.5
	10～19人	586	48.0	47.4	43.2	21.2	14.0
	20～29人	223	43.0	41.7	46.6	22.9	14.8
	30～49人	115	50.4	40.0	66.1	16.5	20.9
	50人以上	109	56.0	33.0	45.9	31.2	18.3
活動年数別	5年未満	158	36.7	39.9	53.8	20.3	11.4
	5～10年未満	156	52.6	44.2	43.6	23.7	14.7
	10～15年未満	147	53.1	48.3	42.9	20.4	16.3
	15～20年未満	160	44.4	45.6	48.8	18.8	11.3
	20～25年未満	151	45.7	45.7	42.4	24.5	13.2
	25年以上	595	48.4	44.4	41.0	22.5	16.3

		n	学んだことを 発表できる場 を提供する	オンライン 講座など、 自宅で学べる 機会を充実 する	地域での学び の展開を支援 する	その他	無回答
会員数規模別	1～9人	337	14.8	11.9	11.0	5.6	6.5
	10～19人	586	14.0	8.7	8.5	3.9	4.8
	20～29人	223	10.3	11.2	11.7	5.4	6.3
	30～49人	115	17.4	9.6	15.7	0.9	7.8
	50人以上	109	12.8	15.6	11.0	7.3	7.3
活動年数別	5年未満	158	15.2	13.3	10.8	2.5	3.8
	5～10年未満	156	17.9	12.2	11.5	6.4	3.2
	10～15年未満	147	15.0	13.6	12.9	4.8	2.7
	15～20年未満	160	9.4	10.0	6.3	6.9	5.0
	20～25年未満	151	13.2	7.9	5.3	5.3	7.3
	25年以上	595	13.4	9.4	11.8	4.2	8.1

問 16 社会教育関係団体が活動するための施設には、どのような機能・スペースがあると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

○社会教育関係団体が活動するための施設にはどのような機能・スペースがあると良いかについて、「団体の活動用スペース」(47.2%)が最も高く、次いで「団体で使用する物品の保管スペース」(27.5%)、「飲食が可能なスペース」(25.5%)、「生涯学習に関する情報コーナー」(25.4%)となっています。



○会員数規模別、活動年数別ともに、全ての層で「団体の活動用スペース」が最も高くなっています。

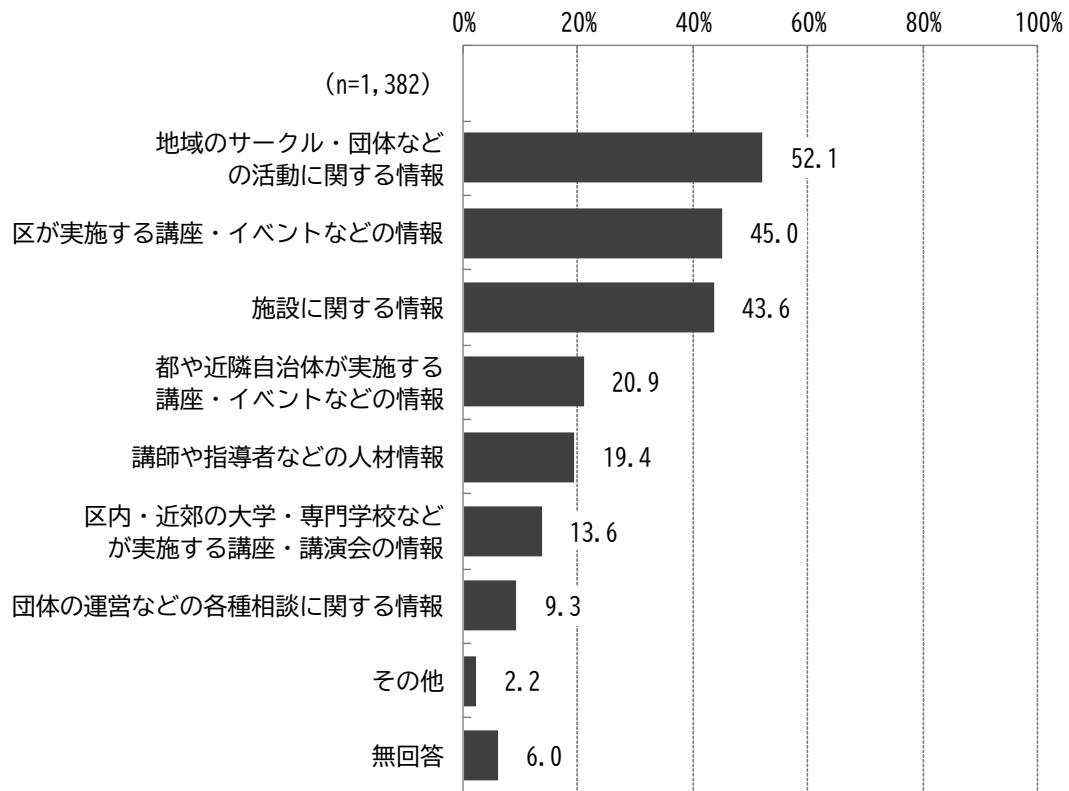
		n	生涯学習に関する情報コーナー	生涯学習に関する相談コーナー	自習用スペース	図書スペース	打合せスペース
会員数規模別	1～9人	337	34.1	13.9	4.7	3.0	18.7
	10～19人	586	26.1	7.8	5.1	3.2	17.9
	20～29人	223	21.5	9.4	6.3	2.2	20.2
	30～49人	115	15.7	5.2	1.7	1.7	33.0
	50人以上	109	13.8	9.2	4.6	2.8	29.4
活動年数別	5年未満	158	13.9	6.3	7.6	1.3	23.4
	5～10年未満	156	26.3	9.6	7.1	5.1	19.2
	10～15年未満	147	32.7	11.6	2.7	2.0	18.4
	15～20年未満	160	22.5	11.3	5.0	1.9	18.1
	20～25年未満	151	29.8	7.9	4.0	0.7	21.9
	25年以上	595	26.4	9.6	4.5	3.5	21.2

		n	団体の活動用スペース	団体同士の交流スペース	団体で使用する物品の保管スペース	講座・イベントスペース	発表スペース
会員数規模別	1～9人	337	41.8	11.9	21.4	11.0	16.0
	10～19人	586	46.6	15.0	27.6	10.8	13.1
	20～29人	223	54.3	16.6	30.9	9.0	10.3
	30～49人	115	54.8	18.3	35.7	13.0	16.5
	50人以上	109	47.7	22.0	32.1	14.7	10.1
活動年数別	5年未満	158	53.8	15.2	25.3	10.8	12.7
	5～10年未満	156	51.3	17.3	34.0	14.1	19.2
	10～15年未満	147	40.1	15.0	28.6	17.0	15.6
	15～20年未満	160	49.4	13.1	26.3	10.0	11.9
	20～25年未満	151	47.7	17.2	30.5	8.6	7.9
	25年以上	595	45.5	15.1	26.1	9.7	13.3

		n	学びや活動成果の展示スペース	飲食が可能なスペース	その他	無回答
会員数規模別	1～9人	337	8.9	24.0	4.5	6.8
	10～19人	586	7.8	26.6	4.3	4.9
	20～29人	223	6.7	22.9	3.6	4.9
	30～49人	115	7.8	22.6	2.6	5.2
	50人以上	109	11.0	31.2	6.4	9.2
活動年数別	5年未満	158	4.4	32.3	2.5	3.2
	5～10年未満	156	10.3	26.3	4.5	2.6
	10～15年未満	147	7.5	23.1	5.4	2.0
	15～20年未満	160	9.4	22.5	3.1	7.5
	20～25年未満	151	9.3	23.8	5.3	7.3
	25年以上	595	8.2	25.7	4.2	7.6

問 17 社会教育関係団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

○社会教育関係団体が、生涯学習を進めていくために必要な情報について、「地域のサークル・団体などの活動に関する情報」(52.1%)が最も高く、次いで「区が実施する講座・イベントなどの情報」(45.0%)、「施設に関する情報」(43.6%)となっています。



○活動年数別では、「5年未満」で「施設に関する情報」、「5～10年未満」から「25年以上」で「地域のサークル・団体などの活動に関する情報」が最も高くなっています。

		n	地域のサークル・団体などの活動に関する情報	区が実施する講座・イベントなどの情報	施設に関する情報	都や近隣自治体が発する講座・イベントなどの情報	講師や指導者などの人材情報
活動年数別	5年未満	158	46.2	37.3	48.1	20.3	21.5
	5～10年未満	156	59.0	48.1	46.8	23.7	21.8
	10～15年未満	147	55.8	53.1	43.5	24.5	17.7
	15～20年未満	160	57.5	34.4	38.1	15.6	19.4
	20～25年未満	151	46.4	43.7	43.7	23.8	20.5
	25年以上	595	51.1	47.6	43.4	20.5	18.8

		n	区内・近郊の大学・専門学校などが実施する講座・講演会の情報	団体の運営などの各種相談に関する情報	その他	無回答
活動年数別	5年未満	158	15.2	11.4	1.3	4.4
	5～10年未満	156	17.3	9.6	3.2	3.2
	10～15年未満	147	17.7	7.5	2.0	4.1
	15～20年未満	160	9.4	5.0	1.3	5.0
	20～25年未満	151	17.9	9.3	5.3	8.6
	25年以上	595	11.4	10.4	1.7	7.1

# 第4章 団体ヒアリング調査実施概要・調査結果

## 1 調査概要

社会教育関係団体を対象としたアンケート調査結果について、より詳細に回答内容を把握するとともに、関連団体の活動実態等をより詳細に把握するため、社会教育関係団体6団体を対象にしたヒアリング調査を実施しました。

令和7年(2025年)11月下旬～令和8年(2026年)1月中旬に、各団体が活動している文化センターにおいて、対面にて調査を実施しました。

## 2 調査結果

### (1) 活動内容について

#### 【主な意見】

- 団体活動を継続していく上での問題点は、役員のなり手がいないこと。
- パソコンを用いた事務作業が得意な会員が少ない。
- メンバーが高齢化しており、体験教室を開いたり、他団体と連携したりして何らかの活動をすることは非常に難しい。健康に十分に気を配りながら、どう活動を継続していくのか難しい段階にきている。
- もっと若いお母さんたちに文化センターのことを知っていただきたいという思いから、親子クッキング教室を、センター内の調理室にて開催した。
- 参加している会員が高齢化しており、体力的にも、精神的にも、何か新しいことをやっていくことはなかなか難しい。

### (2) 連携、地域との交流について

#### 【主な意見】

- 講師として大田区の講座に参加したことがあるが、普段はあまり外部の人と交流がないので、そのような機会でも様々な人と話せるのは魅力的だと感じた。
- 文化センターまつりには、毎年、参加しており、制作した作品を展示するとともに、即売会で少額ではあっても売れることで励みになっている。また、販売を通じて、制作したのを見ていただきながら、1対1で顔を見ながら会話できることも楽しい。
- 地域にある歴史や資源をタカラとして取り上げる活動をしており、小学校、町会、観光協会等と連携して活動を進めている。
- 日頃の活動を発表する場に参加するだけでなく、そこに来ていただいた方々と交流したり、つながりを新たに築いたりしていくことが非常に大切。発表する側が満足できて、それを見に来ていただいた方々にも満足してもらえるような関係性づくりができると良い。
- これまで文化センターとは関わりがなかった若い方々に、文化センターを知っていただき、センターでの活動に興味を持っていただき、団体活動に参加していただくことで、地域で文化セ

ンターやそこで活動する団体を支える方々を底上げしていきたい。

- 文化センターまつりの際には、様々な地域の方をお呼びしてもっと盛り上げていきたいという想いはある。ただ、そうした交渉やコーディネートをする体力・気力がない。そういうコーディネートをしていただける方がいらっしやるとありがたい。

### (3) 区の生涯学習施策について

#### 【主な意見】

- 皆で作業しながら、楽しく会話をしたり、健康相談をしたり。生涯にわたる居場所というか、仲間づくりが大切だと思う。
- 「生涯学習」というのは媒体だと思います。そういう媒体があって仲間が集まるということは、本当に良いこと。
- 施設利用については、インターネットでの予約・支払いができて便利になった反面、色々な団体が予約を取りやすくなったことで、従来、利用していた団体が、これまで通りの曜日・時間帯で場所を確保できなくなってきている。
- 新たにこの地に入ってきた若い人たちにも、自分たちが住んでいるまちを、色々な視点から見ていただき、自分たちにとってのタカラを見つけてもらうことができる。次世代につないでいれないといけない。
- 私たちが作成した作品をデジタル化できるような若い人、そういうことに長けた若い方が会員にいてもらえると良い。
- 区には、宣伝、広報をもっと頑張ってください。文化センターに普段関わりがない人にも情報を伝えていけると良い。区報だけでなく、違う媒体でも伝えてもらい、多くの皆さんに知っていただけると良い。
- 施設について、以前の窓口での申し込み時に比べると、場所を確保できないことが増えている。
- これからも活動を維持していくために、できることはやっていきたい。どなたかに主導・サポートしていただきながら、活動を維持するための取組みができると良い。
- センターでの活動に参加されている高齢の方は、ここに来て活動することで、生きる力を得ているとも言える。ここに自分の力で来ることで、生活の質を維持できる。また、このセンターに自分の力で来ることができる方々が、活動できる場をしっかりと維持できると良い。

## 第5章 課題の整理及び次期プランの方向性等

### 1 調査結果を踏まえた課題の整理

#### (1) 生涯学習を実行できていない層へのアプローチ

初めてでも参加しやすい環境、わかりやすい情報提供、参加しやすい時間帯での講座実施が求められていることから、学びはじめを後押しするための支援、学びにつながる多様な機会の提供、情報発信の強化、オンラインでの講座開催や開催時間の工夫などが課題として考えられます。

#### (2) 生涯学習を通じて身に付けた知識などの活かし方

生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を地域や社会での活動に活かしたい意向があること、交流の場の充実や学びたい人と教えたい人とをつなげる制度の充実が求められていることから、学習成果を地域や社会に還元することによる相乗効果を創出するような仕組みの構築が課題になると考えられます。

#### (3) 生涯学習を実施する場所

生涯学習をするうえで重要だと思う場所について、「区の公共施設」が最も多く挙げられています。また、生涯学習を行う施設には、生涯学習に関する情報コーナー、交流や講座・イベントスペース等が求められていることから、区の公共施設における機能強化、既存施設の活用・ネットワーク化、幅広い学習機会を提供する環境整備が課題になると考えられます。

#### (4) 他団体との交流

社会教育関係団体が地域の他団体と交流することで、モチベーションや活動意欲の向上、人的ネットワークの拡大など様々なよい効果があることがわかりました。交流のきっかけが掴めない団体へのアプローチとして、交流・連携する機会やきっかけとなるような分野横断的な場づくり、連携後の効果をより高めていくための伴走型の支援を強化することが課題になると考えられます。

#### (5) 団体が活動を継続していく際の問題点

社会教育関係団体の活動を継続していくにあたり、多くの団体が問題を認識していることから、短期的には、個々の団体の組織基盤の強化・活性化に向けた支援の充実が課題となります。また、中期的には、団体の若返りに向けた、若年層や子育て世代等への魅力発信や新規会員流入を促す取組強化、新規団体の設立を誘発する仕組みの構築が課題になると考えられます。

## 2 次期プラン策定時に盛り込むべき方向性及び重点事項等

### (1) 学びの裾野を広げる

#### ア 学びへの入り口

きっかけがつかめない、必要な情報が入手できないことなどが生涯学習を行わなかった理由に挙げられていることから、参加しやすい学びの場を整備し、学び始めるきっかけを提供することが求められています。身近な場所での情報提供や相談支援、様々な媒体を活用した情報発信が必要です。

#### イ 多様な学びの機会

人生をより豊かにするための学びが求められていることから、それぞれのライフステージに適した学び、学ぶ側の多様性に応じた学習機会の提供が必要です。また、スポーツや文化芸術に関する学習意向が高いことも留意が必要です。さらに、こどもの頃から地域のつながりの中で体験的に学ぶ機会を提供することで、地域活動に積極的・主体的に関わる意識が高まることが期待できます。

### (2) つながりの創出

#### ア 居場所づくり

区が生涯学習を推進することで、地域における人と人とのつながりが増えることが期待されていることから、世代を問わず他者と緩やかにつながり、学びあうことができる環境を整備することが求められています。また、団体の自主的な活動をサポートする伴走型の支援が求められています。

#### イ つながる支援

生涯学習を通じて知人や仲間ができる、人生がより豊かになっていることを感じていることから、学びの提供により知識の獲得に留まらず、学習者の交流を促進し、つながりを支援することが必要です。また、団体が他団体と交流する機会やきっかけがないと感じていることから、区や中間支援組織等によるコーディネート機能の充実が求められています。

### (3) 学びあいから共創へ

#### ア 学びに関連する施設

多くの区民が生涯学習をするうえで、区の公共施設の重要性を感じていることから、既存施設を活用した地域住民同士が対面によりつながりが持てる場、幅広い学習機会や次の学びにつながる場を提供できる環境整備が必要です。

## イ 学びの成果を活かす機会

学びの成果を活かすために、学びたい人と教えたい人とをつなげる制度の充実、学びの内容を発表する機会やボランティア登録の充実などが必要です。また、生涯にわたって楽しく学び続けられるサポートを通じて「学ぶ→活動する→学び直す」という学びの循環の形成を支援することが重要です。

## ウ 地域を活かす仕組み

学びの成果を地域や社会での活動に活かしたい意向が伺えることから、学びの成果を地域の活性化や地域コミュニティづくり、課題解決につなげられるよう、学習者の知識や技能を活かす機会が求められています。地域活動や課題解決につながる講座を実施することで、地域における生涯学習人材の発掘やボランティア活動を促進し、区民の地域への愛着を高めることが期待できます。

# 資料編（調査票）

## 1 区民アンケート調査

日頃より、区の生涯学習施策の推進について、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

大田区では、令和4年3月に「おおた生涯学習推進プラン」を策定しました。現行のプランが令和8年度に終了することから、この度、次期プラン策定のための基礎資料として、アンケート調査を行うこととなりました。区民のみなさまの日頃の学習活動や地域での活動状況、学びに関するニーズなどをお伺いするものです。

対象者は、大田区にお住まいの3,000人（18歳以上）の方を無作為で抽出させていただきます。調査は無記名で行い、回答内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、回答内容は本調査の目的以外に利用することはありません。

御多忙のところ恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】大田区 地域未来創造部 地域力推進課 生涯学習担当  
電話 03-5744-1443


\*お問い合わせは、平日午前9時から午後5時まで  
(正午から午後1時までを除く) 承ります。

回答方法は、以下の2つからお選びください。

### ■郵送で回答する場合

①調査票に回答内容をご記入ください。	②同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。 令和7年10月31日まで
--------------------	--

### ■インターネットで回答する場合

スマートフォンなどで二次元コードを読みとるか、URLから回答フォームにアクセスし、以下のIDを入力の上、ご回答ください。	回答期限 令和7年10月31日
二次元コード	(ID)
	(URL) <a href="https://logoform.jp/form/8BrJ/1092848">https://logoform.jp/form/8BrJ/1092848</a>

#### 【回答にあたって】

アンケートは、封筒の宛名の御本人がお答えてください。ただし、御本人の心身の状況などにより回答が困難な場合は、御家族、介助者の方などが御本人の立場でお答えてください。

## 1 学ぶことの意識について

問1 あなたは、何かを学ぶことに関心がありますか。(○は1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある         | 3. どちらかというに関心がない |
| 2. どちらかというに関心がある | 4. 関心がない         |

## 2 生涯学習について

### 本調査での「生涯学習」の定義

生涯学習とは、区民一人ひとりが、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学習のことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動、自治会・町会、NPO、PTA、子ども会、ボランティアなどの地域活動が含まれます。

問2 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(○は1つ)

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1. ある → 問3へ | 2. ない → 4ページの間10へ |
|-------------|-------------------|

問3 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたが生涯学習を行う目的は何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 楽しむことで人生を豊かにするため | 7. 交友関係を広げるため        |
| 2. 自己肯定感を得るため       | 8. 地域や学校、社会をより良くするため |
| 3. 自由時間を有効に活用するため   | 9. 仕事に役立てるため         |
| 4. 教養を高めるため         | 10. 学業に役立てるため        |
| 5. 家庭・日常生活に役立てるため   | 11. 特に目的はない          |
| 6. 健康の維持、体力づくりのため   | 12. その他 ( )          |

問4 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、どのような生涯学習を行いましたか。(○はいくつでも)

- |                           |                         |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの  | 9. 子育てに関するもの            |
| 2. スポーツ（武道、ダンスなどを含む）      | 10. 教育に関するもの            |
| 3. 文学、歴史、語学、観察など、教養を高めるもの | 11. 福祉に関するもの            |
| 4. 住んでいる地域に関するもの（地域学）     | 12. 防災・防犯に関するもの         |
| 5. パソコン、スマートフォンの知識や技術     | 13. ものづくり、観光など、産業に関するもの |
| 6. Web会議・動画配信などの活用方法      | 14. 国際理解・交流に関するもの       |
| 7. 仕事・働くために必要な知識や技能       | 15. 人権や環境問題など社会問題に関するもの |
| 8. 健康に関するもの               | 16. その他 ( )             |

問5 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたが生涯学習を行っている場所はどこですか。(〇はいくつでも)

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 区立図書館                                   | 7. 区内のスポーツ施設・公園           |
| 2. 区内の博物館・記念館                              | 8. 区立小・中学校                |
| 3. 文化センター                                  | 9. 自治会・町会の会館、団体事務所、団体の会員宅 |
| 4. 区民センター・集会所・区民活動施設<br>(カムカム新蒲田、スマイル大森など) | 10. 区内の高校・大学・専門学校         |
| 5. 青少年交流センター(ゆいっつ)                         | 11. 民間施設(カルチャースクールなど)     |
| 6. 文化芸術施設(大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森)     | 12. 自宅                    |
|  | 13. 区外施設                  |
|  | 14. その他( )                |

問6 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、どのような方法で生涯学習を行っていますか。(〇はいくつでも)

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| 1. 区が主催する講座・教室・講演会       | 6. 区内・近郊の大学・専門学校など教育機関の講座・講演会(社会人大学生を含む) |
| 2. 社会教育関係団体などサークル、グループ活動 | 7. 民間の教室・講座                              |
| 3. NPO、区民活動団体での活動        | 8. 個人学習                                  |
| 4. 地域のこども会、子育て支援、PTA活動   | 9. その他                                   |
| 5. 自治会・町会活動              | ( )                                      |

問7 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、オンライン※で生涯学習を行ったことがありますか。(〇は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※オンラインには、リアルタイムのライブ配信形式とともに、オンデマンド(事前に収録されたものを好きな時に視聴できる)形式も含まれます。

問8 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。(〇はいくつでも)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 人生がより豊かになっている   | 5. 地域や社会での活動に活かしている |
| 2. 家庭・日常生活に活かしている  | 6. 知人や仲間ができています     |
| 3. 心身の健康を維持・増進している | 7. 活かしていない          |
| 4. 仕事や学業に活かしている    | 8. その他( )           |

問9 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を、地域で活かすために、どのようなサポートが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 学んだ後、同じ分野に関心のある人との交流の場の充実
2. 学びを活かす活動・発表の場の充実
3. 区民向け講座の開催支援
4. 地域で活動しているサークルやボランティアに関する情報の提供
5. 学びたい人と教えたい人とをつなげる制度の充実
6. 地域で活動するサークルの支援
7. その他 ( )

問10 問2で「2. ない」を選択した方におうかがいします。

最近1年間に生涯学習を行ったことがない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 忙しくて時間がない
2. 時間帯が希望に合わない
3. 一緒に学習する仲間がない
4. 身近なところに学習する場がない
5. 学習するための費用がかかる
6. 学習したい内容の講座が開設していない ( )
7. 学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない
8. きっかけがつかめない
9. 特に必要がない
10. その他

問11 あなたは、今後、生涯学習を行いたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 行いたいと思う → 問12へ
2. 行いたいと思わない → 5ページの問14へ
3. わからない → → → → 5ページの問14へ

問12 問11で「1. 行いたいと思う」を選択した方におうかがいします。

今後、行いたい生涯学習の内容をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの
2. スポーツ(武道、ダンスなどを含む)
3. 文学、歴史、語学、観覧など、教養を高めるもの
4. 住んでいる地域に関するもの(地域学)
5. パソコン、スマートフォンの知識や技術
6. Web会議・動画配信などの活用方法
7. 仕事・働くために必要な知識や技能
8. 健康に関するもの
9. 子育てに関するもの
10. 教育に関するもの
11. 福祉に関するもの
12. 防災・防犯に関するもの
13. ものづくり、観光など、産業に関するもの
14. 国際理解・交流に関するもの
15. 人権や環境問題など社会問題に関するもの
16. その他 ( )

問13 問11で「1. 行いたいと思う」を選択した方におうかがいします。

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていきたいとおもいますか。(〇はいくつでも)

1. 人生をより豊かにする	4. 仕事や学業に活かす	7. 活かしたいと思わない
2. 家庭・日常の生活に活かす	5. 地域や社会での活動に活かす	8. その他
3. 心身の健康を維持・増進する	6. 知人や仲間をつくる	( )

### 3 普段の生活について

問14 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。

あなたのお気持ちに最も近い番号に〇を1つしてください。(〇は各1つ)

項目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
心身ともに健やかな生活を送っている	1	2	3	4
自分らしく生きている	1	2	3	4
充実した生活を送っている	1	2	3	4
住んでいる地域に愛着を感じる	1	2	3	4
孤立感や孤独感がない	1	2	3	4

### 4 大田区の生涯学習施策・事業について

問15 大田区の生涯学習に関する情報誌などについて、ご存じのものはありますか。(〇は各1つ)

情報誌名など、概要	知っている、 えつらん 閲覧した ことがある	知っているが、 えつらん 閲覧した ことはない	知らない
生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」 講座・イベント情報などを集め、発信することで、みなさまの学習や活動のきっかけをつくるためのウェブサイトです。動画講座やサークル(社会教育関係団体)の情報も掲載しています。	1	2	3
生涯学習情報誌「おおたまなびの森」 区内で行われている講座・講演・催し物などのほか、サークル(社会教育関係団体)の活動内容も掲載しています。	1	2	3

問16 大田区の生涯学習に関する事業について、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

事業名、概要	知っている、 参加した ことがある	知っているが、 参加した ことはない	知らない
<u>深める・つながる講座（旧：おおた区民大学）</u> 社会、歴史、人権など、様々なテーマについて学ぶ学習の場です。	1	2	3
<u>生涯学習相談会</u> 区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動などの情報提供や学びに関する相談を受付けています。	1	2	3
<u>区民プロデュース講座（旧：区民による区民のための連携講座）</u> 社会教育関係団体が講師になって、多様な学びの機会を提供する講座です。	1	2	3
<u>まなびバ</u> 文字や文章の読み書き、算数、国語など基礎的な学習を行う大人のための学び直しの場です。	1	2	3
<u>大田区生涯学習ボランティア制度</u> 自身の知識・技術を地域に役立てたいと考える方のボランティア登録を行います。	1	2	3

問17 問16のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択した方におうかがいします。どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思えますか。(○はいくつでも)

1. 参加者の感想や体験談	6. はじめてでも参加しやすい雰囲気
2. 講座の内容や対象者がわかりやすい説明	7. 勤労者でも参加しやすい時間帯の設定
3. 学んだ成果の活用例	8. 子どもを預けることができる環境
4. 参加者同士の交流会	9. オンラインでの開催
5. SNSやメールでの講座情報の定期配信	10. その他（ ）

問18 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つしてください。(○は各1つ)

項目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
いつでも学びたいときに学びたいことが学べる	1	2	3	4
多世代交流につながる学びの機会が充実している	1	2	3	4
学んだことを活かす機会が充実している	1	2	3	4
学びに関する情報がわかりやすく提供されている	1	2	3	4
学びや活動を充実させる施設が整っている	1	2	3	4

問19 あなたが生涯学習をするうえで、重要だと思ふ場所はどこですか。(〇はいくつでも)

1. 区の公共施設 (区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など)
2. 高校・大学・専門学校
3. 民間施設 (カルチャーセンター・社会人向けスクール・貸会議室など)
4. 地域の身近な場所 (カフェ、個人宅など)
5. 自宅
6. オンラインでの学びの空間
7. その他 ( )

問20 あなたが生涯学習を行う施設には、どのような機能・スペースがあるとよいと思ひますか。(〇はいくつでも)

1. 生涯学習に関する情報コーナー
2. 生涯学習に関する相談コーナー
3. 自習用スペース
4. 図書スペース
5. 打合せスペース
6. サークルの活動用スペース
7. サークル同士の交流スペース
8. 講座・イベントスペース
9. 発表スペース
10. 学びや活動成果の展示スペース
11. 飲食が可能なスペース
12. その他 ( )

問21 区が生涯学習を推進することで、まちにどのような効果があると思ひますか。(〇はいくつでも)

1. 充実した生活を送る人が増える
2. 他人の意見や価値観を尊重する人が増える
3. 自分らしく生きる人が増える
4. 地域における人と人のつながりが増える
5. 地域やコミュニティで活動する人が増える
6. 地域に愛着を感じる人が増える
7. 特に効果はない
8. わからない
9. その他

問22 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取り組みを重視した方がよいと思ひますか。(〇はいくつでも)

1. 生涯学習に関する情報を広く発信する
2. 社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する
3. オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する
4. 学習、活動に関する相談に応じ、学習機会やサークルの紹介を適切に行う
5. 社会教育関係団体など区内で活動するサークルを支援・育成する
6. 地域で学びを展開する区民を支援・育成する
7. 同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する
8. 学んだことを発表できる場を提供する
9. 身近な場所で学べる環境を整備する
10. その他 ( )

問23 あなたが大田区で自主的に学ぶことや学んだことを活かす場・機会などについて、御意見があれば御記入ください。

**5 回答者情報**

問24 あなたご自身のことについて、お教えてください。

性別 (○は1つ)	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 回答しない
年齢 (○は1つ)	1. 18～19歳	4. 40～49歳	7. 65～69歳	
	2. 20～29歳	5. 50～59歳	8. 70～74歳	
	3. 30～39歳	6. 60～64歳	9. 75歳以上	
職業 (○は1つ)	1. 役員を含む、正規の職員・従業員 2. 期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員 3. 自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業 4. 家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者 5. 主婦・主夫 6. 学生 7. 勤めていない 8. その他 ( )			
世帯類型 (○は1つ)	1. ひとり暮らし		4. 三世帯世帯 (親と子と孫)	
	2. 夫婦・パートナーのみ		5. その他	
	3. 二世帯世帯 (親と子)		( )	
現在一緒に暮らす方 (○はいくつでも)	1. 夫婦・パートナー		5. 65歳以上の方	
	2. 小学校入学前の子ども		6. 介護が必要な方	
	3. 小学生		7. 1～6以外の方	
	4. 中・高・大・専門などの学生		8. いない	
居住地区 (○は1つ)	1. 大森東	6. 新井宿	11. 雪谷	16. 蒲田東
	2. 大森西	7. 嶺町	12. 千束	17. 糺谷
	3. 入新井	8. 田園調布	13. 六郷	18. 羽田
	4. 馬込	9. 鵜の木	14. 矢口	
	5. 池上	10. 久が原	15. 蒲田西	
	居住地区の判断がつかない方は、お手数ですが、差支えない範囲で構いませんので、お住まいの町名・丁目をご記入ください。 町名： 丁目：			

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

## 2 社会教育関係団体アンケート調査

日頃より、区の生涯学習施策の推進について、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

大田区では、令和4年3月に「おおた生涯学習推進プラン」を策定しました。

現行のプランが令和8年度に終了することから、この度、次期プラン策定のための基礎資料として、アンケート調査を行うこととなりました。

令和7年8月1日時点で大田区に登録されている全ての社会教育関係団体のみなさまへお送りさせていただきます。

調査は無記名で行い、回答内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、回答内容は本調査の目的以外に利用することはありません。

御多忙のところ恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】 大田区 地域未来創造部 地域力推進課 生涯学習担当  
電話 03-5744-1443

\*お問い合わせは、平日午前9時から午後5時まで  
(正午から午後1時までを除く) 承ります。

回答方法は、以下の2つからお選びください。

### ■郵送で回答する場合

①調査票に回答内容をご記入ください。

②同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

**令和7年10月31日まで**

### ■インターネットで回答する場合

スマートフォンなどで二次元コードを読みとるか、URLから回答フォームにアクセスし、以下のIDを入力の上、ご回答ください。

二次元コード



**回答期限 令和7年10月31日**

(ID)

(URL) <https://logoform.jp/form/8BrJ/1093897>

#### 【回答にあたって】

アンケートは、封筒にある宛名の団体の代表の方が回答してください。なお、代表の方が記入できない場合は、代理の方などが代表の方のお考えを聞きながら、記入してください。

## 1 貴団体全般について

問1 貴団体について教えてください。

活動年数 (○は1つ)	1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満	4. 5～10年未満 5. 10～15年未満 6. 15～20年未満	7. 20～25年未満 8. 25年以上		
会員数 (○は1つ)	1. 1～4人 2. 5～9人	3. 10～14人 4. 15～19人	5. 20～24人 6. 25～29人	7. 30～39人 8. 40～49人	9. 50～99人 10. 100人以上
会員の平均 年代 (○は1つ)	1. 10歳代 2. 20歳代	3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代	7. 70歳代 8. 80歳代以上	
活動地域 (○は いくつでも)	1. 大森東 2. 大森西 3. 入新井 4. 馬込	5. 池上 6. 新井宿 7. 嶺町 8. 田園調布	9. 鶯の木 10. 久が原 11. 雪谷 12. 千束	13. 六郷 14. 矢口 15. 蒲田西 16. 蒲田東	17. 糀谷 18. 羽田
会報・広報誌の発行有無 (○は1つ)	1. 発行している		2. 発行していない		
主な収入源 (○は1つ)	1. 会費 2. 寄附金 3. 事業収入 4. 国や自治体などの補助金・助成金 5. 国や自治体などの業務委託費		6. 社会福祉協議会や財団・民間企業などの助成金 7. 金融機関からの借入金 8. クラウドファンディング 9. その他 ( )		

## 2 貴団体の活動内容について

問2 貴団体は、どのような目的のために活動されていますか。(○はいくつでも)

1. 楽しむことで人生を豊かにするため	6. 地域や学校、社会をより良くするため
2. 自由時間を有効に活用するため	7. 仕事に役立てるため
3. 家庭・日常生活に役立てるため	8. 学業に役立てるため
4. 健康の維持、体力づくりのため	9. その他
5. 交友関係を広げるため	( )

問3 貴団体の日常的な活動場所について、お答えください。(○はいくつでも)

1. 区立図書館	7. 区内のスポーツ施設・公園
2. 区内の博物館・記念館	8. 区立小・中学校
3. 文化センター	9. 自治会・町会の会館、団体事務所、団体の会員宅
4. 区民センター・集会所・区民活動施設(カムカム新蒲田、スマイル大森など)	10. 区内の高校・大学・専門学校
5. 青少年交流センター(ゆいっつ)	11. 民間施設
6. 文化芸術施設(大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森)	12. 区外施設
	13. その他
	( )

問4 貴団体は、地域の他団体(他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校など)と交流した経験がありますか。(○は1つ)

1. ある→→問5へ	2. ない→→問7へ
------------	------------

問5 問4で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

どのような交流ですか。(○はいくつでも)

1. イベントなどを共同で実施する	5. 団体運営や活動の課題について相談をする
2. 同じイベントに出店する	6. 活動場所を借りる
3. 講師になる・なってもらう	7. 協賛・寄附してもらう
4. 活動内容などを宣伝してもらう	8. その他 ( )

問6 問4で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

他団体と交流・連携したことで、どのようなよい効果を得られましたか。(○はいくつでも)

1. 新しい知識やスキルを習得できた	6. モチベーションや活動意欲が向上した
2. 活動のヒントや改善点を見出せた	7. 人的ネットワークが拡大した
3. 会員やイベントの参加者数が増加した	8. 資源や設備の共有ができるようになった
4. 活動の幅が広がった	9. その他
5. 自分たちの活動を再認識することができた	( )

問7 問4で「2. ない」を選択した方におうかがいします。

他団体と交流・連携したことがない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 交流・連携の必要性を感じていない	5. 過去に試みたがうまくいかなかった
2. 交流・連携する機会やきっかけがない	6. 自らの独自性・独立性を保ちたい
3. どのように進めてよいかわからない	7. その他
4. 交流・連携する人手が足りない	( )

問8 新型コロナウイルス感染症を契機に、貴団体の活動にどのような変化がありましたか。(〇はいくつでも)

1. 活動頻度が増加した	7. 活動頻度が減少した
2. 参加者数が増加した	8. 参加者数が減少した
3. 新たな交流・連携が生まれた	9. 新規会員獲得が難しくなった
4. 新たな視点での活動や取組が生まれた	10. 活動場所の確保が困難になった
5. オンラインでの活動が増えた	11. 団体の活動資金が減少した
6. オンラインでの情報発信が増えた	12. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化は特にない
	13. その他 ( )

問9 今後、活動を継続していく際の問題点はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 会員が減少している	8. 活動場所が安定していない
2. 会員が高齢化している	9. 活動成果を発表する場がない
3. 新規会員が増えない	10. 他団体との交流の場が少ない
4. 後継者(役員のなり手)が不足している	11. 相談できる相手がいない
5. 事務負担が大きい	12. 問題点はない
6. 活動資金が不足している	13. その他
7. 活動内容をPRする手段が少ない	( )

問10 貴団体では、新しい会員の獲得について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. 積極的に増やしたい	2. 現状のままでよい
--------------	-------------

問11 今後、貴団体として行っていきたい地域活動について、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

1. 小・中学校での活動	5. 区主催の講座での講師
2. 高齢者や子どもの施設でのボランティア活動	6. 地域に向けた活動は考えていない
3. 活動している施設のイベントへの参加・協力	7. その他
4. 地域の住民に向けた講座やイベントの実施	( )

### 3 大田区の生涯学習施策・事業について

問12 大田区の生涯学習に関する情報誌などについて、ご存じのものはありますか。(〇は各1つ)

情報誌名など、概要	知っていて、 閲覧した ことがある	知っているが、 閲覧した ことはない	知らない
生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」 講座・イベント情報などを集め、発信することで、みなさまの学習や活動のきっかけをつくるためのウェブサイトです。動画講座や社会教育関係団体の情報も掲載しています。	1	2	3
生涯学習情報誌「おおたまなびの森」 区内で行われている講座・講演・催し物などのほか、社会教育関係団体の活動内容も掲載しています。	1	2	3

問 13 大田区の団体向けの事業などについて、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

事業名、概要	知っていて、 参加した ことがある	知っているが、 参加した ことはない	知らない
<u>生涯学習相談会</u> 区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動などの 情報提供を行っています。また、学びや団体の運営に関する 相談も受付けています。	1	2	3
<u>区民プロデュース講座(旧:区民による区民のための連携講座)</u> 社会教育関係団体が講師になって、多様な学びの機会を提供 する講座です。	1	2	3
<u>大田区生涯学習ボランティア制度</u> 自身の知識・技術を地域に役立てたいと考える方のボランテ ィア登録を行います。	1	2	3

問 14 問 13 のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択した方におうかがいします。

どのような情報や環境があれば、生涯学習事業(講座など)に参加したいと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 参加者の感想や体験談	6. はじめてでも参加しやすい雰囲気
2. 講座の内容や対象者がわかりやすい説明	7. 勤労者でも参加しやすい時間帯の設定
3. 学んだ成果の活用例	8. 子どもを預けることができる環境
4. 参加者同士の交流会	9. オンラインでの開催
5. SNS やメールでの講座情報の定期配信	10. その他 ( )

問 15 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取組みを重視した方がよい  
と思いますか。(○はいくつでも)

1. 生涯学習・団体に関する情報を広く発信する
2. 社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する
3. オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する
4. 学習、活動に関する相談に応じ、学習機会や団体の紹介を適切に行う
5. 同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する
6. 活動の場を提供する
7. 学んだことを発表できる場を提供する
8. 地域での学びの展開を支援する
9. その他 ( )

問 16 社会教育関係団体が活動するための施設には、どのような機能・スペースがあるとよいと思いますか。(○  
はいくつでも)

1. 生涯学習に関する情報コーナー	8. 団体で使用する物品の保管スペース
2. 生涯学習に関する相談コーナー	9. 講座・イベントスペース
3. 自習用スペース	10. 発表スペース
4. 図書スペース	11. 学びや活動成果の展示スペース
5. 打合せスペース	12. 飲食が可能なスペース
6. 団体の活動用スペース	13. その他
7. 団体同士の交流スペース	( )

問 17 社会教育関係団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思えますか。(○はい  
くつでも)

1. 区が実施する講座・イベントなどの情報	4. 地域のサークル・団体などの活動に関する情報
2. 都や近隣自治体が発する講座・イベントなどの情報	5. 講師や指導者などの人材情報
3. 区内・近郊の大学・専門学校などが実施する講座・ 講演会の情報	6. 施設に関する情報
	7. 団体の運営などの各種相談に関する情報
	8. その他 ( )

御協力いただきまして、  
誠にありがとうございました。

生涯学習に関する基礎調査報告書

令和8年2月発行

発行／大田区地域未来創造部地域力推進課

〒144-8621

東京都大田区蒲田5-13-14

電話：03-5744-1443（直通）

## 生涯学習に関する基礎調査報告書（概要版）

【調査目的】本調査は、区民の日頃の学習活動や地域での活動状況、学びに関わるニーズ、社会教育関係団体における活動実態等を把握するため、区民と社会教育関係団体を対象にしたアンケート調査を実施しました。

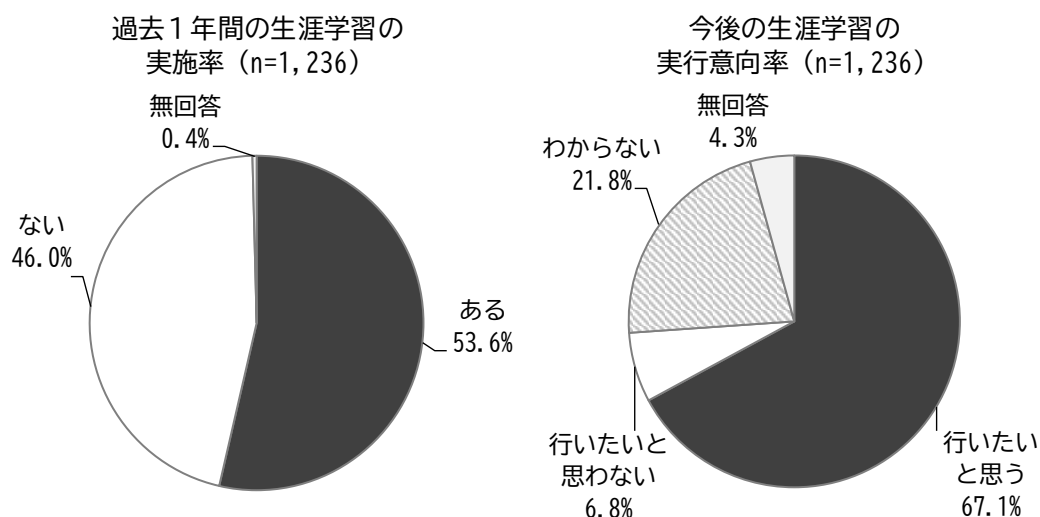
	区民アンケート調査	社会教育関係団体アンケート調査
調査対象	大田区在住の満18歳以上の区民	区に登録している社会教育関係団体
抽出方法	住民基本台帳からの層化無作為抽出	全数※
調査方法	郵送による配布・回収、WEB回収併用	郵送による配布・回収、WEB回収併用
配布数	3,000名	1,948団体
有効回収数	1,236名（郵送：585名、WEB：651名）	1,382団体 （郵送：910団体、WEB：472団体）
有効回収率	41.2%	70.9%
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学ぶことの意識について</li> <li>○生涯学習について</li> <li>○普段の生活について</li> <li>○大田区の生涯学習施策・事業について</li> <li>○回答者情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○団体全般について</li> <li>○団体の活動内容について</li> <li>○大田区の生涯学習施策・事業について</li> </ul>
調査期間	令和7年（2025年）10月1日～10月31日	

※社会教育関係団体アンケート調査は、令和7年（2025年）3月末時点で更新が済んでおり、令和7年8月1日時点で解散していた団体を除いた社会教育関係団体全数を対象としています。

### 区民アンケート調査結果

#### 最近1年間における生涯学習の実施状況と今後の実施意向

○過去1年間の生涯学習の実施率は53.6%、今後の生涯学習の実行意向率は67.1%であり、実施と意向との間に13.5ポイントの差異が見られます。また、できない理由として「時間的制約」「きっかけ不足」「情報不足」「経済的制約」が上位に挙げられています。



### 最近1年間における生涯学習の実施状況（クロス集計結果）

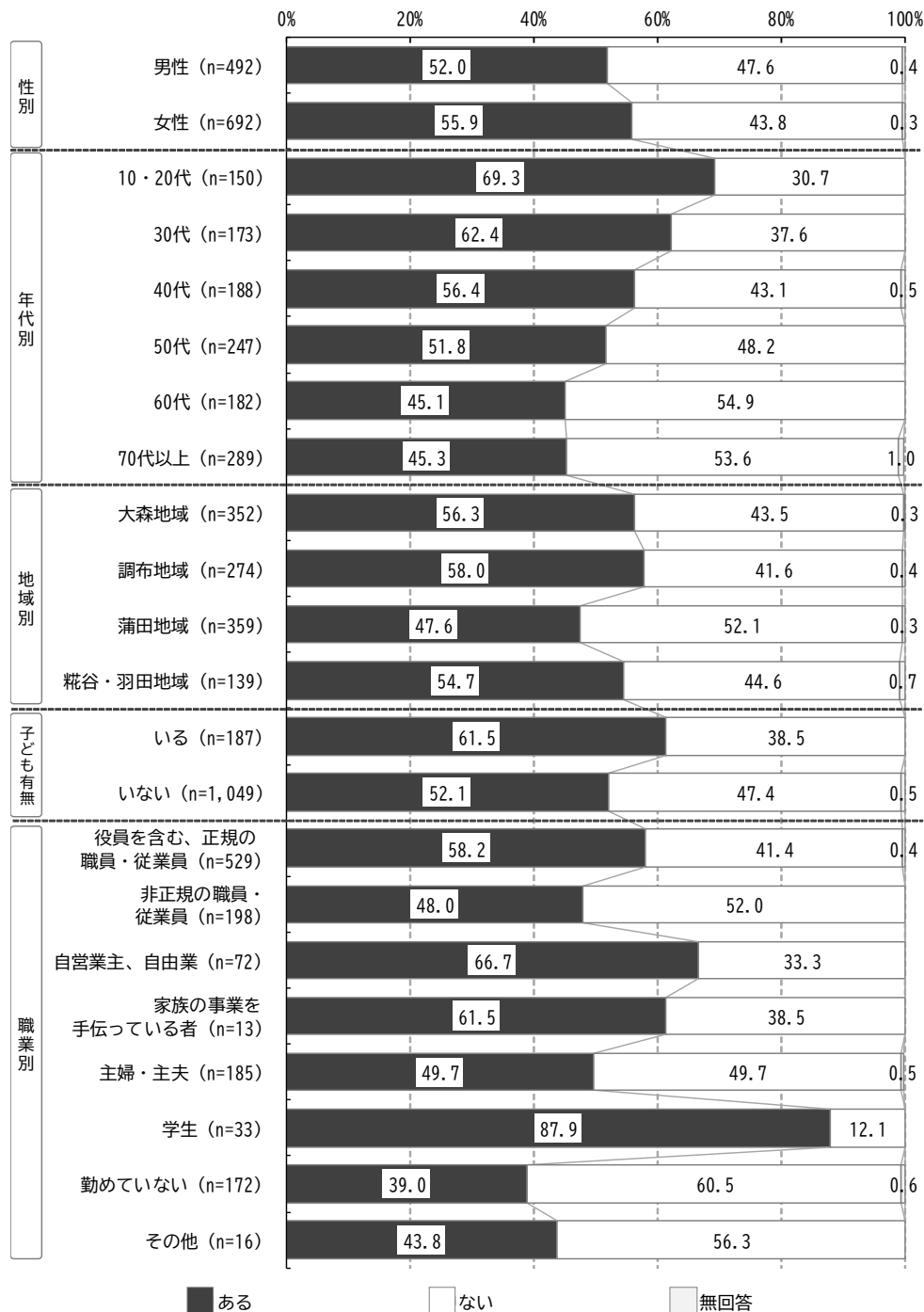
○性別では、「女性」で「ある」が55.9%、「男性」が52.0%となっています。

○年代別では、「10・20代」（69.3%）で「ある」が最も高く、若年層ほど「ある」の割合が高くなっています。

○地域別では、「調布地域」（58.0%）で「ある」が最も高くなっています。

○子ども有無別では、「いる」が「いない」よりも「ある」は9.4ポイント高くなっています。

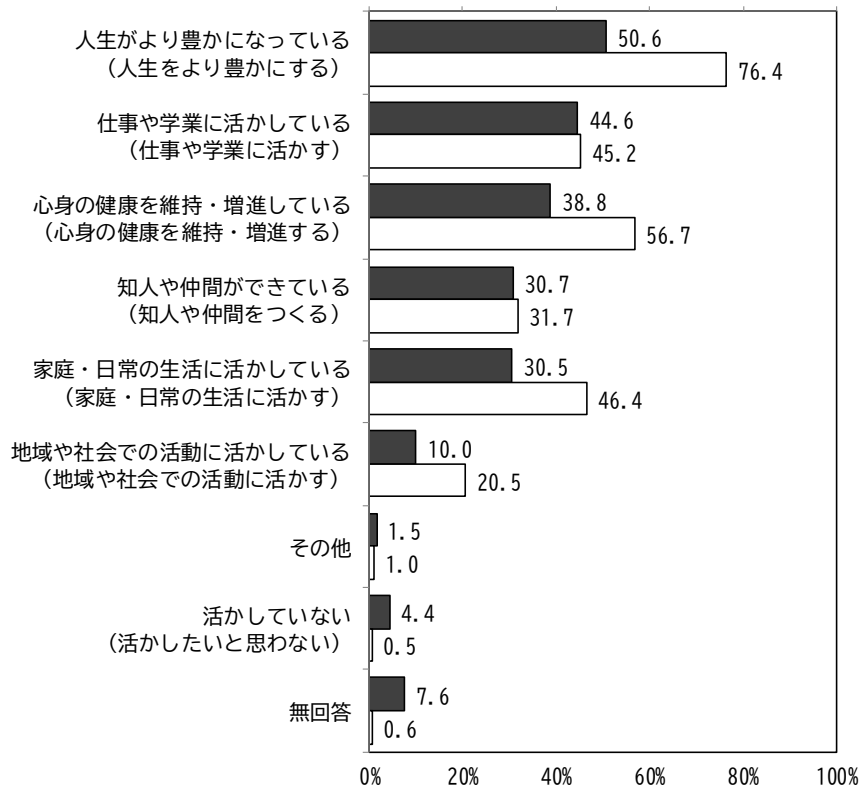
○職業別では、「学生」（87.9%）で「ある」が最も高く、次いで、「自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業」（66.7%）、「役員を含む、正規の職員・従業員」（58.2%）となっています。



### 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験の現状での活かし方、今後の意向

○生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験の現状での活かし方は、「人生がより豊かになっている」(50.6%)、「仕事や学業に活かしている」(44.6%)、「心身の健康を維持・増進している」(38.8%)が上位を占め、「地域や社会での活動に活かしている」は10.0%にとどまります。

○今後の意向についても「人生をより豊かにする」(76.4%)や「心身の健康を維持・増進する」(56.7%)が高くなっていますが、「地域や社会での活動に活かす」(20.5%)も現状に比べて約10ポイント高くなっています。



※現状での活かし方の降順で並び替え。

■ 現状での活かし方 (n=662) □ 今後の意向 (n=829)

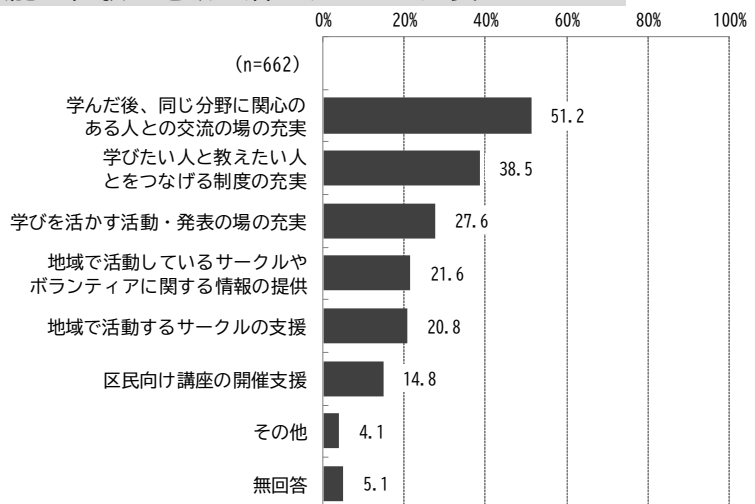
※現状での活かし方は、最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

※今後の意向は、今後の生涯学習を「行いたい」と回答した人 (n=829) が対象。

### 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を地域で活かすために必要なサポート

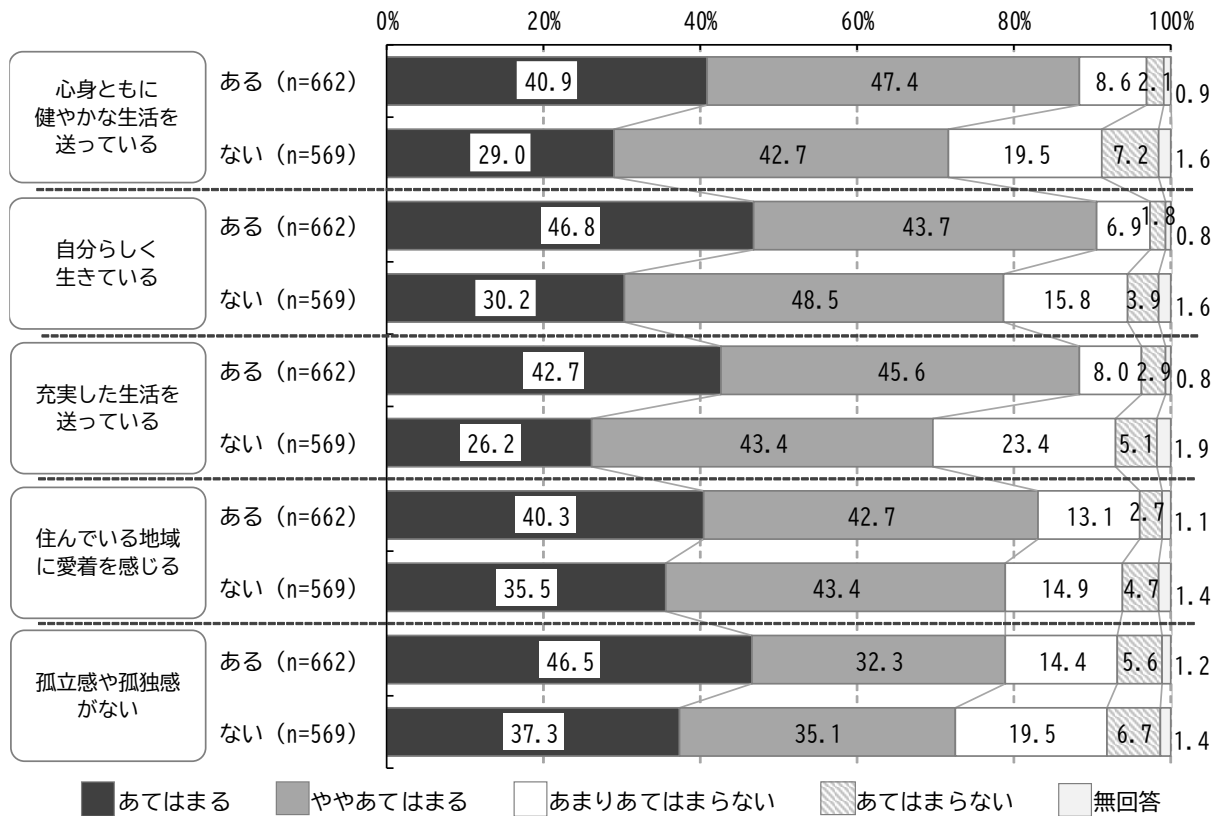
○生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を、地域で活かすために必要なサポートとしては、「学んだ後、同じ分野に関心のある人との交流の場の充実」(51.2%)が最も高く、次いで「学びたい人と教えたい人とをつなげる制度の充実」(38.5%)、「学びを活かす活動・発表の場の充実」(27.6%)となっています。

※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。



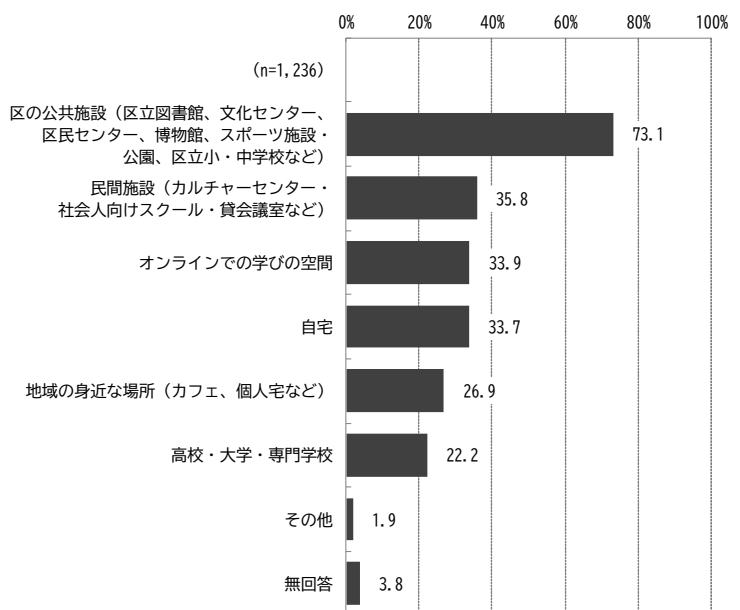
### 普段の生活での意識

○普段の生活での意識について、最近1年間における生涯学習の実施状況別では、5項目全てにおいて「ある」の方が「ない」よりも「肯定的評価」（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）が高くなっています。



### 生涯学習をするうえで重要だと思う場所

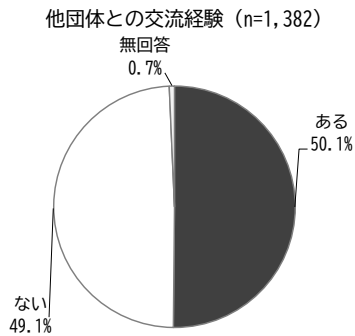
○生涯学習をするうえで重要だと思う場所について、「区の公共施設（区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など）」(73.1%)が最も高く、次いで「民間施設（カルチャーセンター・社会人向けスクール・貸会議室など）」(35.8%)、「オンラインでの学びの空間」(33.9%)、「自宅」(33.7%)となっています。



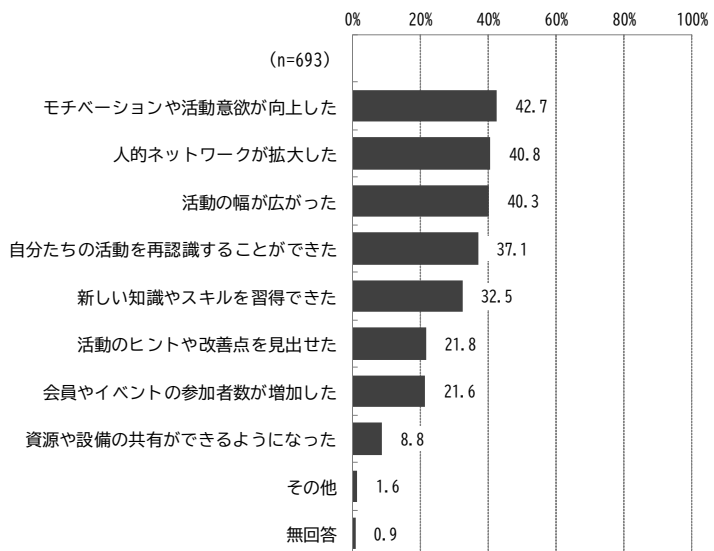
# 社会教育関係団体アンケート調査結果

## 他団体との交流経験、交流による効果、交流したことがない理由

○地域の他団体（他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校等）と交流した経験は、「ある」が50.1%、「ない」が49.1%となっています。



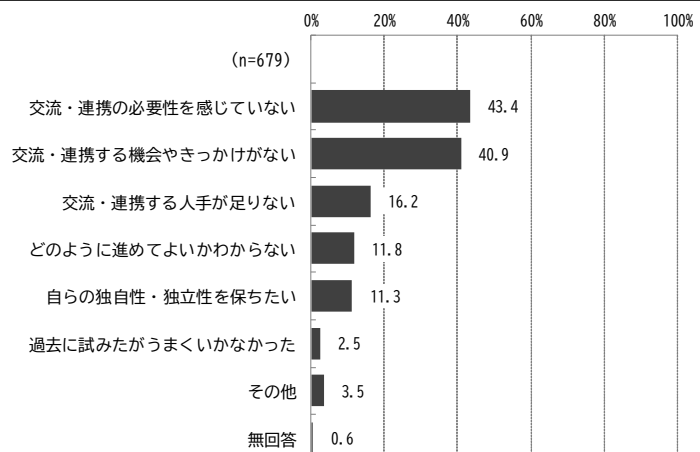
○地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した方に、どのようなよい効果を得られたかをきいたところ、「モチベーションや活動意欲が向上した」(42.7%)が最も高く、次いで「人的ネットワークが拡大した」(40.8%)、「活動の幅が広がった」(40.3%)、「自分たちの活動を再認識することができた」(37.1%)となっています。



※地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した団体 (n=693) が対象。

○地域の他団体との交流経験が「ない」と回答した方に、交流・連携したことがない理由をきいたところ、「交流・連携の必要性を感じていない」(43.4%)が最も高く、次いで「交流・連携する機会やきっかけがない」(40.9%)となっています。

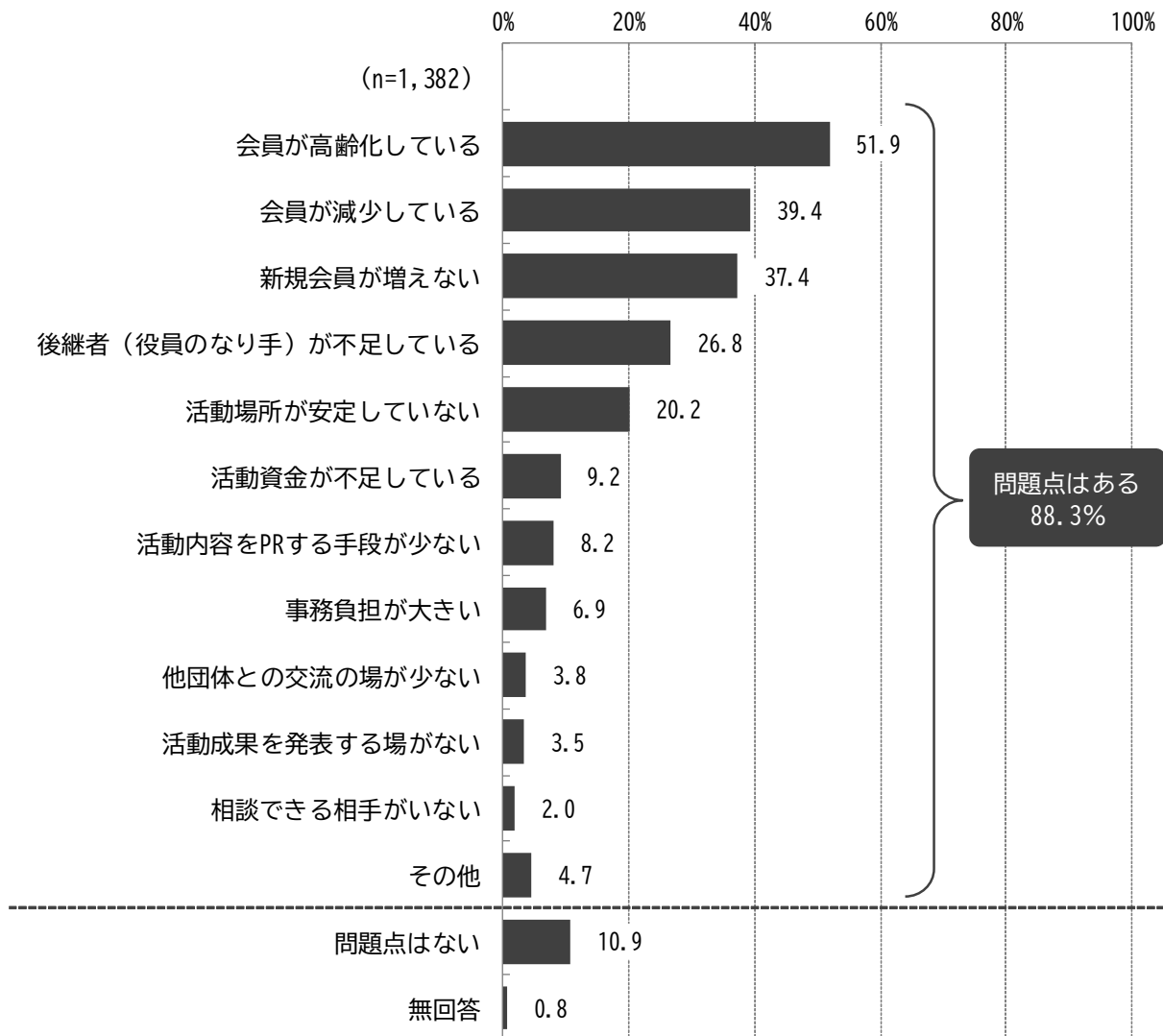
※地域の他団体との交流経験が「ない」と回答した団体 (n=679) が対象。



### 今後、活動を継続していく際の問題点

○活動を継続していく際の問題点について、「問題点はある」が88.3%、「問題点はない」が10.9%となっています。

○また、「問題点はある」の中では、「会員が高齢化している」(51.9%)が最も高く、次いで「会員が減少している」(39.4%)、「新規会員が増えない」(37.4%)、「後継者(役員のなり手)が不足している」(26.8%)、「活動場所が安定していない」(20.2%)となっています。



※問題点はある (%) = 100 - (「問題点はない」 + 「無回答」)

○会員数規模別では、「1～9人」から「20～29人」で「会員が高齢化している」、「30～49人」「50人以上」で「後継者（役員のなり手）が不足している」が最も高くなっています。

○活動年数別では、「5年未満」で「活動場所が安定していない」、「5～10年未満」から「25年以上」で「会員が高齢化している」が最も高くなっています。

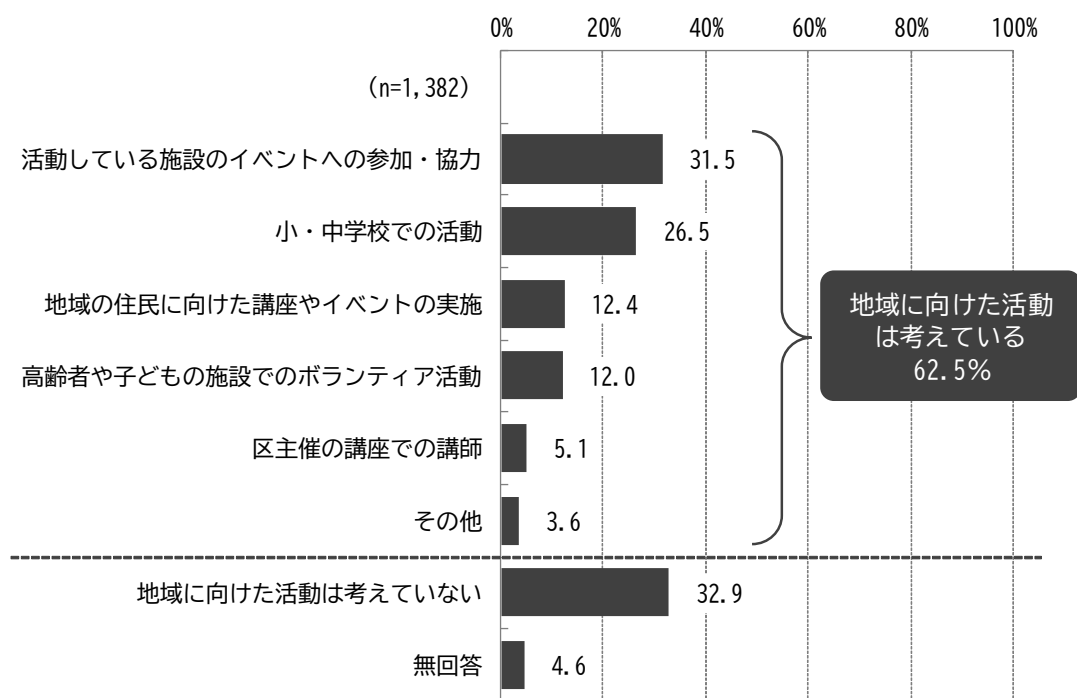
		n	会員が高齢化している	会員が減少している	新規会員が増えない	後継者（役員のなり手）が不足している	活動場所が安定していない
会員数規模別	1～9人	337	60.2	51.0	45.1	17.5	12.2
	10～19人	586	52.9	37.7	37.0	25.4	20.0
	20～29人	223	52.9	29.6	33.2	33.6	26.5
	30～49人	115	35.7	36.5	32.2	37.4	27.0
	50人以上	109	34.9	37.6	33.0	40.4	25.7
活動年数別	5年未満	158	19.0	11.4	21.5	15.8	27.2
	5～10年未満	156	35.3	26.9	30.8	17.3	24.4
	10～15年未満	147	57.1	44.9	39.5	25.2	20.4
	15～20年未満	160	56.9	41.3	37.5	28.8	14.4
	20～25年未満	151	57.0	43.0	36.4	33.1	20.5
	25年以上	595	60.7	47.4	43.0	30.8	18.8

※全体の上位5位までを表として整理。

### 今後、行っていきたい地域活動

○今後、行っていきたい地域活動について、「地域に向けた活動は考えている」が62.5%、「地域に向けた活動は考えていない」が32.9%となっています。

○また、「地域に向けた活動は考えている」の中では、「活動している施設のイベントへの参加・協力」(31.5%)が最も高く、次いで「小・中学校での活動」(26.5%)となっています。



※地域に向けた活動は考えている (%) = 100 - (「地域に向けた活動は考えていない」 + 「無回答」)

## 団体ヒアリング調査結果

【調査目的】社会教育関係団体を対象としたアンケート調査結果について、より詳細に回答内容を把握するとともに、関連団体の活動実態等をより詳細に把握するため、社会教育関係団体6団体を対象にしたヒアリング調査を実施しました。

【実施概要】令和7年（2025年）11月下旬～令和8年（2026年）1月中旬に、各団体が活動している文化センターにおいて、対面にて調査を実施しました。

### （1）活動内容について

#### 【主な意見】

- 団体活動を継続していく上での問題点は、役員のなり手がいないこと。
- パソコンを用いた事務作業が得意な会員が少ない。
- メンバーが高齢化しており、体験教室を開いたり、他団体と連携したりして何らかの活動をするには非常に難しい。どう活動を継続していくのか難しい段階にきている。

### （2）連携、地域との交流について

#### 【主な意見】

- 地域にある歴史や資源をタカラとして取り上げる活動をしており、小学校、町会、観光協会等と連携して活動を進めている。
- 日頃の活動を発表する場に参加するだけではなく、そこに来ていただいた方々と交流したり、つながりを新たに築いたりしていくことが非常に大切。発表する側が満足できて、それを見に来ていただいた方々にも満足してもらえるような関係性づくりができると良い。
- これまで文化センターとは関わりがなかった若い方々に、文化センターを知っていただき、センターでの活動に興味を持っていただき、団体活動に参加していただくことで、地域で文化センターやそこで活動する団体を支える方々を底上げしていきたい。
- 文化センターまつりの際には、様々な地域の方をお呼びしてもっと盛り上げていきたいという想いがある。ただ、そうした交渉やコーディネートをする体力・気力がない。そういうコーディネートをしていただける方がいらっしやるとありがたい。

### （3）区の生涯学習施策について

#### 【主な意見】

- 皆で作業しながら、楽しく会話をしたり、健康相談をしたり。生涯にわたる居場所というか、仲間づくりが大切だと思う。
- 「生涯学習」というのは媒体だと思います。そういう媒体があって仲間が集まるということは、本当に良いこと。
- 区には、宣伝、広報をもっと頑張っていたきたい。文化センターに普段関わりがない人にも情報を伝えていけると良い。区報だけでなく、違う媒体でも伝えてもらい、多くの皆さんに知っていただけると良い。
- これからも活動を維持していくために、できることはやっていきたい。どなたかに主導・サポートしていただきながら、活動を維持するための取り組みができると良い。

生涯学習に関する基礎調査報告書（概要版）令和8年2月発行  
発行／大田区地域未来創造部地域力推進課  
〒144-8621 東京都大田区蒲田5-13-14  
電話：03-5744-1443（直通）

委員会終了後 ▶  
公開予定



地域産業委員会 令和8年4月15日
地域未来創造部 資料36番
所管 地域力推進課

## 美原文化センター体育室の空調機更新工事に伴う利用の一時休止について

美原文化センター体育室について、空調機の老朽化に伴う更新工事を行うため、利用を一時休止する。

### 1 対象施設

美原文化センター 体育室  
所在地：大田区大森東一丁目28番9号

### 2 休止期間（予定）

令和8年6月15日から令和8年8月31日まで

### 3 利用者への周知方法

- (1) 大田区公共施設利用システム「うぐいすネット」
- (2) 大田区ホームページ
- (3) 生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」
- (4) 施設内掲示等

### 4 その他

体育室以外の諸室については、通常どおり利用可能。

## 生活応援キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン（1月実施）の結果について

生活応援を目的としたキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン事業について、受託事業者からの最終報告に基づき実施結果を報告する。

### 1 令和8年1月のキャンペーン

#### (1) 実施結果

実施期間	令和8年1月7日から1月31日まで
受託事業者	PayPay株式会社 (PayPay) イオンフィナンシャルサービス株式会社 (AEON Pay)
付与率	大規模店・チェーン店 (5%) ※PayPay、AEON Pay 中小店 (10%) ※PayPay
決済額	合計 40億4,293万7,549円
付与ポイント	合計 2億5,695万784ポイント

※AEON Payの対象店はすべて5%で実施。

#### (2) 効果検証

##### ア 利用状況

- (ア) 本キャンペーンの対象となった決済は、PayPayとAEON Payを合わせ期間計で約189万9,000回となった。
- (イ) 期間中の決済額は合計で40億を超え、一般財源支出約2億9,200万円に対し、13.7倍の経済効果があり区内の経済循環創出に寄与した。
- (ウ) 取引状況を見ると、キャンペーン前と比較し、取引金額・取引回数はいずれも増加した。ユーザーの年齢階級が確認できるPayPayのデータから、10代から70代以上の全年齢階級でキャンペーン前と比較し取引金額・取引回数・利用者数が伸びていることが確認できた。
- (エ) 中小店のキャッシュレス決済導入状況については、キャンペーン前と比較して、導入した店舗が16%増となり、中小店のキャッシュレス決済導入にも、本事業が寄与した。

##### イ 運営全般

- (ア) ユーザー、店舗ともにPayPay・AEON Payが常設しているコールセンターにて対応を行った。
- (イ) PayPayユーザー・店舗からの問合せの一部について、PayPay社の担当者と連携し、直接の電話確認を行うなどして対応に当たった。

### (3) アプリ説明会について

アプリに関する相談を受け付けると同時に、キャンペーンの周知を行うため、12月中に9回、キャンペーン期間中に2回、計11回のアプリ説明会を実施した。

実施回数	令和7年12月8日～23日の間（計9回） 令和8年1月17日、18日（計2回） 合計11回
実施方法	受託事業者（PayPay、AEON Pay）から派遣された専門スタッフによる説明・アプリに関するお悩みの解決
主な説明内容	・アプリのインストールについて ・初期設定について ・日常のチャージ方法、店舗での使用方法について
参加者数	計376人

## 2 キャッシュレス決済導入状況調査のとりまとめ報告書について

令和6年度・令和7年度の2か年に渡り実施した、キャッシュレス決済導入状況調査について、産業振興課にて2か年分のデータを分析し、とりまとめ報告書を作成した。

※調査概要は、令和7年11月11日地域産業委員会で報告済

※調査報告書は、別紙「大田区キャッシュレス決済導入状況調査報告書（令和6・7年度実施）」のとおり



大田区キャッシュレス決済導入状況  
調査報告書  
(令和6・7年度実施)

令和8年3月  
大田区 産業経済部 産業振興課

# 1. 総論

## 1.1 調査の背景

少子高齢化や人口減少に伴う労働人口の減少によって、様々な場面での生産性の向上が強く求められている。

2017年6月に閣議決定された「未来投資戦略2017」ではKPIとして「2027年までにキャッシュレス決済比率を4割程度とする」ことを目指すとされた。

また、経済産業省が2018年4月に策定した「キャッシュレス・ビジョン」では前述の目標実現に向けた具体的な方策として▽実店舗におけるキャッシュレス支払導入にかかるボトルネックの解消▽消費者に対する利便性向上と試す機会の拡大—などを挙げている。

さらに、「将来的に世界最高水準の80%を目指す」という方向性を示した。

大田区では、2020年3月以降、コロナ禍による「非接触式決済の普及」という社会的要請の高まりを受けて、2021年(令和3年度)にプレミアム付デジタル商品券を発行。

スマートフォンのアプリ(WEBアプリ)を活用したデジタル商品券により、区民・区内店舗での非接触式決済活用の端緒とした。

区全域でのキャッシュレス決済推進事業は令和3年度から令和7年度にかけて、下表のとおり、実施している。

キャッシュレス決済導入推進関連事業の事業評価及び区内店舗におけるキャッシュレス決済の導入状況を把握するため、本調査を実施した。

### 【大田区によるキャッシュレス決済推進事業】

年度	事業概要	事業目的
令和3	WEBアプリ型	区内店舗における キャッシュレス決済 導入推進
令和4	ネイティブアプリ型	
令和5		
令和6		
令和7	8月 PayPay	キャッシュレス導入推進 区民生活応援
	1月 PayPay・AEON Pay	

## 2. 調査概要

### 2.1 調査の対象

#### (1)対象店舗

区内16駅からおおむね500mの範囲にある店舗 3,917店舗  
※有効回答である第1期 2,310店舗、第2期 1,607店舗を集計対象とした。

#### (2)対象となる駅

JR京浜東北線:蒲田駅、大森駅  
京浜急行:糀谷駅、雑色駅、京急蒲田駅、梅屋敷駅、平和島駅  
東急多摩川線:矢口渡駅、武蔵新田駅、下丸子駅  
東急池上線:池上駅、久が原駅、雪谷大塚駅、長原駅  
東急目黒線:田園調布駅、大岡山駅

### 2.2 調査期間

第1期 令和6年12月9日から令和7年1月17日まで  
第2期 令和7年9月1日から同年10月10日まで

### 2.3 調査方法

調査員による現地聞き取り(常時4名、最大6名が稼働)

### 2.4 調査項目

下表のとおり

店舗基礎情報	1:店舗名 2:最寄り駅名 3:業種
調査項目	1:キャッシュレス決済を導入しているか 2:導入しているキャッシュレス決済の種類 3:キャッシュレス決済を導入しない理由 4:キャッシュレス決済を導入しない理由(自由意見) 5:商店会への加入 6:大田区デジタル商品券への参加経験

### 2.5 調査委託事業者

東西株式会社

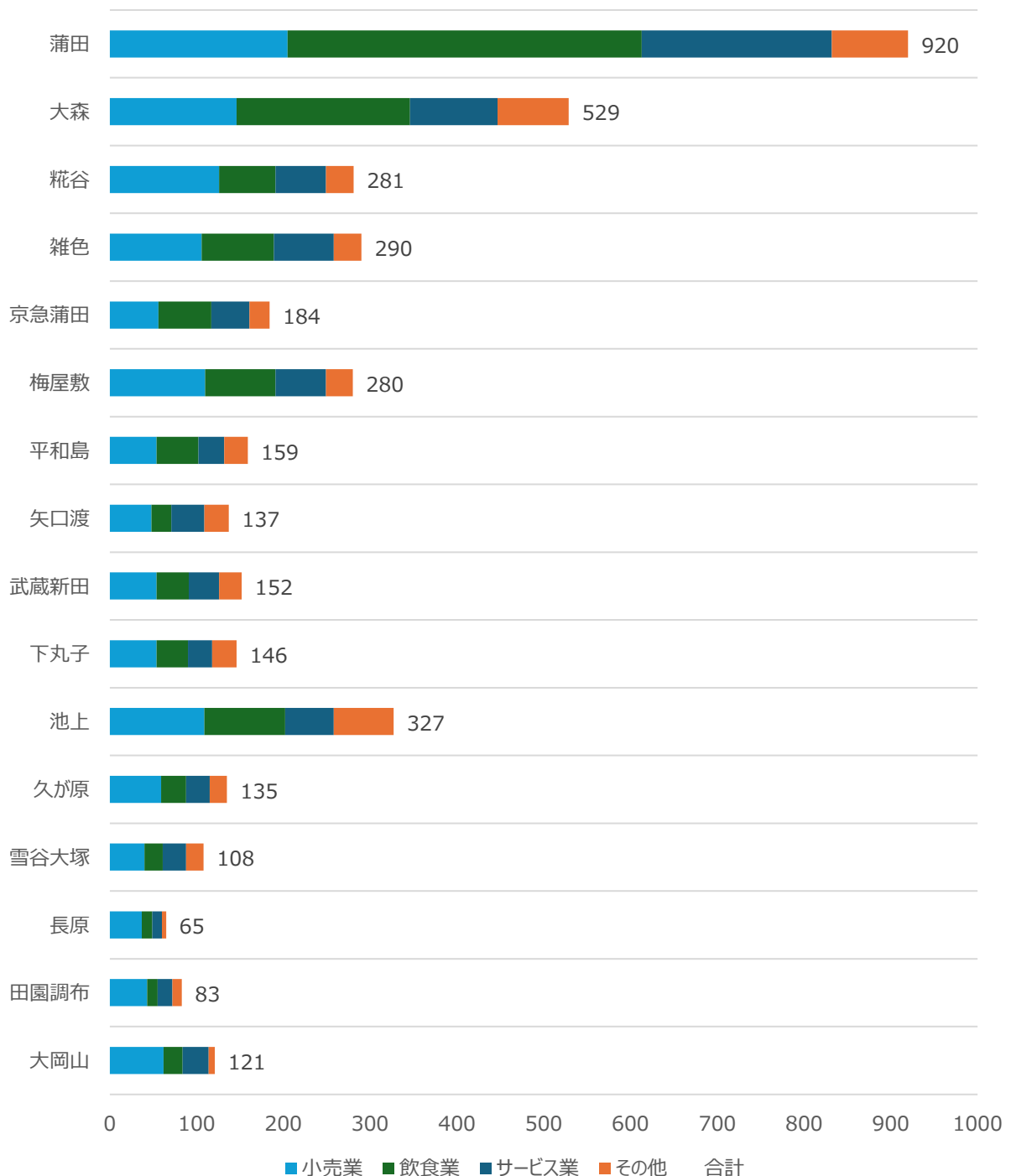
# 3. 調査結果

## 3.1 店舗基礎情報

### (1) 最寄り駅別調査回答店舗数

調査は各駅からおおむね500mの範囲にある店舗を対象に実施した。調査員が訪問し、回答を得られた店舗(3,917店舗)のうち、駅別では「蒲田」が920店で最も多く、「大森」の529店、「池上」の327店、「雑色」の290店、「糀谷」の281店と続いている。

■ 各駅での調査回答店舗数



## 3. 調査結果

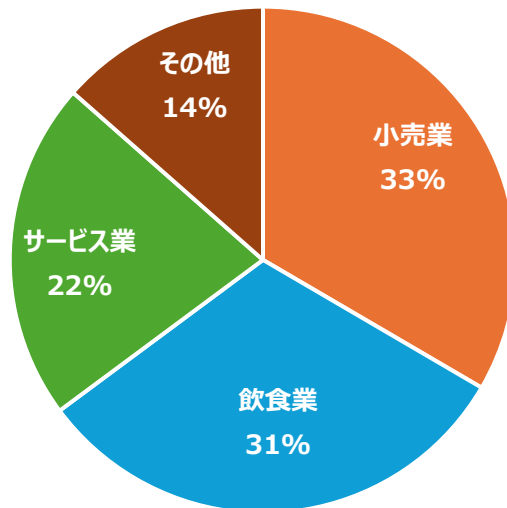
### 3.1 店舗基礎情報

#### (2) 店舗の業種

調査回答店舗3,917店のうち、「小売業」が33%(1,309店)で最も多く、「飲食業」が31%(1,231店)、「サービス業」が22%(848店)、「その他」が14%(529店)となった。

「その他」には医療機関・調剤薬局のほか、サービスと物販を行う複合店舗、BtoBの卸売業などが含まれている。

■ 店舗業種



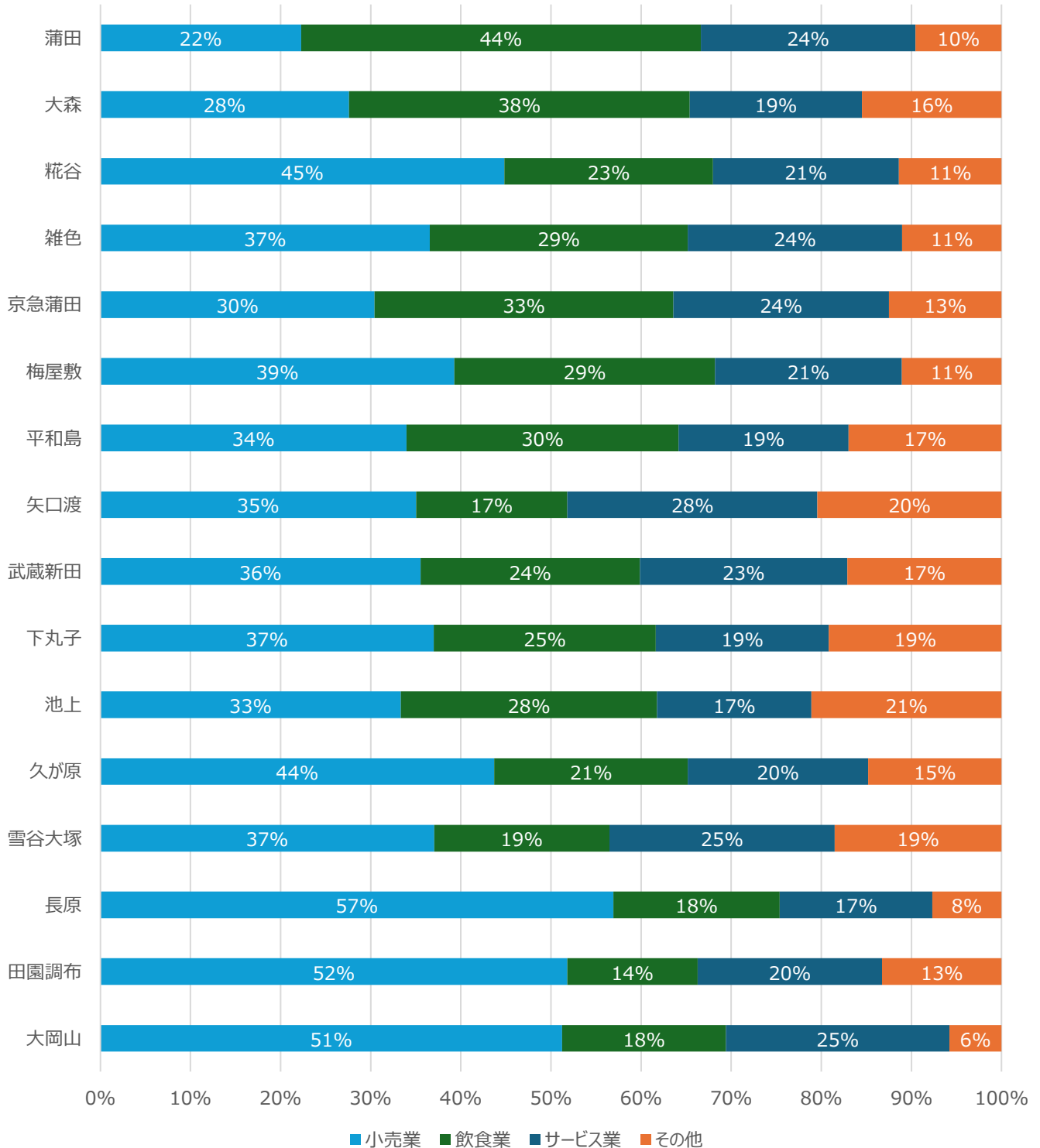
# 3. 調査結果

## 3.1 店舗基礎情報

### (3)最寄り駅別の業種構成

対象店舗について、各駅での業種構成をみると、蒲田駅・大森駅・京急蒲田駅では飲食業が多く、長原駅・田園調布駅・大岡山駅では小売業の割合が高くなっている。

#### ■ 各駅の業種構成



# 3. 調査結果

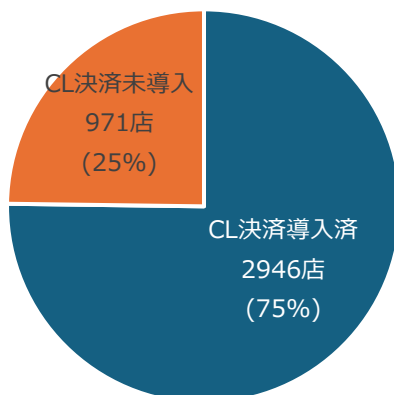
## 3.2 キャッシュレス決済導入状況

### (1) キャッシュレス決済導入率

調査回答店舗のうち、なんらかのキャッシュレス決済を導入していると答えた店舗は2,946店(75%)となった。

キャッシュレス決済未導入の店舗は971店(25%)だった。

■ キャッシュレス決済導入率

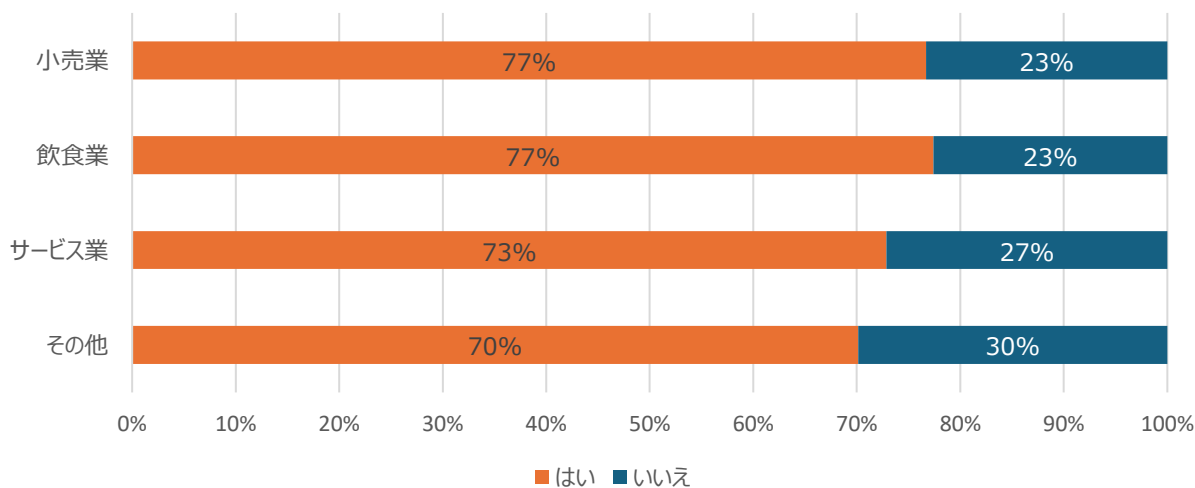


### (2) 業種別キャッシュレス決済導入率

業種別にキャッシュレス決済導入率をみると、小売業と飲食業で77%、サービス業が73%となった。

その他の業種では70%となったが、これは卸売業などの店頭決済を行わず、請求書・振込で対応する業種が含まれることが理由だと考えられる。

■ 業種別キャッシュレス決済導入率



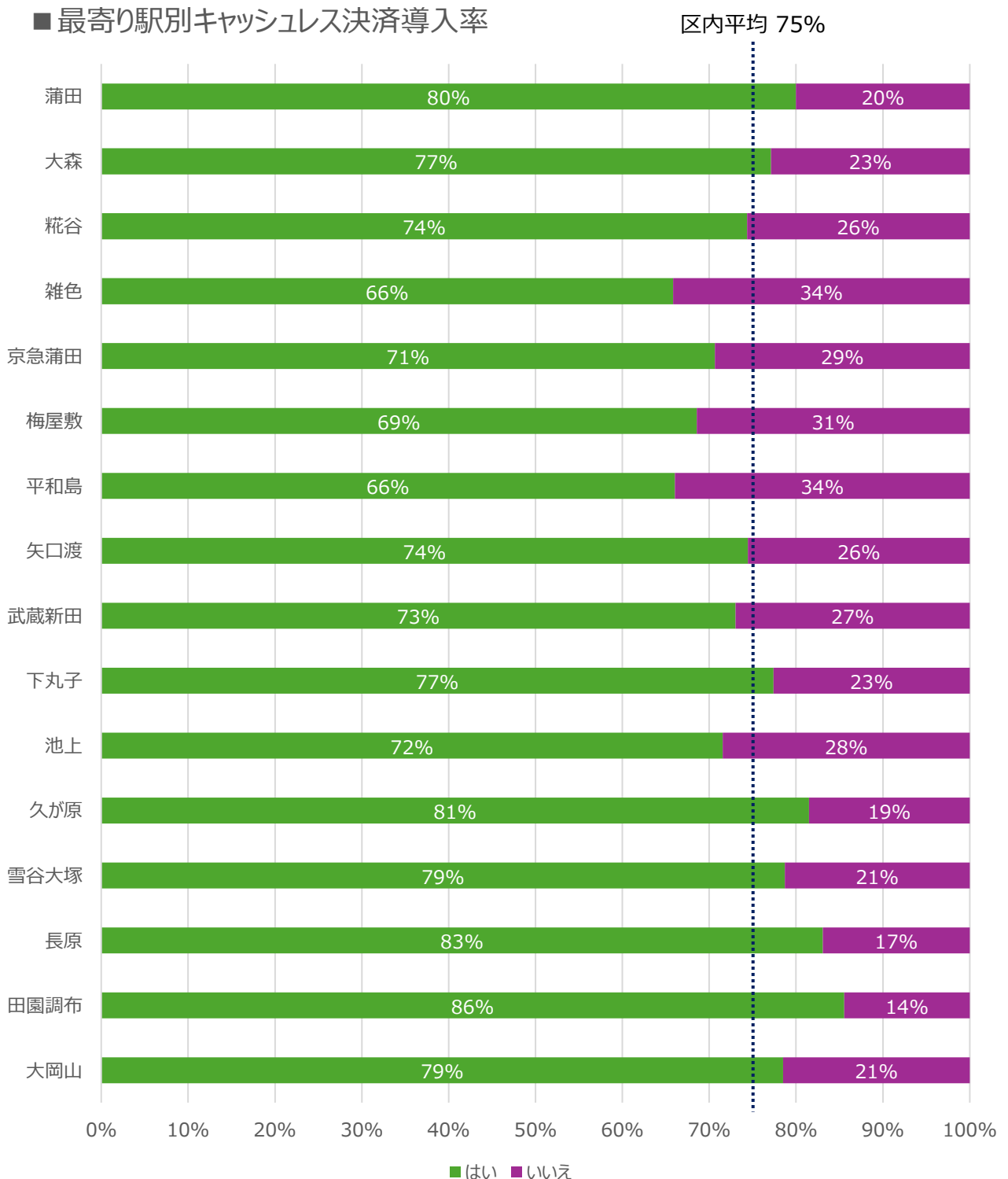
# 3. 調査結果

## 3.2 キャッシュレス決済導入状況

### (3) 最寄り駅別キャッシュレス決済導入率

調査全体でのキャッシュレス決済導入率は75%となった。

最寄り駅別にキャッシュレス決済導入率をみると、区内平均を上回ったのは「田園調布」の86%、「長原」の83%、「久が原」の81%、「蒲田」の80%と続いた。



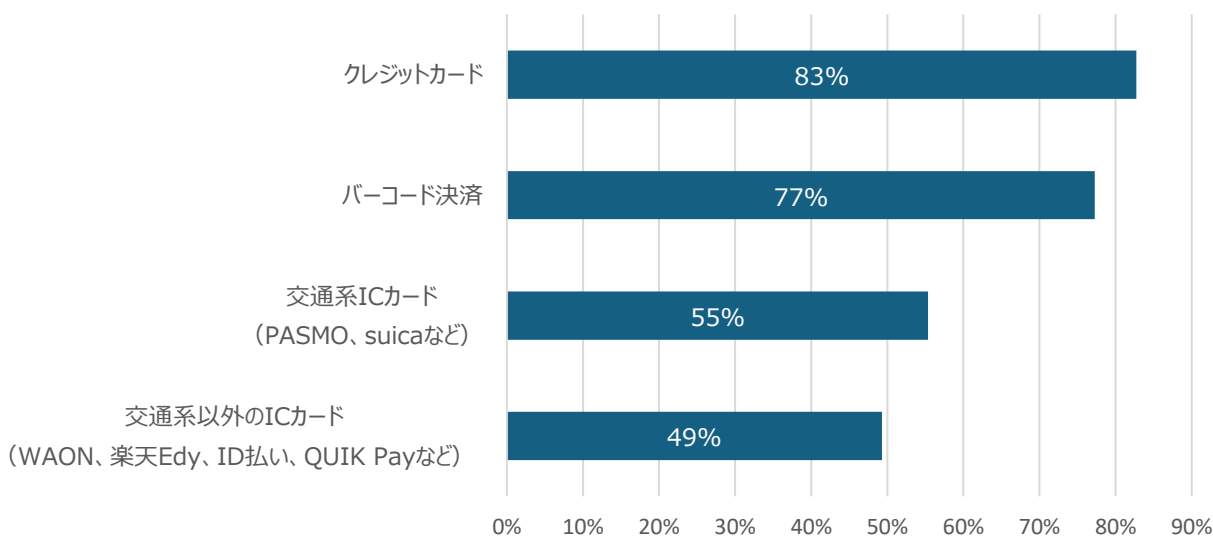
# 3. 調査結果

## 3.2 キャッシュレス決済導入状況

### (4) 導入済キャッシュレス決済の種類

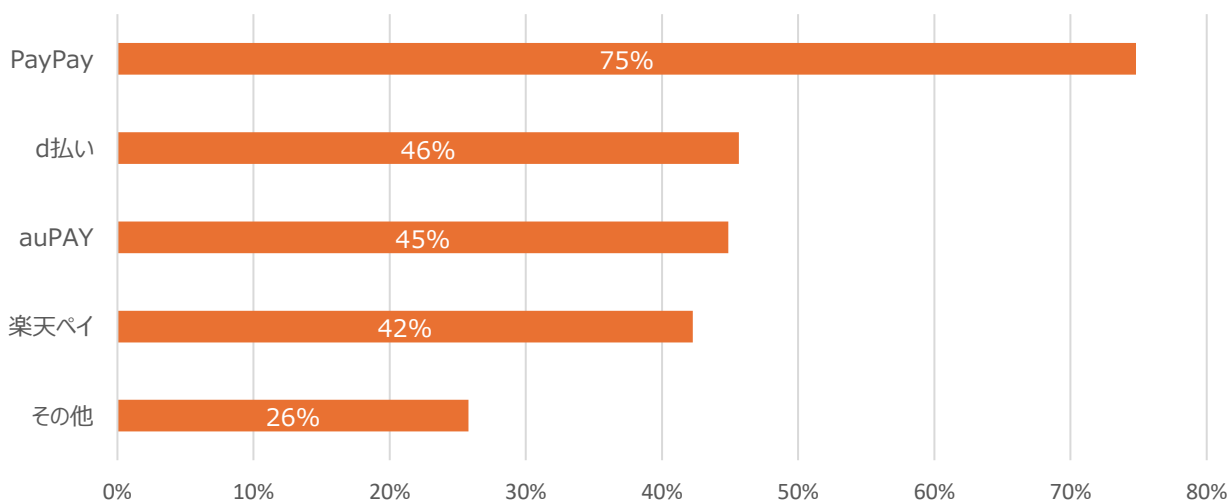
キャッシュレス決済を導入している店舗において、導入している決済手法は「クレジットカード」が83%で最も多く、「バーコード決済」が77%、「交通系ICカード」が55%、「交通系以外のICカード」が49%となった。

#### ■ 導入しているキャッシュレス決済（複数回答）



導入しているバーコード決済は「PayPay」が75%で最も多く、「d払い」が46%、「auPAY」が45%、「楽天PAY」が42%、「その他」が26%となっている。

#### ■ 導入済バーコード決済（複数回答）



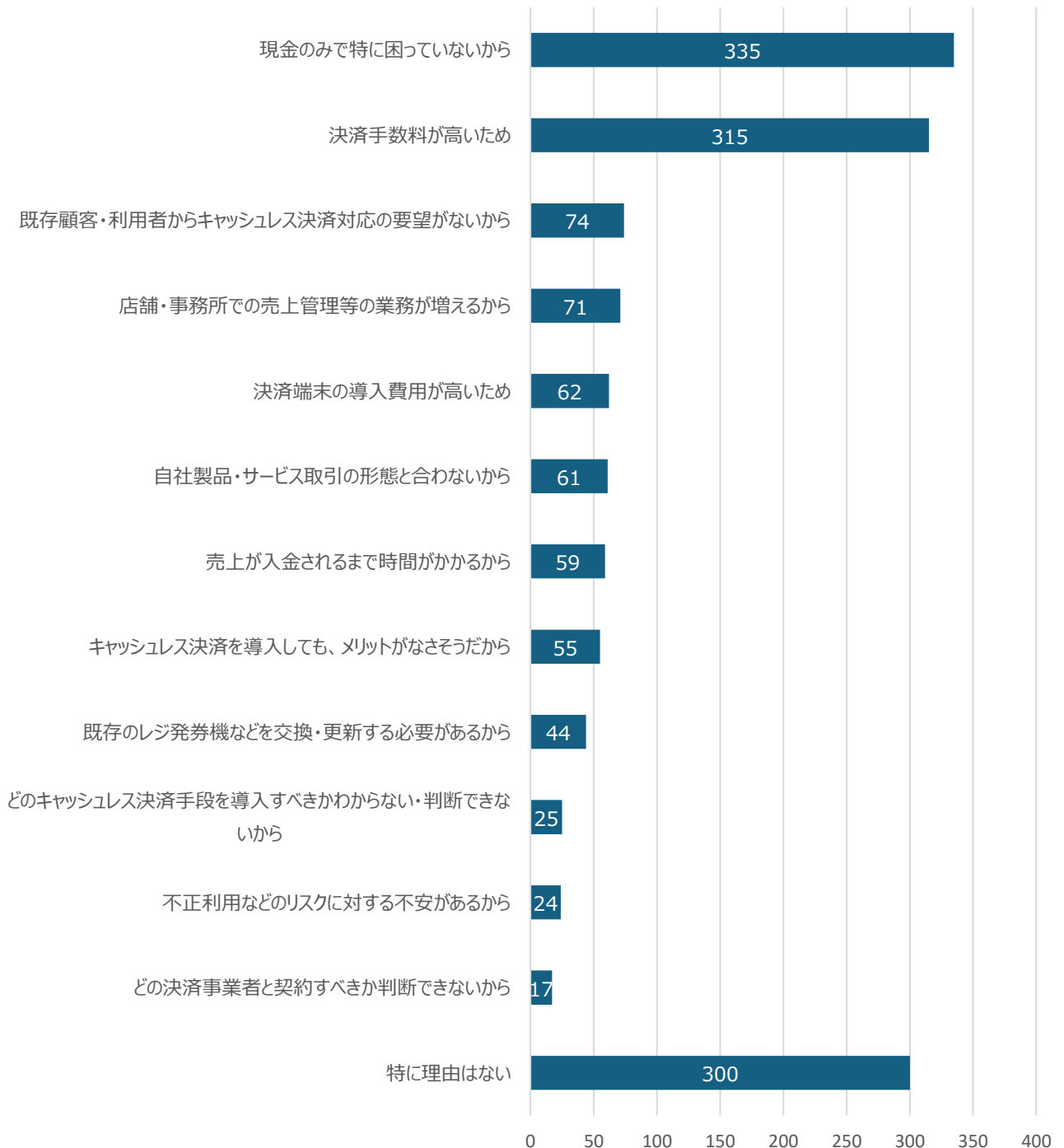
# 3. 調査結果

## 3.2 キャッシュレス決済導入状況

### (5) キャッシュレス決済を導入しない理由

キャッシュレス決済未導入の店舗(971店)において、未導入の理由を聞いたところ、「現金のみで特に困っていない」との回答が335件で最も多く、「決済手数料が高い」が315件となった。「特に理由はない」との回答も300件あった。

#### ■ 未導入の理由（複数回答）



### 3. 調査結果

#### 3.2 キャッシュレス決済導入状況

(6)キャッシュレス決済を導入しない理由(自由意見)

キャッシュレス決済を導入しない理由について自由回答で意見を求めたところ、

▽従来から現金のみ取り扱いをしているため

▽顧客層が対応できない、要望・希望がないため

▽オーナーが導入に積極的ではないため

▽面倒くさい

という意見が多く見られた。

飲食業の一部では「券売機のためキャッシュレス対応が難しい」、卸売業では「振込対応のため」、その他業種の医療機関などからは「関連規則の関係上、対応が難しい」といった、各業種で特徴のある意見も見られた。

#### ■自由意見に関するワードクラウド



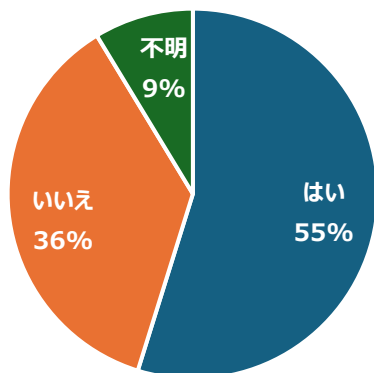
## 3. 調査結果

### 3.3 商店会の加入状況

#### (1) 商店会への加入状況

調査回答店舗のうち、半数を超える55%(2,147店)が「商店会に加入している」と答えた。「未加入」の店舗は37%(1,430店)だった。

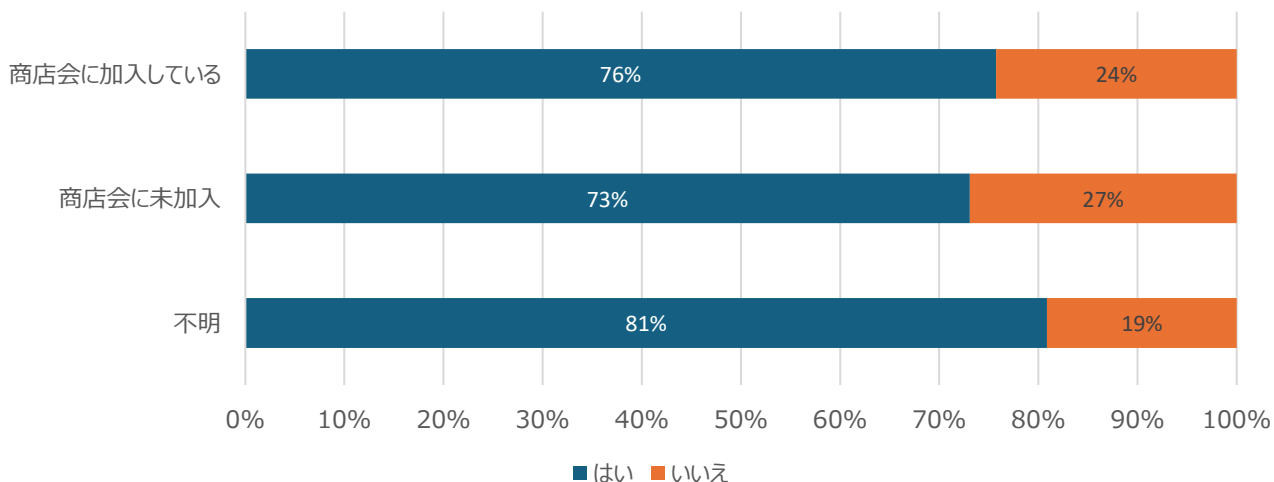
#### ■ 商店会に加入しているか



#### (2) 商店会加入状況とキャッシュレス決済導入率

商店会加入店舗でのキャッシュレス決済導入率は76%となった。未加入店舗では73%となった。

#### ■ 商店会加入／未加入店舗別のキャッシュレス決済導入率



## 3. 調査結果

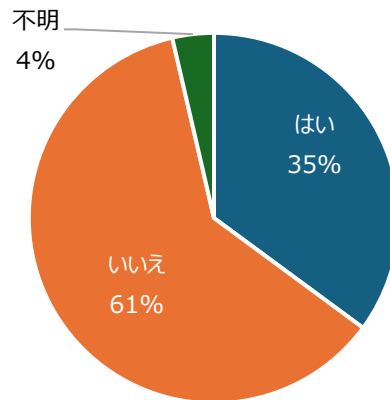
### 3.4 大田区プレミアム付デジタル商品券事業への参加状況

#### (1)大田区事業への参加状況

大田区プレミアム付デジタル商品券事業への参加状況を聞くと、「参加経験がある」と答えた店舗は1,375店(35%)だった。

「参加経験がない」は2,400店(61%)、「不明」は142店(4%)だった。

#### ■ プレミアム付デジタル商品券事業への参加経験があるか



## オープンイノベーション促進事業（OTAS）について

### 1 事業概要

羽田イノベーションシティ内の大田区発産業交流空間「PiO PARK（ピオパーク）」を拠点に、技術・開発ニーズを有する大企業やハードウェアスタートアップ等と、匠の技術を有する区内企業をマッチングすることで、製品開発等の新たなプロジェクトを創出する。

また、本取組を積極的に広報することで、PiO PARKのオープンイノベーション拠点としての機能を区内外にPRし、企業集積を図る。

### 2 委託先事業者

フォースタートアップス株式会社 代表取締役 志水 雄一郎  
東京都港区麻布台一丁目3番1号 麻布台ヒルズ森 JP タワー31F

### 3 令和7年度実施結果

令和7年度は計12件の申込があり、うち9件は区内企業とのマッチングが成立し、3件については秘密保持契約を締結した。令和8年3月10日には、実証実験・実装促進事業（HOIP）と合同でPiO PARKで成果発表イベントを開催。また、今年度マッチングが成立した案件については、来年度以降も継続支援を実施する。

#### （1）秘密保持契約締結案件

- ア 波力発電機試作機開発プロジェクト  
Yellow Duck 株式会社×I-OTA 合同会社
- イ 消防隊員向け位置推定デバイスの開発  
株式会社カシオペアテクノロジーズ  
×Brand Maker Enabler 株式会社
- ウ AI見守りロボットインターフェースの試作開発  
Proof of Japan 株式会社×株式会社善大工業

#### （2）成果発表イベント

（1）に記載の案件を含めて、今年度実際に区内企業と試作開発を実施した以下2事業者より開発プロジェクトの発表及び区内企業とのパネルディスカッションを行った。オンラインも含めて70名が参加。

- ア 車載用太陽光発電空気清浄機の試作開発  
オクノテ×有限会社安久工機

イ 消防隊員向け位置推定デバイスの開発  
株式会社カシオペアテクノロジーズ  
×Brand Maker Enabler 株式会社



(車載用太陽光発電空気清浄機原理モデル)



(位置推定デバイス試作機)

#### 4 令和8年度事業内容

令和8年度は、引き続き案件募集を行うとともに、令和7年度に秘密保持契約を締結したプロジェクトの事業者を中心として、国内展示会に共同出展を予定している。展示会では、本事業等を通じて HICity・PiO PARK の機能や大田区のものづくりエコシステムを PR することにより、大田区のブランディングを実施し、新たな案件の呼び込みにつないでいく予定。

##### <事業スケジュール(予定)>

事業者からの技術・開発ニーズ募集

令和8年4月～随時募集

展示会出展

令和8年4月・7月

事業 PR

SNS 等を活用し随時実施

成果発表

令和9年2月～3月

## 実証実験・実装促進事業（HOIP）について

### 1 事業概要

先進的な技術やソリューションを有する企業等による区内での実証実験を支援し、区民生活の質の向上やSDGsの推進など、区が抱える地域課題の解決につなげる。また、羽田イノベーションシティから区内へと波及させる仕組みを構築し、地域課題解決に寄与する良質なスタートアップ等の集積を図ることで、令和5年度に内閣府から選定された「SDGs未来都市」において掲げている「イノベーションモデル都市」の取組を推進する。

### 2 委託事業者

#### (1) 令和7年度

株式会社ボンレックス 代表取締役 室岡 拓也  
東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル4階

#### (2) 令和8年度

プロポーザルを実施しており、現在契約手続き中

### 3 令和7年度事業内容

令和6年度に採択した2社の継続支援を実施するとともに、新規に実証実験推進事業者を3社決定し、実証実験の伴走支援を行い、令和8年3月10日には、オープンイノベーション促進事業（OTAS）と合同で、成果発表イベントを開催した。

#### (1) 令和7年度に採択したプロジェクト（令和8年度も継続支援）

##### ア 株式会社 KAMAMESHI

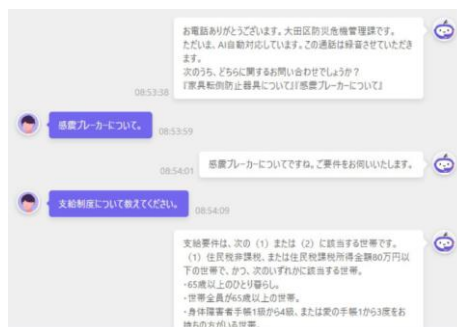
産業振興課と連携し、区内企業の設備調査を実施。電気品の製造中止の状況や代替推奨の有無、交換難易度などを整理して可視化した。また、制御盤内の安全管理に関する課題も整理し、設備停止リスクだけでなく、電気火災・感電等のリスクも含めたBCP対策について実証した。



(設備情報を可視化)

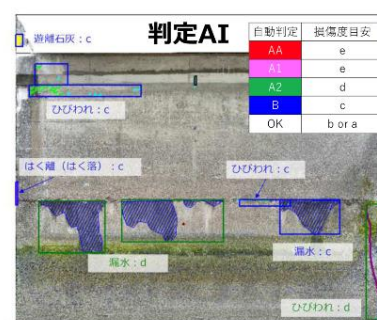
イ 株式会社ソフツー

防災危機管理課と連携し、防災器具に関する問い合わせに AI 対応を実証。区民の皆様との通話履歴を用いて、運用課題を抽出・整理の上、プログラムを改良しながら実証を進めた。



ウ 株式会社東設土木コンサルタント

都市基盤管理課と連携し、AI による損傷判定支援の適用可能性を検証。判定結果の比較に加え、点検に係る情報管理や、調書作成の省力化などの観点から、今後の課題を整理した。



(2) 令和6年度に採択したプロジェクト

ア 株式会社PIJIN

一つの二次元コードで多言語対応を可能とする特許技術「QR Translator」について、令和8年度以降の実装を見据え、各部局がコンテンツを作成、編集できるプラットフォームの整備を行った。

令和8年度以降、ごみ減量推進課、子育て支援課、子ども家庭総合支援センター開設準備室、教育総務課にて順次実装予定。



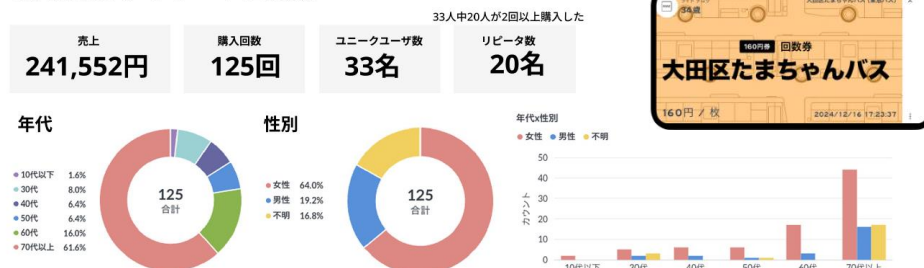
(大田区専用の運用マニュアルを整備)

## イ RYDE 株式会社

都市計画課と連携し、たまちゃんバスの回数券デジタル化の継続実証を実施した。あわせて、購入者に対するデジタルクーポンの配布を実施し、公共交通の利用と区民の QOL 向上を促進した。

令和 8 年度より、都市計画課にて実装予定。

### 利用実績サマリー / 回数券



## 4 令和 8 年度事業内容

令和 7 年度に採択した 3 社の継続支援を実施するとともに、新規に実証実験事業者を募集し、3 社程度決定する。募集形式として、応募事業者が区内の社会課題解決に資すると考える区内実証実験を提案する「自由提案枠」と、区が提示する課題に対して区内実証実験を提案する「指定提案枠」を設ける。区において書面審査・面接審査・実証実験希望先との調整を行い、実証実験推進事業者を決定する。

### < 事業スケジュール (予定) >

実証実験推進事業者募集	令和 8 年 4 月 1 日～5 月 1 日
提案内容審査・推進事業者決定	令和 8 年 7 月中旬
実証実験実施	採択後～令和 9 年 2 月
成果報告会	令和 9 年 2 月～3 月

## 5 政策目的随意契約制度の活用

大田区は、政策目的随意契約制度を活用し、スタートアップの製品・サービスの公共調達促進を図ることを目的とする東京都事業「ファーストカスタマー・アライアンス」に参画している。本事業では、参画自治体が認定したスタートアップの製品等を集めた認定カタログを作成し、公共調達を推進している。

大田区では、実証実験・実装促進事業に採択した事業者の製品等を認定し、他自治体への展開を促進するほか、他自治体が認定した製品等の区内導入を推進することで、地域課題の解決につなげていく。なお、令和 8 年 3 月には、第 1 号として、令和 6 年度に採択した PIJIN 社を認定カタログへ掲載した。

地域産業委員会 令和8年4月15日
産業経済部 資料29番
所管 産業経済課

## 令和8年度大田区平和祈念花火の開催について

### 1 事業概要及び目的

昭和59年8月15日に行った平和都市宣言を記念し、昭和62年から大田区平和都市宣言記念事業として、毎年8月に式典と花火の打上げを行ってきた。

令和8年度から、花火の打上げについて、地域未来創造部から産業経済部に所管を変更し、これまでの「平和」を基調としたテーマは継承しながら、区内産業への波及も視野に入れ、持続可能な未来への希望を込めたイベントとして実施する。

### 2 名称（案）

大田区制80周年記念事業 平和祈念花火 2026～笑顔未来につなぐ～

### 3 日時（予定）

令和8年11月14日（土）午後5時から  
（花火打上げは午後5時30分から30～40分間）

### 4 会場

大田区西六郷四丁目地先（多摩川河川敷）

### 5 その他

8月15日に開催される平和記念式典と11月14日の平和祈念花火は、平和を祈念する一連の事業として地域未来創造部と産業経済部が連携して実施することとし、地域団体や産業関係団体等を構成員とする実行委員会の立ち上げや、特典（協賛席）付の協賛金の募集等の検討を進めていく。